

# Clavinova<sup>®</sup>

---

## CVP-601 取扱説明書

このたびは、ヤマハクラビノーバをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。  
クラビノーバの優れた機能を十分に生かして演奏をお楽しみいただくため、本書をお読みください。  
また、お読みになったあとも、いつでもご覧になれるところに大切に保管してください。

この楽器のお取り扱いについては、ご使用前に必ず2～5ページの「安全上のご注意」をお読みください。

組み立て説明については巻末をご参照ください。

# 安全上のご注意




ご使用前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お子様がご使用になる場合は、保護者の方が以下の内容をお子様にご徹底くださいますようお願いいたします。お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。


## ■ 記号表示について


この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	～しないでくださいという「禁止」を示します。
	「必ず実行」してくださいという強制を示します。

## ■ 「警告」と「注意」について

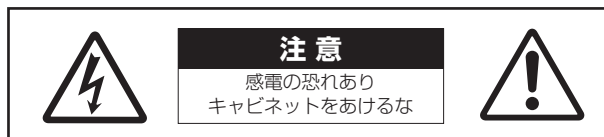
以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。

 <b>警告</b>	この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
---	---

 <b>注意</b>	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。
---	--

## ■ 本体に表示されている注意マークについて

本体には、次の注意マークが付いています。



これは、以下の内容の注意を喚起するものです。

「感電防止のため、パネルやキャビネットを外さないでください。内部には、お客様が修理 / 交換できる部品はありません。点検や修理は、必ずお買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。」

# 警告

## 電源 / 電源コード



禁止

電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。



必ず実行

電源は必ず交流100Vを使用する。  
エアコンの電源など交流200Vのものがあ  
ります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



必ず実行

電源コード/プラグは、必ず付属のものを使用する。  
ほかの電源コード/プラグを使用すると、発熱や感電の原因になります。



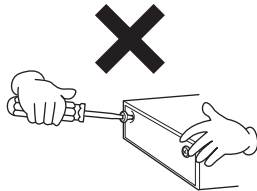
必ず実行

電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。  
感電やショートのおそれがあります。



禁止

この製品の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。  
感電や火災、けが、または故障の原因になります。



## 水に注意



禁止

本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。また、浴室や雨天時の屋外など湿気が多いところで使用しない。

内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。  
感電のおそれがあります。

## 火に注意



禁止

本体の上にもうそくなど火気のあるものを置かない。

ろうそくなどが倒れたりして、火災の原因になりま  
す。

## 異常に気づいたら



必ず実行

下記のような異常が発生した場合、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- ・電源コード/プラグがいたんだ場合
- ・製品から異常なおいや煙が出た場合
- ・製品の内部に異物が入った場合
- ・使用中に音が出なくなった場合

そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。

# ⚠ 注意

## 電源 / 電源コード



禁止

たこ足配線をしない。  
音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して火災の原因になることがあります。



必ず実行

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。  
電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。



必ず実行

長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。  
感電や火災、故障の原因になることがあります。

## 組み立て



必ず実行

本書の組み立て方の説明をよく読み、手順どおりに組み立てる。  
手順どおりに正しく組み立てないと、楽器が破損したりお客様がけがをしたりする原因になります。

## 設置



禁止

不安定な場所に置かない。  
本体が転倒して故障したり、お客様やほかの方がけがをしたりする原因になります。



必ず実行

この製品を持ち運びする場合は、必ず2人以上で行なう。  
この製品を1人で無理に持ち上げると、腰を痛めたり、この製品が落下して破損したり、お客様やほかの方がけがをしたりする原因になります。



必ず実行

本体を移動するときは、必ず電源コードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行なう。  
コードをいためたり、お客様やほかの方が転倒したりするおそれがあります。



必ず実行

この製品を電源コンセントの近くに設置する。  
電源プラグに容易に手の届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。この製品を長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

## 接続



必ず実行

すべての機器の電源を切った上で、ほかの機器と接続する。また、電源を入れたり切ったりする前に、機器のボリュームを最小にする。  
感電、聴力障害または機器の損傷の原因になります。



必ず実行

演奏を始める前に機器のボリュームを最小にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げて、適切な音量にする。  
聴力障害または機器の損傷の原因になります。

## 取り扱い



キーカバーや本体のすき間に手や指を入れない。また、キーカバーで指などをはさまないように注意する。

禁止

お客様がけがをするおそれがあります。



キーカバーやパネル、鍵盤のすき間から金属や紙片などの異物を入れない。

禁止

感電、ショート、火災、故障や動作不良の原因になることがあります。



本体の上ののったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。

禁止

本体が破損したり、お客様やほかの方々がかげがをしたりする原因になります。



大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。

禁止

聴覚障害の原因になります。



## イス



不安定な場所に置かない。

イスが転倒して、お客様やほかの方々がかげがをする原因になります。

禁止



イスで遊んだり、イスを踏み台にしたりしない。

禁止

イスが転倒したりこわれたりして、お客様がかげがをする原因になります。



イスには二人以上ですわらない。

禁止

イスが転倒したりこわれたりして、お客様がかげがをする原因になります。



イスにすわったままでイスの高さを調節しない。

禁止

高低調節機構に無理な力が加わり、高低調節機構がこわれたりお客様がかげがをしたりする原因になります。



イスのネジを定期的に締め直す。

必ず実行

イスを長期間使用すると、イスのネジがゆるむことがあります。ネジがゆるんだ場合は、付属のスパナで締め直してください。



イスの脚で床やたたみを傷つけないよう注意する。

必ず実行

イスの下にマットを敷くなどして、床やたたみを保護されることをおすすめします。



小さなお子様の後方への転倒に注意する。

必ず実行

背もたれがないため、後方へ転倒してけがをするおそれがあります。

- データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。
- 不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

使用後は、必ず電源スイッチを切りましょう。

[⓪](スタンバイ / オン)スイッチを切った状態(電源ランプが消えている)でも微電流が流れています。[⓪](スタンバイ / オン)スイッチが切れているときの消費電力は、最小限の値で設計されています。この製品を長時間使用しないときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

# 注記(ご使用上の注意)

製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、以下の内容をお守りください。

## ■ 製品の取り扱い/お手入れに関する注意

- テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しないでください。楽器本体またはテレビやラジオなどに雑音が生じる原因になります。iPhone/iPadのアプリケーションと一緒に使用する場合は、通信によるノイズを避けるため、iPhone/iPadの機内モードをオンにしてお使いいただくことをおすすめします。
- 直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなる場所、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用しないでください。本体のパネルが変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります(5℃~40℃の範囲で動作することを確認しています)。
- 本体上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かないでください。本体のパネルや鍵盤が変色/変質する原因になります。
- 手入れするときは、乾いた柔らかい布、または水を固くしぼった柔らかい布をご使用ください。ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどを使用すると、変色/変質する原因になりますので、使用しないでください。
- 極端に湿度度が変わると、本体表面に水滴がつく(結露する)ことがあります。水滴をそのまま放置すると、木部が水分を吸収して変形する原因になります。水滴がついた場合は、柔らかい布ですぐに拭きとってください。

## ■ データの保存に関する注意

### ・ 作成したデータの保存とバックアップ

編集したソング/スタイル/ボイスやMIDI設定などは、保存前に電源を切ると消えてしまいます。保存しておきたいデータは「ユーザー」画面(27ページ)や、USBフラッシュメモリーに保存してください。「ユーザー」画面に保存したデータは故障や誤操作などのために失われることがあります。大切なデータは、USBフラッシュメモリーに保存してください。上記(編集したソング/スタイル/ボイスやMIDI設定など)以外のデータは、設定を行なった画面またはページから抜けたときに保存されます。設定を行なった画面またはページから抜けずに電源を切ると、設定した内容は失われます。

- 保存したUSBフラッシュメモリーの万一の事故に備えて、大切なデータは予備のUSBフラッシュメモリーにバックアップとして保存されることをおすすめします。

## お知らせ

### ■ データの著作権に関するお願い

- ヤマハ(株)および第三者から販売もしくは提供されている音楽/サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。
- この製品は、ヤマハ(株)が著作権を有する著作物やヤマハ(株)が第三者から使用許諾を受けている著作物を内蔵または同梱しています。その著作物とは、すべてのコンピュータープログラムや、伴奏スタイルデータ、MIDIデータ、WAVEデータ、音声記録データ、楽譜や楽譜データなどのコンテンツを含みます。ヤマハ(株)の許諾を受けることなく、個人的な使用の範囲を超えて上記プログラムやコンテンツを使用することについては、著作権法等に基づき、許されていません。

### ■ 製品に搭載されている機能/データに関するお知らせ

- 内蔵曲は、曲の長さやイメージが原曲と異なる場合があります。
- この製品には、XGフォーマット以外の音楽/サウンドデータを扱う機能があります。その際、元のデータをこの楽器に最適化して動作させるため、オリジナルデータ(音楽/サウンドデータ)制作者の意図どおりには再生されない場合があります。ご了承のうえ、ご使用ください。
- 本製品には、株式会社リコーのBitmap Fontが使われています。
- 日本語変換はオムロンソフトウェア(株)のモバイルWnnを使用しています。
- “Mobile Wnn”© OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 1999 All Rights Reserved.

## ■ 取扱説明書の記載内容に関するお知らせ

- この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- iPhone、iPadは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- MIDIは社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

## 付属品(お確かめください)

- 電源コード
- イス(高さ調節付き)
- ヘッドフォン
- 取扱説明書(本書)
- データリスト
- 保証書
- 製品ユーザー登録のご案内\*
- ホルダーセット(94ページ)

\*ユーザー登録の際に必要なプロダクトIDが記載されています。

この楽器は、以下の規格に対応しています。



### GMシステムレベル2

代表的な音色配列フォーマットの1つである「GMシステムレベル1\*」を、さらに表現力を高める機能にまで拡張したフォーマットです。

\*多くのMIDI機器がGMシステムレベル1に対応しており、市販のミュージックデータの多くがGMシステムレベル1で作られています。



### XG

「GMシステムレベル1」をさらに拡張し、豊かな表現力とデータの継続性を可能にしたヤマハの音源フォーマットの音色配列です。クラビノーバのXG音色グループ内の音色で演奏を録音すると、録音されたデータの音色配列は「XG」になります。



### GS

ローランド株式会社の音源フォーマットです。ヤマハのXGフォーマットと同様、GMシステムレベル1の仕様に加え、音色セットやドラムセットの拡張、音色の修正、エフェクトなどの拡張機能を規定しています。



### XF

SMF(スタンダードMIDIファイル)をより拡張し、歌詞表示などを可能にしたヤマハ独自のシーケンスフォーマットです。



### スタイルファイルフォーマットGE (ギターエディション)

「スタイルファイルフォーマット(SFF)」とは、ヤマハの自動伴奏機能のノウハウを集大成した、伴奏スタイルに関するフォーマットです。SFF GEは、ギターの表現力をさらに高めた、SFFの拡張フォーマットです。

機種名(品番)、製造番号(シリアルナンバー)、電源条件などの情報は、製品の底面にある銘板または銘板付近に表示されています。製品を紛失した場合などでもご自身のものを特定していただけるよう、機種名と製造番号については以下の欄にご記入のうえ、大切に保管していただくことをお勧めします。

機種名

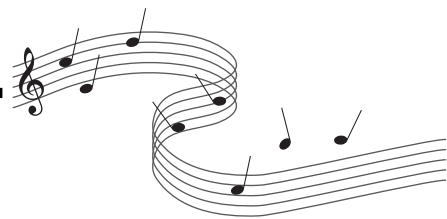
---

製造番号

---

(bottom\_ja\_02)

# こんなことができます

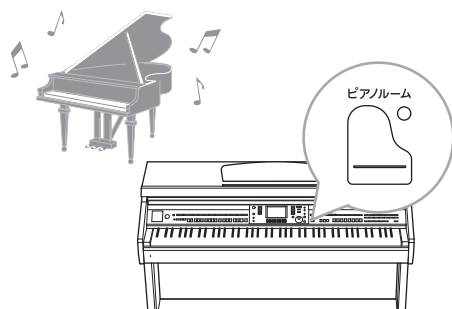


## アコースティックピアノのような弾き心地 1章「クラビノーバでピアノ曲を演奏する」

### グランドピアノに迫る表現力

#### 「リアルグランドエクスプレッション (RGE) 音源」

コンサートグランドピアノを演奏するような弾きごたえと表現力が楽しめる音源です。タッチの強弱にあわせて音色が変化するだけでなく、スタッカートで弾いたときには歯切れよく、ゆっくりと指を離れたときには長く余韻を残すという音切れの違いまで再現できる「スムーズリリース」を新搭載。ピアノ演奏の本質を徹底的に追求し、グランドピアノらしい豊かな表現力を生んでいます。



### 自然な鍵盤タッチ

低音部は重く、高音部は軽く、グランドピアノに近い鍵盤の重さで自然な弾き心地が得られます。さらに、グランドピアノのように、ペダルを踏まずに音をつなげる奏法や高速の同音連打も可能です。

### ピアノルーム

ワンタッチでピアノの設定を呼び出せます。シンプルにピアノ演奏を楽しむための機能です。

## いろいろな楽器音で演奏できます 2章「ボイス」

ピアノをはじめ、弦楽器、管楽器、パーカッションなどの豊富な楽器音で演奏できます。

ボイス

<input type="checkbox"/> ピアノ	<input type="checkbox"/> エレクトリックピアノ	<input type="checkbox"/> ストリングス	<input type="checkbox"/> ギター	<input type="checkbox"/> サックス	<input type="checkbox"/> フルート	<input type="checkbox"/> オルガン
<input type="checkbox"/> トランペット	<input type="checkbox"/> ブラス	<input type="checkbox"/> アコーディオン	<input type="checkbox"/> コーラス	<input type="checkbox"/> シンセサイザー	<input type="checkbox"/> ドラムキット	<input type="checkbox"/> オルガンフルート



## 豪華な自動伴奏が付けられます 3章「スタイル」

鍵盤でコードを押さえるだけで、楽器が伴奏を自動演奏してくれます(スタイル機能)。ポップス、ジャズ、ラテンなどからお好みのスタイルを選んで演奏してみましょう。

スタイル

<input type="checkbox"/> ポップ&ロック	<input type="checkbox"/> バラード	<input type="checkbox"/> ダンス	<input type="checkbox"/> スwing&ジャズ	<input type="checkbox"/> R&B	<input type="checkbox"/> カントリー	<input type="checkbox"/> ラテン	<input type="checkbox"/> ホールルーム	<input type="checkbox"/> エンターテイシメント	<input type="checkbox"/> ワールド	<input type="checkbox"/> ピアニスト						
<input type="checkbox"/> スタイルオン/オフ	<input type="checkbox"/> フルインオン/オフ	<input type="checkbox"/> イントロ I	<input type="checkbox"/> II	<input type="checkbox"/> III	<input type="checkbox"/> メイン A	<input type="checkbox"/> B	<input type="checkbox"/> C	<input type="checkbox"/> D	<input type="checkbox"/> ブレイク	<input type="checkbox"/> エンディング/rit. I	<input type="checkbox"/> II	<input type="checkbox"/> III	<input type="checkbox"/> シンクロストップ	<input type="checkbox"/> シンクロスタート	<input type="checkbox"/> スタート/ストップ	<input type="checkbox"/> ミュージックライスター



## 曲にあわせて楽しく演奏できます

4章「ソング」

### ソングの再生 ..... 58ページ

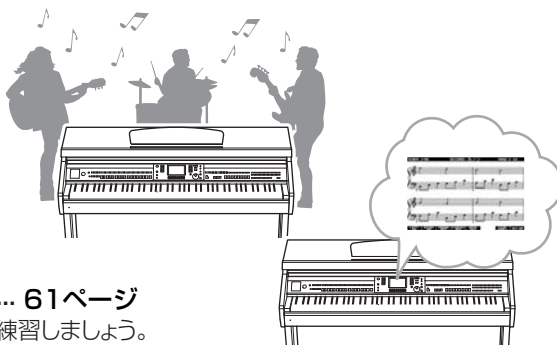
ソング(曲データ)を鳴らしながら鍵盤を弾けば、オーケストラやバンドをバックに楽しく演奏できます。

### ガイド機能..... 62ページ

鍵盤ガイドランプが、鍵盤を弾くタイミングや押さえる鍵盤位置などを教えてくれます。

### 譜面表示 ..... 61ページ

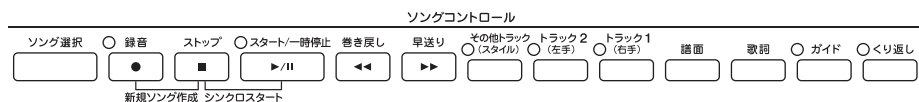
画面に譜面を表示させることができます。譜面を見ながら練習しましょう。



## 演奏を録音できます

5章「演奏を録音する(MIDI)」

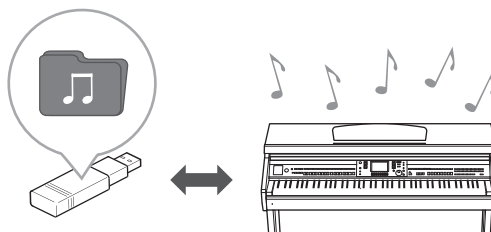
ご自分の演奏を録音して、本体やUSBフラッシュメモリーなどに保存できます。録音した演奏を聞けば、演奏の弱点を見つけたりするのも役立ちます。



## USBフラッシュメモリーからオーディオファイルを再生/録音できます

6章 オーディオファイルを再生/録音する (USBオーディオ)

USBフラッシュメモリーに入っているオーディオファイル(.WAV)を楽器で再生できます。また、ご自分の演奏をオーディオファイル(.WAV)としてUSBフラッシュメモリーに録音することもできます。



## 弾きたい曲に合ったボイスや自動伴奏(スタイル)を呼び出せます

7章「ミュージックファインダー」

ミュージックファインダーを使えば、弾きたい曲に合ったパネル設定(ボイスやスタイルなど)を呼び出すことができます。

## iPhone/iPadと接続できます

10章「他の機器と接続して演奏する」

i-MX1(別売)を使って、楽器のMIDI端子とiPhoneやiPadなどのスマートデバイスを接続すると、iPhoneやiPadと通信できます。CVP-601に対応のアプリケーションを使って、楽器をもっと便利に使うことができます。

# 取扱説明書について

この楽器には、以下の説明書が用意されています。

## 冊子マニュアル



### 取扱説明書(本書)

クラビノーバの基本機能について説明しています。下記「本書の見かた」をご覧ください。



### データリスト

ボイス名、スタイル名などのリストが掲載されています。

## 電子マニュアル



### 機能詳細編 もっと楽しむCVP

クラビノーバの詳細設定や、自分でスタイル(3章)やソング(4章)を作成する方法について説明しています。



### iPhone/iPad接続マニュアル

クラビノーバをiPhoneやiPadなどのスマートデバイスと接続する方法を説明しています。



### MIDIリファレンス

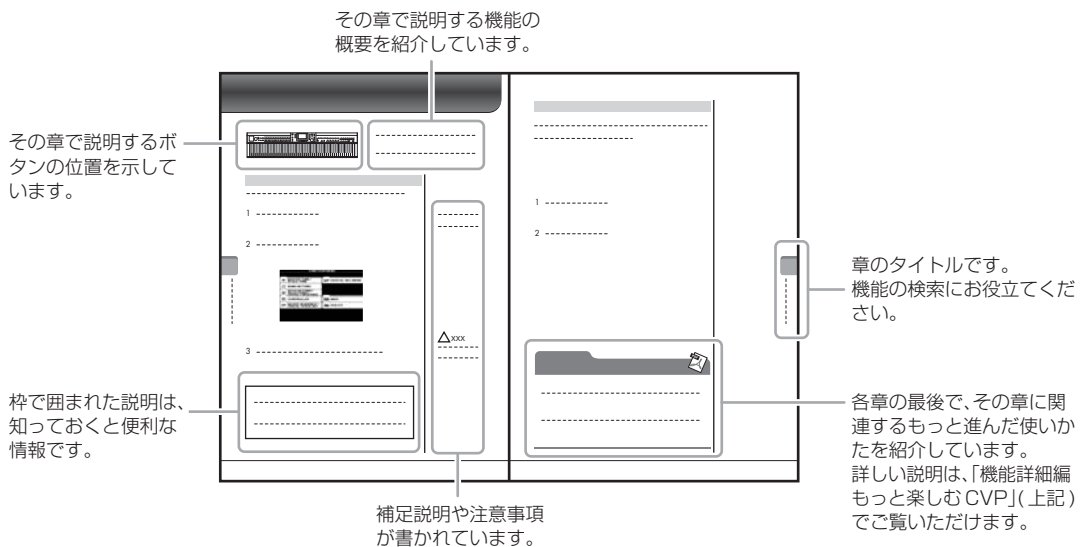
「MIDIデータフォーマット」や「MIDIインプリメンテーションチャート」など、MIDIに関する資料が掲載されています。

電子マニュアルは、ヤマハマニュアルライブラリーのウェブサイトからご覧いただけます。インターネットに接続して以下のウェブサイトを開き、「モデル名から検索」テキストボックスにモデル名(「CVP-601」など)を入力して「検索」をクリックします。

ヤマハマニュアルライブラリー

<http://www.yamaha.co.jp/manual/>

## 本書の見かた

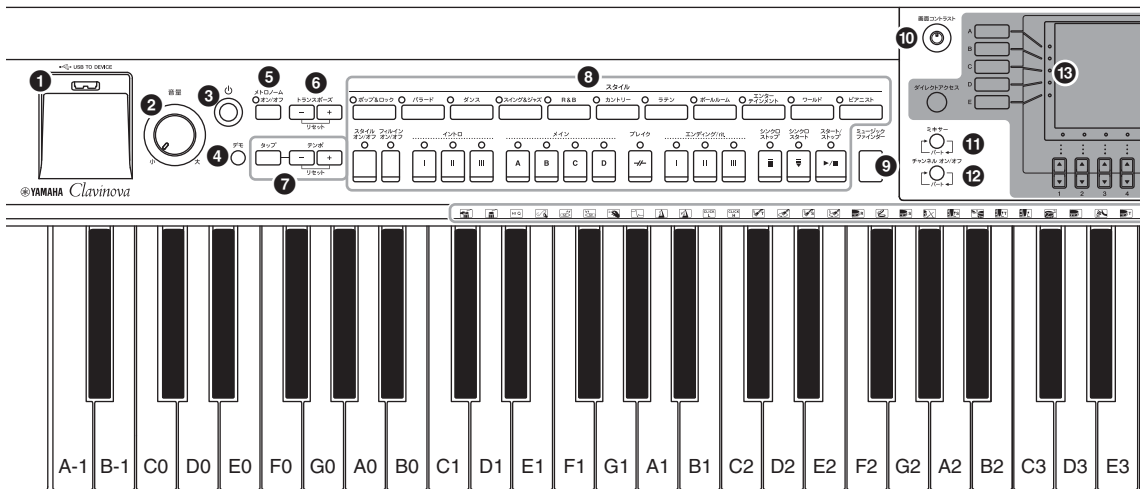


# 目次

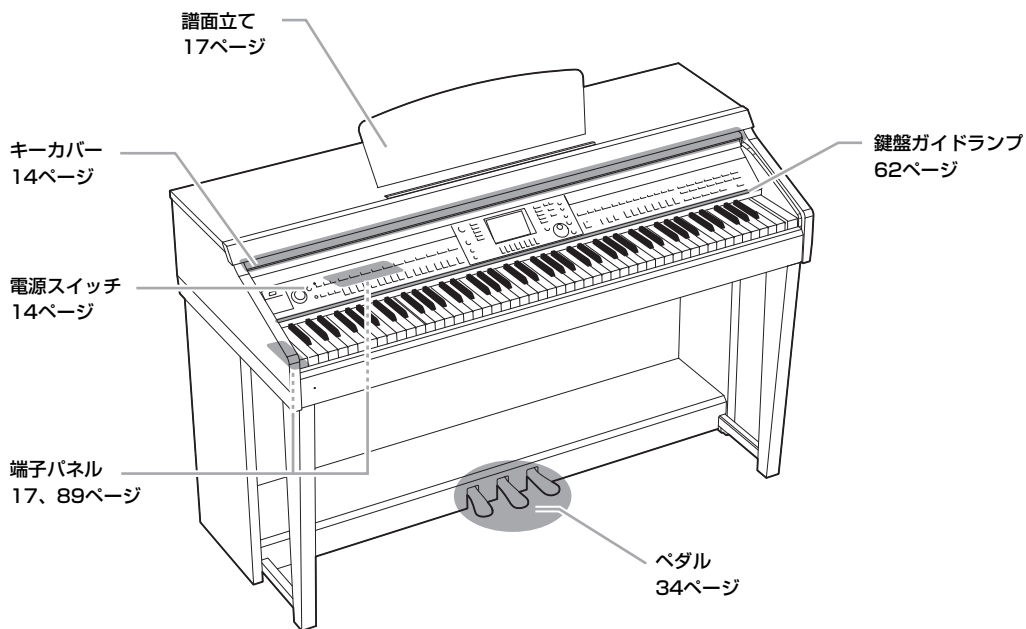
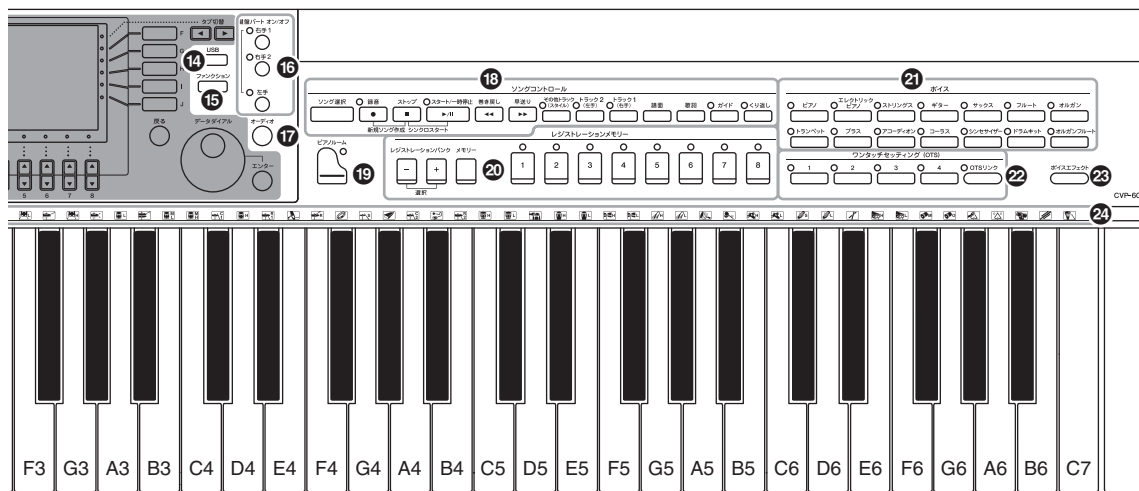
安全上のご注意	2	スタイルをチャンネルごとにオン/オフする	56
注記(ご使用上の注意)	6	スタイル再生音と手弾き音の音量バランスを調節する	57
付属品(お確かめください)	7	<b>4 曲を再生、練習する(ソング)</b>	<b>58</b>
こんなことができます	8	ソングを再生する	58
取扱説明書について	10	譜面を表示する	61
本書の見かた	10	歌詞を表示する	61
		ソングをチャンネルごとにオン/オフする	62
		ガイドランプを使って片手ずつ練習する	62
		繰り返し再生を使って練習する	63
<b>各部の名称</b>	<b>12</b>	<b>5 演奏を録音する(MIDI)</b>	<b>65</b>
操作パネル	12	クイック録音	65
		データを保存する	67
		チャンネルごとに録音する(多重録音)	68
		ファイルを管理する	69
<b>ご使用前の準備</b>	<b>14</b>	<b>6 演奏を再生/録音する(オーディオ)</b>	<b>73</b>
電源を入れる	14	再生する	73
オートパワーオフ	16	録音する	75
譜面立てを使う	17	<b>7 弾きたい曲に合ったボイスや自動伴奏(スタイル)</b>	<b>77</b>
ヘッドフォンを使う	17	などを呼び出す(ミュージックファインダー)	77
画面に表示される言語を切り替える	18	曲に合ったパネル設定を選ぶ	80
画面のコントラスト(明暗)を調整する	18	パネル設定を検索する	81
オープニング画面にオーナーネーム(OWNER NAME)を表示する	19	<b>8 パネル設定を登録する(レジストレーションメモリー)</b>	<b>83</b>
デモを見る	20	パネル設定を登録する	83
画面の操作方法	21	登録したパネル設定をファイルとして保存する	84
画面に表示されるメッセージの操作方法	24	登録したパネル設定を呼び出す	85
目的の画面をすばやく表示させる(ダイレクトアクセス)	24	<b>9 音量バランスや音色などを調節する(ミキサー)</b>	<b>86</b>
メイン画面の見かた	25	ミキサーの基本操作	86
選択画面の見かた	27	<b>10 他の機器と接続して演奏する</b>	<b>89</b>
文字を入力する	28	外部オーディオ機器と接続する	89
設定を工場出荷時の状態に戻す(初期化)	29	フットスイッチやフットコントローラーを接続する	90
データのバックアップ	30	USBフラッシュメモリーを接続する	91
		コンピューターと接続する	93
		iPhone/iPadと接続する	93
		外部MIDI機器と接続する	95
<b>1 クラビノーバでピアノ曲を演奏する</b>	<b>31</b>	<b>11 楽器全体に関する設定(ユーティリティ)</b>	<b>96</b>
ピアノ演奏の初期設定に戻す(ピアノリセット)	31	基本操作	96
ピアノ演奏を楽しむ(ピアノルーム)	31	<b>12 付録</b>	<b>98</b>
ピアノルームでピアノの設定を変える	32	組み立て前の準備	98
ピアノルームの状態に固定する(ピアノロック)	33	組み立て方	98
ペダルを使う	34	困ったときは	101
メトロノームを使う	35	パネルボタンチャート	104
クラビノーバのお手入れ	36	仕様	107
		索引	110
		保証とアフターサービス	115
<b>2 いろいろな楽器音で演奏する(ボイス)</b>	<b>37</b>		
内蔵のボイスを選んで弾く	37		
移調(トランスポーズ)する	42		
スーパーアーティキュレーションボイス(SAボイス)に表情を付ける	42		
ボイスにエフェクト(効果)をかける	43		
オルガン音色を作る	45		
鍵盤のタッチ感度を変える	46		
<b>3 リズムや自動伴奏を鳴らす(スタイル)</b>	<b>48</b>		
リズムだけを鳴らす	48		
自動伴奏を鳴らす	49		
コード表	51		
スタイル再生を操作する	52		
選んだスタイルに最適なボイスなどを呼び出す(ワンタッチセッティング=OTS)	54		
演奏に合うスタイルを呼び出す(スタイルレコメンダー)	55		

# 各部の名称

## 操作パネル



- ① [USB TO DEVICE]端子 ..... 91ページ  
USBフラッシュメモリーを接続します。
- ② [音量]ダイヤル ..... 15ページ  
楽器全体の音量を調節します。
- ③ [⏻] (スタンバイ/オン) スイッチ ..... 14ページ  
電源のスタンバイ/オンを切り替えます。
- ④ [デモ] ボタン ..... 20ページ  
楽器のデモを再生します。
- ⑤ [メトロノーム オン/オフ] ボタン ..... 35ページ  
メトロノームを鳴らします。
- ⑥ トランスポーズボタン ..... 42ページ  
半音単位で移調します。
- ⑦ [タップ]/テンポボタン ..... 53ページ  
ソングやスタイルなどのテンポを調節します。
- ⑧ スタイルボタン ..... 48ページ  
スタイルを選んだり、スタイル再生をコントロールしたりします。
- ⑨ [ミュージックファインダー] ボタン ..... 77ページ  
弾きたい曲を検索します。
- ⑩ [画面コントラスト] つまみ ..... 18ページ  
画面の明暗比を調節します。
- ⑪ [ミキサー] ボタン ..... 86ページ  
鍵盤パート間やソング/スタイルチャンネルごとの、音量バランスや音色調節をします。
- ⑫ [チャンネル オン/オフ] ボタン ..... 56、62ページ  
パートのオン/オフを設定したりします。
- ⑬ 画面コントロール ..... 21ページ  
画面の表示内容を操作します。
- ⑭ [USB] ボタン ..... 27、73ページ  
USBフラッシュメモリー内のデータを選びます。
- ⑮ [ファンクション] ボタン  
(「機能詳細編 もっと楽しむCVP」参照)  
詳細設定を行ないます。
- ⑯ 鍵盤パート オン/オフボタン ..... 40ページ  
鍵盤パートをオン/オフします。
- ⑰ [オーディオ] ボタン ..... 73ページ  
オーディオ録音/再生機能を使用します。
- ⑱ ソングコントロールボタン ..... 58ページ  
ソングを選んだり、再生したりします。
- ⑲ [ピアノルーム] ボタン ..... 31ページ  
自分の好みに調整したピアノの音を、すぐに呼び出せます。
- ⑳ レジストレーションメモリーボタン ..... 83ページ  
パネル設定を保存したり、呼び出したりします。
- ㉑ ボイスボタン ..... 37ページ  
ボイスを選びます。
- ㉒ ワンタッチセッティング (OTS) ボタン ..... 54ページ  
スタイルに連動して最適なパネル設定を呼び出します。
- ㉓ [ボイスエフェクト] ボタン ..... 43ページ  
ボイスにさまざまなエフェクトをかけます。
- ㉔ ドラムキットアイコン ..... 41ページ  
スタンダードキット1を選んだときに、各鍵盤に割り当てられる打楽器のイラストです。



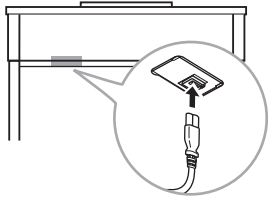
# ご使用前の準備

## 電源を入れる

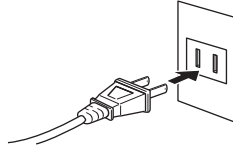
### 1 電源コードを接続します。

最初に本体側のプラグを差し込み、次にコンセント側(家庭用AC100V)のプラグを差し込みます。

1-1

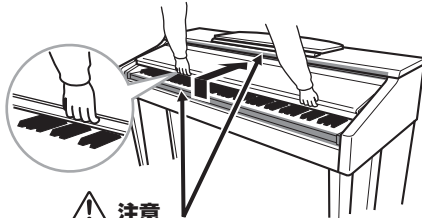


1-2



### 2 キーカバーを開けます。

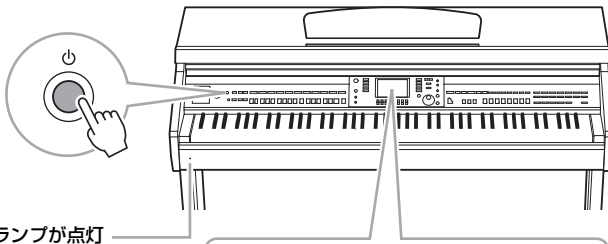
少し持ち上げて、奥へ押し込みます。



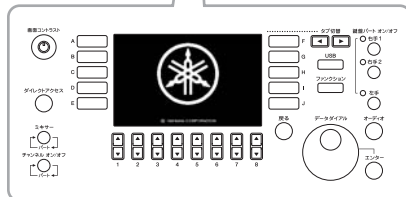
**注意**  
手や指をはさまないように注意

### 3 [⏻](スタンバイ/オン)スイッチを押して電源を入れます。

本体パネル中央の画面に表示が現れます。また、本体前面左の電源ランプが点灯します。



電源ランプが点灯



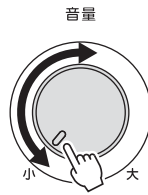
#### **⚠ 注意**

キーカバーを開けるときは、両手で静かに行ない、途中で手を離さないでください。また、ご自分や周りの方、特にお子様などが、キーカバーの端と本体の間に手や指をはさまないようにご注意ください。

#### **⚠ 注意**

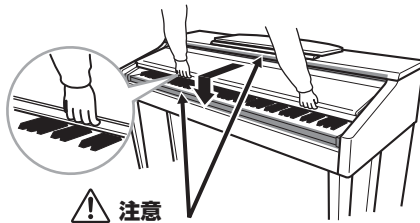
キーカバーを開けると、キーカバーの上に金属や紙などを置かないでください。本体の内部に落ちて取り出せなくなり、感電、ショート、発火や故障などの原因になります。

- 4 [音量]ダイヤルで音量を調節します。  
鍵盤を弾いて音を出しながら調節してください。



- 5 使い終わったら、[⏻](スタンバイ/オン)スイッチを押して電源を切ります。  
画面の表示が消え、本体前面左の電源ランプも消灯します。
- 6 キーカバーを閉めます。

手前に引いて、静かに下ろします。



**注意**  
手や指をはさまないように注意

**注意**

電源を切った状態でも微電流が流れています。楽器を長時間使用しないときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。

**強制的に電源をオフする**

録音中や編集、メッセージが表示されているときは、電源スイッチを押しても電源が切れません。強制終了したい場合は、[⏻](スタンバイ/オン)スイッチを3秒以上押し続けてください。

**注記**

録音中や編集、メッセージが表示されているときに強制終了すると、データが失われたり、楽器や外部機器が故障したりする場合があります。ご注意ください。

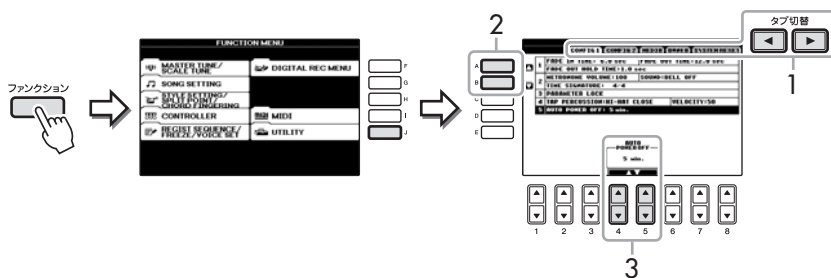
## オートパワーオフ

電源の切り忘れによる余分な電力消費を防ぐため、本体が一定時間操作されないと自動的に電源が切れる機能です。初期設定では30分に設定されていますが、以下の操作で設定を変えることができます。この設定は、電源が切れても記憶されています。

### オートパワーオフの設定

電源が自動的に切れるまでの時間は変更できます。

#### 1 [ファンクション] → [J] UTILITY → タブ切替[◀][▶]CONFIG 1



#### 2 [A]/[B]ボタンを使ってAUTO POWER OFFを選びます。

#### 3 [4▲▼]/[5▲▼]ボタンを使って、設定値(分)を選びます。

設定値：off (オートパワーオフ解除)、5、10、15、30、60、120

初期設定値：30

### オートパワーオフの簡単解除

左端の鍵盤を押したまま電源を入れると、オートパワーオフ解除のメッセージが表示され、オートパワーオフが解除されます。

#### NOTE

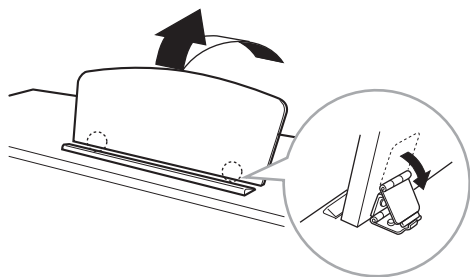
この取扱説明書では、設定画面を表示させるための操作手順を「→」で表記しています。

#### 注記

- 本体の状態によっては、一定時間操作せずにオートパワーオフの設定時間が経過しても電源が切れない場合があります。使用後は、手動で本体の電源を切ってください。
- アンブ、スピーカー、コンピューターなどの外部機器を本体に接続した状態で、一定時間本体を操作しない場合は、外部機器損傷を防ぐために取扱説明書の手順に従って外部機器と本体の電源を切ってください。接続した状態で自動的に電源が切れるのを避けたい場合は、オートパワーオフを無効にしてください。
- オートパワーオフで電源が切れた場合、保存していないデータは消去されます。電源が切れる前に、必ず保存してください。

## 譜面立てを使う

譜面立てを手前に起こし、裏にある左右2つの金具を下ろしたあと、譜面立てを戻します。



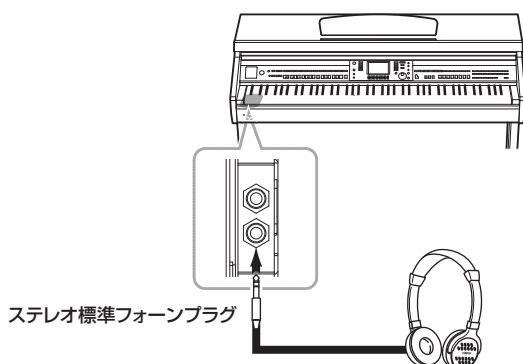
譜面立てを倒すときは、譜面立てを手前に起こし、裏にある左右2つの金具を上げたあと、手を添えながらゆっくり戻します。

### ⚠ 注意

譜面立ては、金具が固定されない位置で使用または放置しないでください。

## ヘッドフォンを使う

ヘッドフォンを使う場合は、楽器本体底面の左側にある[PHONES]端子に接続します。接続端子は2つありますので、ヘッドフォンを2本接続して2人で演奏を楽しむこともできます。1本だけ接続する場合は、どちらの端子を使っても構いません。



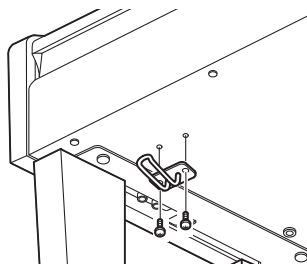
### ⚠ 注意

大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しないでください。聴覚障害の原因になります。

## ヘッドフォンハンガーを取り付ける

本体には、取り付け式のヘッドフォンハンガーが同梱されています。ヘッドフォンハンガーを取り付けると、本体にヘッドフォンを掛けられます。

付属のネジ(4×10mm) 2本で、図のように取り付けてください。



### 注記

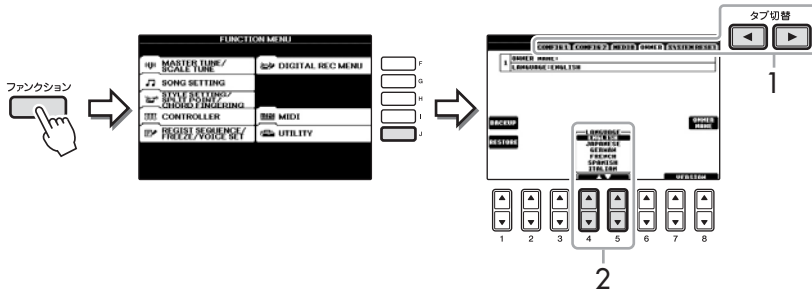
ヘッドフォンハンガーにヘッドフォン以外のものを掛けないでください。本体またはヘッドフォンハンガーが破損する場合があります。

## 画面に表示される言語を切り替える

画面に表示されるメッセージ、ファイル名などの言語を指定します。

### 1 設定画面を表示させます:

[ファンクション] → [J] UTILITY → タブ切替[◀][▶] OWNER



### 2 [4▲▼]/[5▲▼]ボタンで、言語を選びます。

## 画面のコントラスト(明暗)を調整する

画面の左上にある[画面コントラスト]つまみを回して、画面のコントラストを調整します。

画面コントラスト



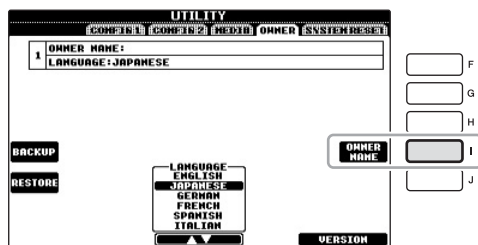
- A
- B
- C
- D
- E



## オープニング画面にオーナーネーム (OWNER NAME)を表示する

オープニング画面(電源を入れたときに表示される画面)に、あなたの名前を表示できます。

- 1 設定画面を表示させます:  
[ファンクション] → [J] UTILITY → タブ切替[◀][▶] OWNER
- 2 [I] (OWNER NAME) ボタンを押して、名前入力用の画面を表示させます。  
文字の入力方法は、28ページを参照してください。



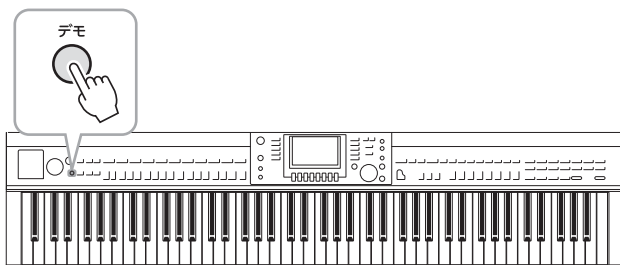
### 楽器のバージョンを確認する

手順1の画面で[7▲▼]/[8▲▼](VERSION)ボタンを押すと、楽器のバージョンが表示されます。  
バージョン表示を閉じるには、[戻る]ボタンまたは[8▲▼]ボタンを押します。

## デモを見る

デモでは、ソングを再生するだけでなく、クラビノーバの持つさまざまな機能や魅力を画面で説明します。クラビノーバでどんなことができるのか見てみましょう。

- 1 [デモ]ボタンを押して、デモのメニューを表示させます。



- 2 [A]~[C]、[E]ボタンで、説明を見たいメニューを選びます。

[E]ボタンを押すと、オーバービューデモ画面が表示され、さまざまな機能が紹介されます。



選んだメニューにさらに番号が付いた項目がある場合、該当する番号の[▲▼]ボタンで見たい項目を選びます。



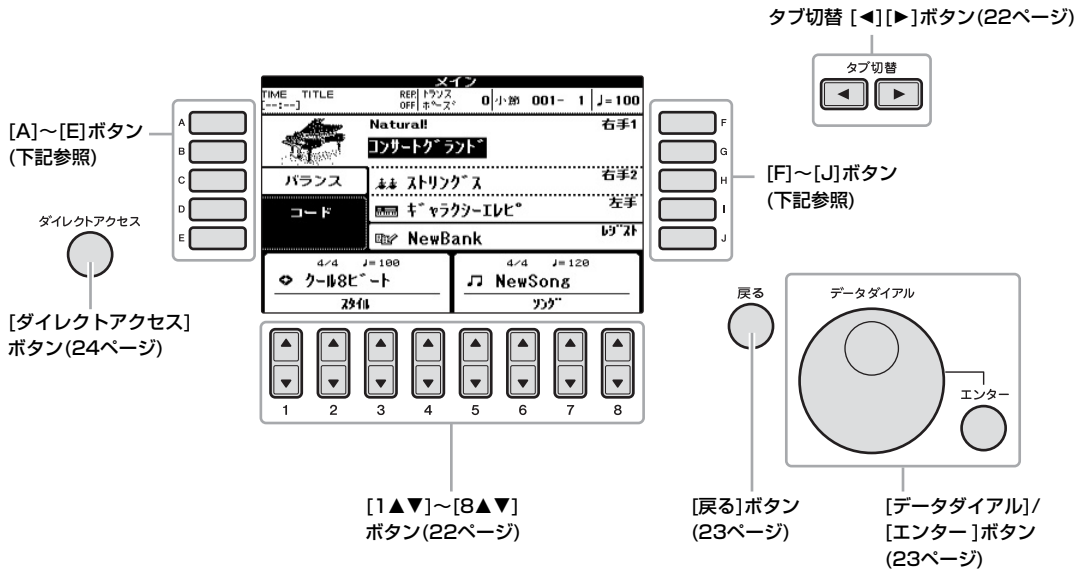
- 3 [戻る]ボタンを何度か押して、デモ画面を抜けます。

### NOTE

一つ前の画面に戻るには、[戻る]ボタンを押します。

# 画面の操作方法

画面に表示された内容は、画面の周辺にあるボタンで選択/設定できます。



ご使用前の準備

## [A]~[J]ボタン

ボタンの横に表示されている項目を選びます。

### ■ 例1



ファイル選択画面(27ページ)の場合、選びたいファイルに対応した [A]~[J]ボタンを押します。

### ■ 例2



## タブ切替[◀][▶]ボタン

画面の中に複数のページ(タブ)がある場合、このボタンで切り替えます。



ご使用前の準備

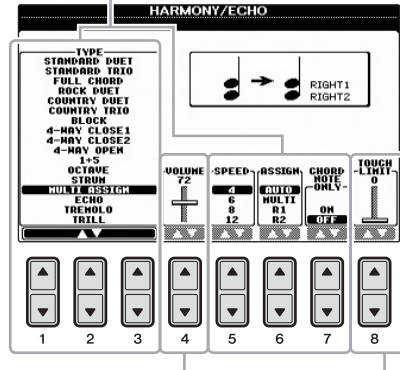
## [1▲▼]~[8▲▼]ボタン

ボタンの上に表示された項目を選んだり、設定値を増減させたりします。

この列に表示された項目は、[1▲]~[8▲]ボタンで選びます。



複数の選択肢を、[▲▼]ボタンで切り替えます。

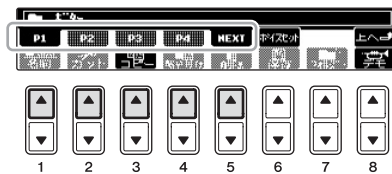


この列に表示された項目は、[1▼]~[8▼]ボタンで選びます。

スライダーやノブの形状の設定項目は、[▲▼]ボタンで値を調整します。

### ■ ページを切り替える

画面の中に複数のページがある場合、画面の下にページ番号が表示されます。対応する[1▲]~[5▲]ボタンでページを切り替えられます。

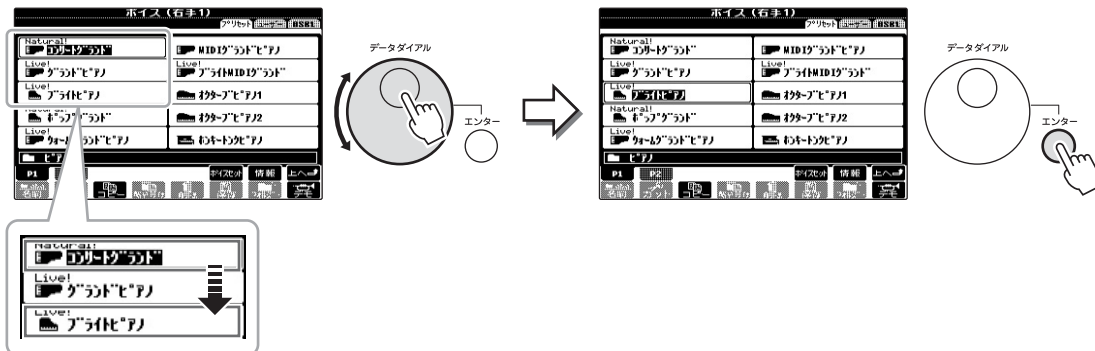


## [データダイアル]/[エンター]ボタン

画面に表示されている内容によって、2つの使い方があります。

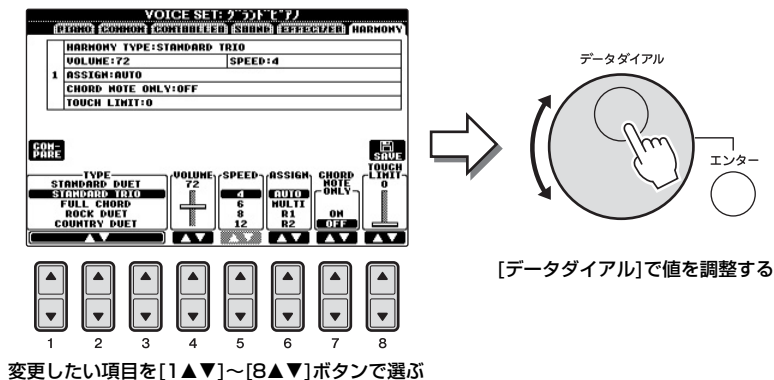
### ■ ファイル(ボイス、スタイル、ソングなど)を選ぶ

ファイル選択画面(27ページ)では、[データダイアル]で目的のファイル(ボイスなど)を選び、[エンター]ボタンで決定します。



### ■ 設定値を変更する

設定項目が画面の下に表示されている場合、変更したい項目を[1▲▼]~[8▲▼]ボタンで選んだあと、[データダイアル]を回して設定値を変更します。



テンポやトランスポーズを設定する場合にも、[データダイアル]を使って同様に値を変更できます。たとえば、テンポ[+]または[-]ボタンを押すと画面中央にテンポ画面が表示されるので、[データダイアル]で値を設定して[エンター]ボタンでテンポ画面を閉じます。

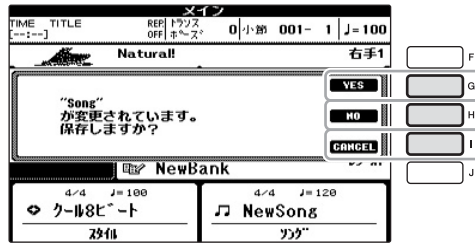
## [戻る]ボタン

1つ前の画面に戻ります。[戻る]ボタンを何度も押し続けると、メイン画面(25ページ)に戻ります。



## 画面に表示されるメッセージの操作方法

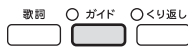
操作中、画面にメッセージが表示されることがあります。メッセージが表示されたら、対応するボタンを押してください。



## 目的の画面をすばやく表示させる(ダイレクトアクセス)

ダイレクトアクセス機能を使って、目的の画面をすばやく表示させることができます。

- 1 [ダイレクトアクセス]ボタンを押します。  
画面に、目的のボタンを押すように促すメッセージが表示されます。
- 2 表示させたい設定画面に対応したボタン(またはペダル)を押します。  
押したボタン(またはペダル)に関連のある画面が表示されます。  
たとえば、[ガイド]ボタンを押すと、ガイドモードが選べる画面が表示されます。



ダイレクトアクセスできる機能については、別冊データリスト「ダイレクトアクセスチャート」をご覧ください。

## メイン画面の見かた

電源を入れたあとに表示される画面がメイン画面です。メイン画面を見れば、今日のボイスを選んでいるか、どのスタイルを選んでいるかなど、パネルの設定状態がひとめでわかります。演奏中に表示させておくとう便利です。



### 1 ボイス名

右手1、右手2、左手パートで選ばれているボイスが表示されます(37ページ)。ボイス名に対応する[A]～[B]、[F]～[I]ボタンを押すと、各パートのボイス選択画面が開きます。

### 2 スタイル情報

選ばれているスタイルの名前、拍子、テンポが表示されます。[1▲▼]～[4▲▼]ボタンを押すと、スタイル選択画面(48ページ)が開きます。

### 3 コード名

スタイルがオンの場合は、コード鍵域で押さえたコード名が表示されます。コードデータが入っているソングの再生中は、ソングのコード名が表示されます。

### 4 ソング情報

選ばれているソングの名前、拍子、テンポが表示されます。[5▲▼]～[8▲▼]ボタンを押すと、ソング選択画面(58ページ)が開きます。

### 5 レジストレーションメモリーのバンク名

選ばれているレジストレーションメモリーのバンク名が表示されます。[J]ボタンを押すと、バンク選択画面(84ページ)が開きます。

### 6 音量バランス

各パートの音量バランスが表示されます。[C]ボタンを押すことで、音量バランスの画面が開きます。

[1▲▼]～[7▲▼]ボタンで、各パートの音量バランスを調節します。

### 7 トランスポーズ

半音単位のトランスポーズ量が表示されます(42ページ)。

### 8 テンポ/小節

ソングまたはスタイルの、テンポと再生位置(小節数-拍数)が表示されます。

### NOTE

[ダイレクトアクセス]ボタンを押してから[戻る]ボタンを押すと、どの画面からでもすぐにメイン画面に戻れます。

### NOTE

レフトホールド(44ページ)がオンのときは、ボイス名の欄に「H」が表示されます。

### NOTE

音量バランス画面が選ばれていないとき(チャンネルON/OFF画面が選ばれているとき)は、[戻る]ボタンを押します。

### ⑨ USBオーディオ情報

選択中のオーディオデータの情報(ファイル名や再生時間など)が表示されます。オーディオ録音待機中は、「REC WAIT」と表示されます。録音中は、「REC」と表示されます。

### ⑩ レジストレーションシーケンス

レジストレーションシーケンス(85ページ)がオンの場合、レジストレーションメモリーの順番が表示されます。レジストレーションシーケンスについては、インターネット上の「機能詳細編もっと楽しむCVP」をご覧ください。

## 選択画面の見かた

選択画面は、ボイスやスタイルなどさまざまなデータを選ぶための画面です。ボイスボタンやスタイルボタン、ソング選択ボタンなどを押したときに表示されます。



### 1 データの保存場所

「プリセット」を選ぶと、楽器にあらかじめ内蔵されているデータが表示されます。「ユーザー」は、自分で作ったデータが保存できる領域です。「ユーザー」を選ぶと、以前に作成(録音)したデータが表示されます。「USB」を選ぶと、USBフラッシュメモリーに入っているデータが表示されます。「USB」は、USBフラッシュメモリーが[USB TO DEVICE]端子に接続されている場合のみ表示されます(91ページ)。

### 2 データ(ファイル)一覧

画面上で選ぶことのできるファイルが表示されています。選べるファイルが多い場合は、一覧の下に、画面のページを表す「P1」「P2」などが表示されるので、違うページを選ぶこともできます。ページが多くなると、「次へ」「前へ」などと表示されることもあります。

### 3 ファイル/フォルダーを操作するメニュー

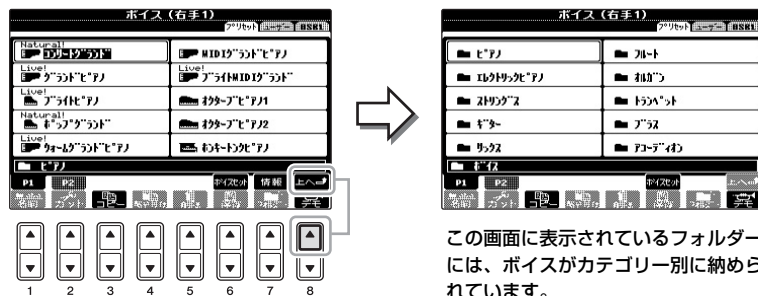
データの保存やコピー、移動、削除などを行なうメニューです。また、ファイルに名前を付け直したり、フォルダーを作ってファイルの場所を管理したりもできます。操作方法は67～71ページをご覧ください。

### フォルダーを閉じてひとつ上の階層を表示させる

内蔵のデータ(ファイル)は、いくつかまとめて「フォルダー」に入られています。また、自分で作成したファイルも、フォルダーを作って整理することができます(69ページ)。現在表示されている(開かれている)フォルダーを閉じてひとつ上の階層を表示させるには、[8▲] (上へ)ボタンを押します。

### 内蔵ボイス選択画面の例

内蔵のボイスは、カテゴリー別のフォルダーに収められています。



この画面は、フォルダーの中を表示させている状態です。

[8▲] (上へ)ボタンを押すと、ひとつ上の階層が表示されます。

この画面に表示されているフォルダーには、ボイスがカテゴリー別に納められています。

### NOTE

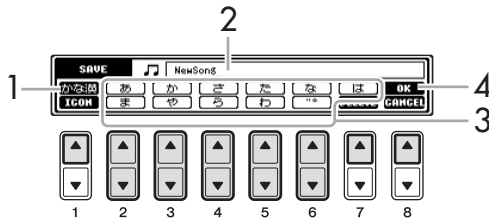
楽器内では、データは「ファイル」として保存されています。

### USB画面

USBフラッシュメモリーの中のファイルを選ぶときには、[USB]ボタンを押したあと画面上でファイルの種類を選べば、ファイル選択画面の「[USB]」が開かれます。  
[USB] → [A]ソング/[B]オーディオ/[C]スタイル/[F]ボイス/[G]レジスト

## 文字を入力する

ファイル/フォルダーに名前を付けたりするときの、文字の入力方法をご説明します。文字入力には、下記のような入力画面で行ないます。



### 1 [1▲]ボタンを押して、文字種を切り替えます。

画面を日本語表示にしている場合は、下記の文字種を選べます。

- かな漢 ..... ひらがな(漢字変換)、全角記号
- カナ ..... 全角カタカナ、全角記号
- 加 ..... 半角カタカナ、半角記号
- ABC ..... 全角アルファベット(大文字、小文字)、全角数字、全角記号
- abc ..... 半角アルファベット(大文字、小文字)、半角数字、半角記号

画面を日本語以外の言語表示にしている場合は、下記の文字種を選べます。

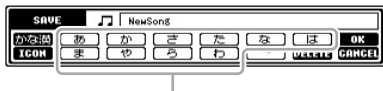
- CASE ..... 半角アルファベット(大文字)、半角数字、半角記号
- case ..... 半角アルファベット(小文字)、半角数字、半角記号

### 2 [データダイアル]で、文字を入力したい位置にカーソルを移動させます。

### 3 [2▲▼]～[6▲▼]、[7▲]ボタンで、文字や記号を入力します。

入力した文字を確定する場合、文字を表示したあとでカーソルを移動させたり、別の文字入力ボタンを押したりします。

詳しくは、29ページの「文字入力中の操作」をご覧ください。



ひとつのボタンにはいくつかの文字が割り当てられています。  
ボタンを繰り返し押して、文字を切り替えます。

### 4 [8▲] (OK)ボタンを押して、入力した文字列(名前/キーワードなど)を確定します。

#### NOTE

入力画面によって、使用できない文字種があります。

#### NOTE

ファイル名は半角で41文字(全角20文字)、フォルダー名は半角で50文字(全角25文字)まで入力できます。(101ページ参照)

#### NOTE

途中で文字入力を中止する場合は、[8▼] (CANCEL)ボタンを押します。

## 文字入力中の操作

### ■ 文字を消す

[データダイアル]で消したい文字にカーソルを移動させ、[7▼] (DELETE)ボタンを押します。入力した文字列を一度に消したいときは、[7▼] (DELETE)ボタンを押し続けます。

### ■ 濁点(゛)/半濁点(゜)を入力する

濁点/半濁点などを付けたい文字を入力し、文字を確定する前に[6▼]ボタンを押します。

### ■ 記号やスペース(空白)を入力する

- 1 文字を確定したあとで[6▼]ボタンを押して、記号一覧を表示させます。
- 2 [データダイアル]で入力したい記号/スペースにカーソルを移動させ、[8▲] (OK)ボタンを押します。

### ■ 漢字に変換する(文字種: かな漢)

入力した文字列が反転表示されているときに[1▲] (変換)または[エンター]ボタンを何度か押して、変換候補を表示させます。[データダイアル]で、漢字変換する範囲を変えられます。目的の漢字が表示されたら、[1▼] (確定)または[8▲] (OK)ボタンを押します。

変換中に[7▼] (DELETE)ボタンを押すと、ひらがなに戻ります。

変換中に[8▼] (CANCEL)ボタンを押すと、変換中の文字列がすべて消去されます。

### ■ ファイル名の左に表示されるアイコンを変える

- 1 [1▼] (ICON)ボタンを押して、アイコン画面を表示させます。
- 2 [A]~[J]ボタン、[3▲▼]~[5▲▼]ボタン、または[データダイアル]で、アイコンを選びます。  
アイコン画面は何ページかに分かれています。ページをめくるときは、タブ切替[◀][▶]ボタンを押します。
- 3 [8▲] (OK)ボタンを押して、選んだアイコンを確定します。

#### NOTE

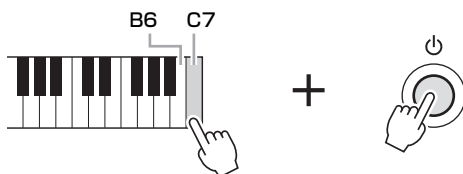
文字種が「かな漢」「カナ(全角)」「か(半角)」以外の場合や、濁点や半濁点が付かない文字を入力した直後は、文字入力を確定する前に[6▼]ボタンを押しても記号一覧が表示されません。

#### NOTE

アイコン選択を中止するときは、[8▼] (CANCEL)ボタンを押します。

## 設定を工場出荷時の状態に戻す(初期化)

いちばん右の鍵盤(C7)を押しながら電源を入れます。言語設定などを除く設定が、初期状態に戻ります。



特定の設定だけを工場出荷時の状態に戻したり、お気に入りの設定を自分だけの初期化ファイルとして保存しておいて必要なときに呼び出すこともできます([ファンクション] → [J] UTILITY → タブ切替[◀][▶] SYSTEM RESET)。  
詳しくは、ウェブサイト上の「機能詳細編 もっと楽しむCVP」をご覧ください。

#### NOTE

B6の鍵盤を押しながら電源を入ると、レジストレーションメモリー(83ページ)だけが初期化されます。

## データのバックアップ

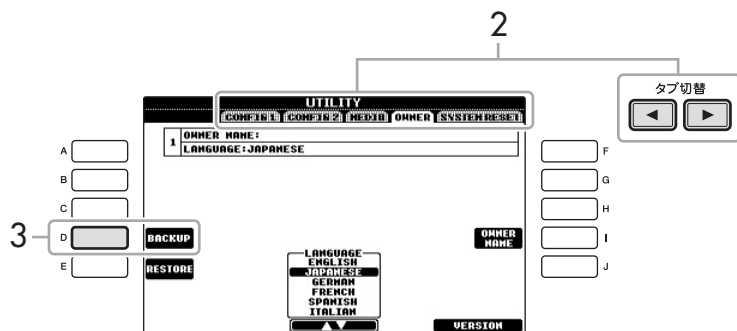
本体の「ユーザー」ドライブ内のすべてのデータ(プロテクトソングは除く)と設定を、バックアップとしてUSBフラッシュメモリーに保存します。

本体に保存したデータの万一の事故に備えて、大切なデータはUSBフラッシュメモリーにバックアップとして保存することをおすすめします。

1 バックアップ先のUSBフラッシュメモリーを、楽器本体に挿入/接続します。

2 設定画面を表示させます:

[ファンクション] → [J] UTILITY → タブ切替[◀][▶] OWNER



3 [D] (BACKUP)ボタンを押して、バックアップ先のUSBフラッシュメモリーに保存します。

バックアップしたデータを楽器に再読み込み(リストア)する際は、この画面で[E] (RESTORE)ボタンを押します。いったん画面が消え楽器が再起動します。

### NOTE

USBフラッシュメモリーの取り扱いについては、はじめに「USBフラッシュメモリーを接続する」(91ページ)をお読みください。

### NOTE

バックアップ/リストアは、完了するのに数分かかります。

### 注記

「ユーザー」画面に保存したプロテクトソングは、リストアの前に移動させてください。移動させないとリストアしたときに失われます。

### NOTE

ボイス、ソング、スタイル、レジストレーションメモリーについては、ファイルごとにUSBフラッシュメモリーにコピーすることで、個別にバックアップとして保存できます(70ページ)。

### NOTE

ミュージックファインダーのレコード、エフェクト、MIDIテンプレート、システムファイルについては、[ファンクション] → [J] UTILITY → タブ切替[◀][▶] SYSTEM RESETの画面で個別にバックアップとして保存できます。詳しくは「機能詳細編 もっと楽しむCVP」をご覧ください。

# クラビノーバでピアノ曲を演奏する

1

クラビノーバでピアノ曲を演奏する

## ピアノ演奏の初期設定に戻す(ピアノリセット)

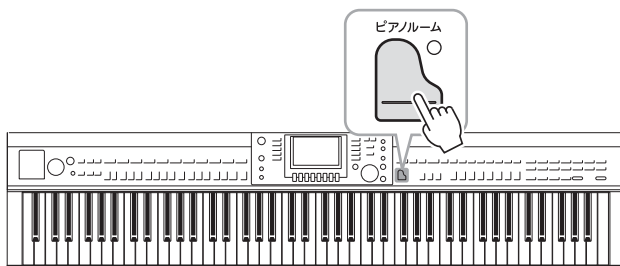
パネルがどんな設定になっていても、ピアノ演奏の初期設定に戻すことができます。

- 1 [ピアノルーム]ボタンを2秒以上押し続けます。  
画面にメッセージが表示されます。
- 2 [F](RESET)ボタンを押します。  
楽器音がコンサートグランドになり、全鍵域でピアノ演奏ができる状態に戻ります。

## ピアノ演奏を楽しむ(ピアノルーム)

ピアノルームは、シンプルにピアノ演奏だけを楽しみたい、という方に便利な機能です。パネルがどんな設定になっていても、ワンタッチでピアノルームに入ることができます。ピアノルームではピアノの音を呼び出したり、自分の好きなピアノの設定に変えることができます。

- 1 [ピアノルーム]ボタンを押します。  
ピアノルーム画面が表示され、ピアノ演奏のための設定が呼び出されます。



- 2 演奏します。  
ペダル(34ページ)やメトロノーム(35ページ)を使いながら演奏できます。
- 3 [戻る]ボタンを押して、ピアノルームを終了します。  
ピアノルームに入る前のパネル設定に戻ります。

### NOTE

ピアノルーム(下記参照)、ピアノロック(33ページ参照)に入っているときは、この機能は使えません。

### NOTE

ピアノルームでは、ペダルとメトロノーム、メトロノームのテンポ以外の機能は使えません。また、ピアノルーム画面以外での設定は、ピアノルームには反映されません。

## ピアノルームでピアノの設定を変える

ピアノの種類や、ピアノを演奏する空間(音響効果)など、ピアノの設定を自分の好みに合わせて変えられます。ここでの設定は、ピアノルームでの演奏のみに有効です。

1 [ピアノルーム]ボタンを押して、ピアノルーム画面を表示させます。

2 好みのピアノ設定に変更します。



[A]	ピアノ	ピアノの種類をグランドピアノ、ポップグランド、ホンキートンクピアノから選びます。[A]/[B]ボタンで選択します。
[F]	空間	ピアノを演奏する空間(音響効果)を選びます。[F]/[G]ボタンで選択します。
[H]	屋根	ピアノの屋根の開き具合を調節します。[H]/[I]ボタンで選択します。
[8▲▼]	DETAIL	<p>ピアノルーム機能の詳細設定をします。設定値を変更したあと、[8▲](OK)ボタンを押します。変更をキャンセルする場合は[8▼](CANCEL)ボタンを押します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• TOUCH [1▲▼~2▲▼] 鍵盤を強く弾く強さを変えたときの、音の強弱の付き方(タッチ感度)を設定します。 Soft .....軽いタッチです。弱く弾いても大きな音が出ます。 Medium ..標準的なタッチです。 Hard .....重いタッチです。強く弾かないと大きな音が出ません。</li> <li>• TUNE [3▲▼~4▲▼] 鍵盤全体のピッチ(音の高さ)を1Hz単位で設定します。</li> <li>• STRING RESO. [5▲▼] 弦共鳴音効果(ストリングレゾナンス)をオン/オフします。</li> <li>• DAMPER RESO. [6▲▼] ダンパーペダルを踏んだときの共鳴効果(ダンパーレゾナンス)をオン/オフします。</li> <li>• KEYOFF SAMPLE [7▲▼] キーオフ音(鍵盤を離れたときの微妙な発音をサンプリングした音)をオン/オフします。</li> </ul>

ピアノルームを出たり、電源を切ったりしてもこの設定は保存されています。[ピアノルーム]ボタンを押すと、最後に使ったピアノ設定が呼び出されます。

## ピアノルームの状態に固定する(ピアノロック)

楽器の設定を、最後に使ったピアノルームでの状態に固定(ピアノロック)できます。ピアノロック中は、どのボタンを押しても設定が切り替わらず、鍵盤とペダル操作、[音量]ダイヤルでの音量調節以外はできなくなります。

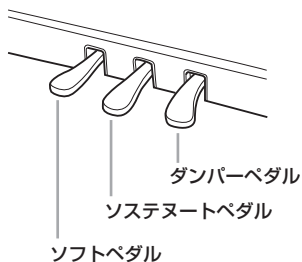
- 1 [ピアノルーム]ボタンを2秒以上押し続けます。  
画面にメッセージが表示されます。
- 2 [G](LOCK)ボタンを押します。  
パネル設定が、ピアノルームの状態に固定されます。  
ピアノロックを解除するには、もう一度[ピアノルーム]ボタンを2秒以上押し続けます。

### NOTE

ピアノロックをしたまま電源を入れ直すと、ピアノロックした状態で電源が入ります。

## ペダルを使う

クラピノーバには3本のペダルが付いています。



### ■ ダンパーペダル(右のペダル)

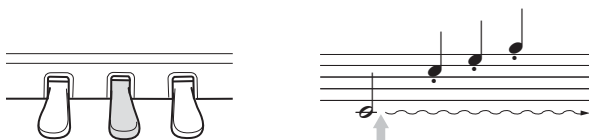
このペダルを踏むと、鍵盤から指を離しても音を長く響かせることができます。ダンパーペダルはハーフペダル機能に対応しています。



ここでダンパーペダルを踏むと、このとき押さえていた鍵盤と、そのあと弾いた音すべてが長く響く。

### ■ ソステヌートペダル(真ん中のペダル)

ピアノボイスを選んでいるときにこのペダルを踏むと、ペダルを踏んだときに押さえていた鍵盤の音だけを、鍵盤から指を離しても長く響かせることができます。ペダルを踏んだあとに弾いた音には効果はかかりません。ピアノボイス以外を選んだときには、その音色にふさわしい機能が割り当てられます。



ここでソステヌートペダルを踏むと、このとき押さえていた鍵盤の音だけが長く響く。

### ■ ソフトペダル(左のペダル)

ピアノボイスを選んでいるときにこのペダルを踏むと、ボリュームがわずかに下がり、音の響きが柔らかくなります。ピアノボイス以外を選んだときには、その音色にふさわしい機能が割り当てられます。

#### ペダルにいろいろな機能を割り当てる

クラピノーバの3本のペダルと別売のフットコントローラー/フットスイッチには、ソングをスタート/ストップしたり、スーパーアーティキュレーションボイスのコントローラーとして使ったりなど、いろいろな機能を割り当てて使うこともできます(90ページ)。

#### ハーフペダル機能とは

ペダルを踏んで音が響きすぎたとき、踏み込んだ状態からペダルを少し戻して音の響きを抑える(音の濁りを減らす)機能です。

#### NOTE

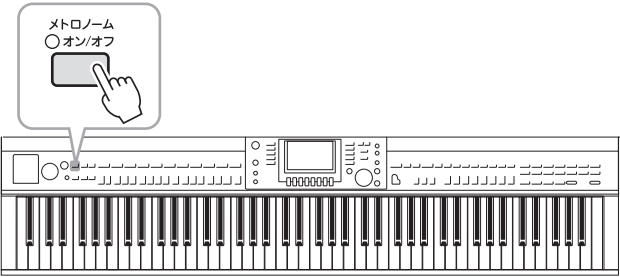
ストリングスやブラスなどの持続音系のボイスでは、ダンパーペダルやソステヌートペダルを踏むと、音が減衰せずに、持続して鳴り続けます。  
ダンパーペダル/ソステヌートペダルは、ドラムキットなどの打楽器系ボイスには機能しません。

#### NOTE

ソフトペダル効果の深さは調節できます。  
ボイス選択画面 → [6▲] ボイスセット → タブ切替[◀][▶]  
CONTROLLER → [A]/[B] LEFT PEDAL  
詳しくは、「機能詳細編 もっと楽しんでむCVP」をご覧ください。

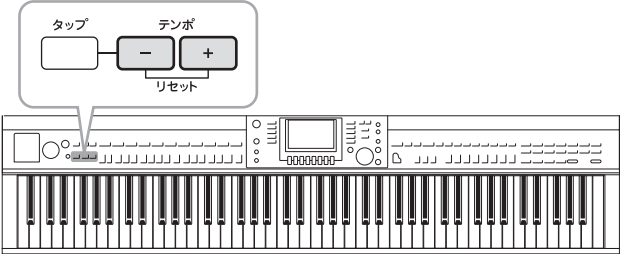
## メトロノームを使う

メトロノーム[オン/オフ]ボタンで、メトロノームをスタート/ストップできます。正確なテンポで練習したいとき、また、実際のテンポを音で確かめたいとき、メトロノームをお使いください。



## メトロノームのテンポを調節する

1 テンポ[-]または[+]ボタンを押して、画面中央にテンポ画面を表示させます。



2 テンポ[-]/[+]ボタンで、テンポを調節します。  
 ボタンを押し続けることによって値が連続的に変わります。また、[データダイアル]でテンポを調節することもできます。  
 テンポ[-]/[+]ボタンを同時に押すと、テンポは初期値に戻ります。

3 [戻る]ボタンを押して、テンポ画面を閉じます。  
 [戻る]ボタンを押さずにいると、数秒後に自動的にテンポ画面が閉じます。

**NOTE**  
 テンポ画面の数値は、1分間に刻まれる4分音符の回数です。

**NOTE**  
 メトロノームの拍子や音量などを変えることもできます。  
 [ファンクション] → [J] UTILITY → タブ切替[◀|▶] CONFIG 1 → [B] 2 METRONOME詳しくは「機能詳細編 もっと楽しむCVP」をご覧ください。

## クラビノーバのお手入れ

クラビノーバをいつまでもきれいに保つため、下記のお手入れを定期的に行なうことをおすすめします。

### ■ 本体やイスのお手入れ

- 乾いたガーゼやネルのような柔らかい布や、水を固く絞った柔らかい布で拭いてください。鍵盤の頑固な汚れには「エレクトーン・クラビノーバ用鍵盤クリーナー」をお使いください。

**注記** ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは使用しないでください。変色/変質の原因になります。

- 本体やイスのネジは、定期的に締め直してください。

### ■ イスの高さ調節

ハンドルを時計回りに回すと高くなります。(ご購入時には、ハンドルは固めに設定されています。)

### ■ ペダルのお手入れ

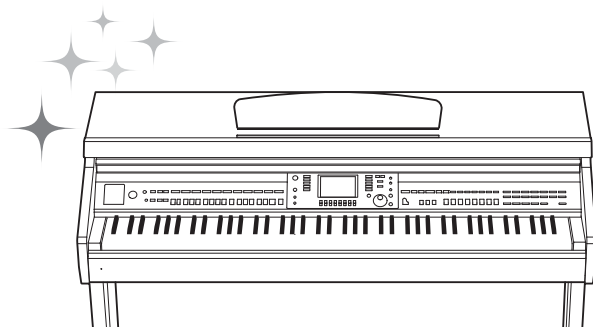
ペダルは一般的なアコースティックピアノ同様経年変化によって変色することがあります。その際はピアノ用コンパウンドを楽器店などでお買い求めいただき、使用上の注意をよくご確認のうえご使用ください。

### ■ 調律

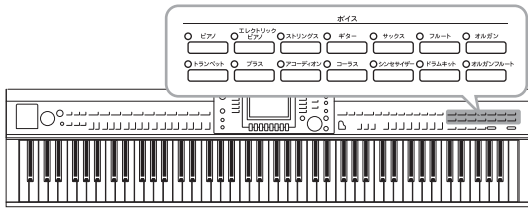
調律の必要はありません。電源を入れるといつでも正しいピッチ(音の高さ)でお使いいただけます。

### ■ 引っ越しの際の運搬方法

通常の荷物と一緒に運びいただけます。組み立てた状態でも、組み立て前の部品に分解した状態でも問題ありませんが、本体は立てかけたりせず、必ず水平に置いてお運びください。また、大きな振動、衝撃を与えないでください。組み立てた状態でお運びいただいた場合は、設置の際、各部のネジのゆるみを確認し、ゆるんでいる場合は締め直してください。



# いろいろな楽器音で演奏する(ボイス)



クラビノーバでは、ピアノのほかにも、弦楽器、管楽器などのボイス(楽器音)を選んで弾くことができます。

2

いろいろな楽器音で演奏する(ボイス)

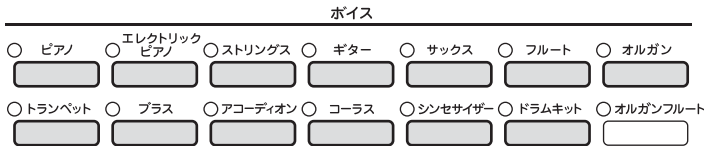
## 内蔵のボイスを選んで弾く

### 右手1パートのボイスを選ぶ

- 1 メイン画面で[A]/[B]/[F]/[G](右手1)ボタンを押して、右手1パートを選択します。鍵盤パートオン/オフボタンで[右手1]だけが点灯していることをご確認ください。



- 2 ボイスボタンの1つを押してボイスカテゴリーを選びます。



内蔵のボイスは、カテゴリー別に分けられています。パネルのボイスボタンは、内蔵ボイスのカテゴリーを表します。たとえば、[ストリングス]ボタンを押すと、画面にチェロやバイオリンなど、たくさんのストリングス(弦楽器)ボイスが表示されます。

### NOTE

パートについては、40ページをご覧ください。

### NOTE

ボイスボタンについては、41ページをご覧ください。

### 3 [A]～[J]ボタンでボイスを選びます。

[1▲]～[5▲]ボタンを押すか、手順2で選んだボイスボタンをもう一度押すと、画面のページを切り替えられます。



#### ボイスの特徴がわかる演奏を聞く

[8▼] (デモ)ボタンを押すと、選ばれているボイスのデモ演奏がスタートします。もう一度 [8▼]ボタンを押すと、デモ演奏は止まります。

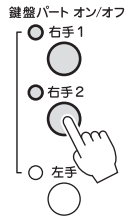
### 4 鍵盤を弾いてみましょう。

#### NOTE

ボイス名の上には、「Natural!」などボイスの特徴が表示されるものがあります。ボイスの特徴については、41ページや「機能詳細編 もっと楽しむCVP」をご覧ください。

## 2つのボイスを重ねて鳴らす

- 1 鍵盤パートオン/オフ[右手1]ボタンが点灯していることを確認します。
- 2 鍵盤パートオン/オフ[右手2]ボタンを押して、右手1パートに右手2パートを重ねます。



- 3 ボイスボタンの1つを押してボイスカテゴリーを選ぶと、右手2パートのボイス選択画面が表示されます。
- 4 [A]～[J]ボタンでボイスを選びます。
- 5 鍵盤を弾いてみましょう。

### ボイスボタンだけで右手1、右手2パートのボイスを選ぶ

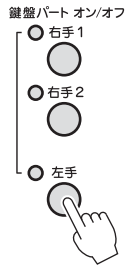
パネルのボイスボタンを使って、右手1パートと右手2パートのボイスをすばやく設定できます。ボイスボタンの1つを押しながら、別のボイスボタンを押すと、最初に押したボタンに対応したボイスが右手1パートに、あとに押したボタンに対応したボイスが右手2パートに設定されます。

### NOTE

この設定をレジストレーションメモリーに保存しておくことができます。83ページをご覧ください。

## 鍵域を左右に分けて別々のボイスで弾く

- 1 鍵盤パートオン/オフ[右手1]/[右手2]ボタンのいずれか(または両方)が点灯していることを確認します。
- 2 鍵盤パートオン/オフ[左手]ボタンを押して、右手パートと左手パートが同時に鳴るようにします。



- 3 ボイスボタンの1つを押してボイスカテゴリーを選ぶと、左手パートのボイス選択画面が表示されます。
- 4 [A]~[J]ボタンでボイスを選びます。
- 5 鍵盤を弾いてみましょう。  
左手で弾いた鍵盤では手順4で選んだボイスが鳴り、右手で弾いた鍵盤では別のボイス(右手1/右手2パートのボイス)が鳴ります。



### NOTE

この設定をレジストレーションメモリーに保存しておくことができます。83ページをご覧ください。

### 鍵盤パート(右手1、右手2、左手)について

ボイスには、右手1、右手2、左手の3つの鍵盤パートがあります。鍵盤パートオン/オフボタンでこの3つのパートを組み合わせて同時に鳴らすことにより、厚みのある演奏ができます。



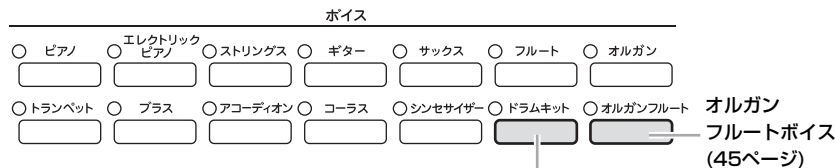
左手パートがオフのときは、全部の鍵盤で右手1、右手2パートの音が鳴ります。左手パートがオンときは、F#2よりも低い鍵盤では左手パートの音が鳴り、これより高い鍵盤では右手1、右手2パートの音が鳴ります。右手パートと左手パートの境目(スプリットポイントといいます)では、鍵盤ランプが点灯します。

ボイスを選択/編集したい場合には、メイン画面上で目的のパートが選ばれているか確認する必要があります。

### NOTE

スプリットポイントは変更できません。  
[ファンクション] → [C] STYLE SETTING/SPLIT POINT/ CHORD FINGERING → タブ切替[◀] [▶] SPLIT POINT  
詳しくは「機能詳細編 もっと楽しむCVP」をご覧ください。

## ボイスの種類



### ドラムキットボイス

[ドラムキット]ボタンで選べるボイスのうち「\*\*\*キット」という名前のボイスは、打楽器音色が各鍵盤に割り当てられています。別冊データリストのドラム/SFXキットリストを参考にして鳴らしてみてください。

### ■ ボイスの特徴

ボイスの特徴は、画面上でボイス名の上に、Live!、Cool!、Sweet!などと表示されます。各表示の詳しい説明は、「機能詳細編 もっと楽しむCVP」をご覧ください。ここでは、S.Articulation! (スーパーアーティキュレーション: SA)について紹介します。スーパーアーティキュレーションボイス(SAボイス)は、生楽器の演奏方法をリアルに再現する表現豊かなボイスですが、その特性を活かすにはいくつかの注意が必要です。

#### スーパーアーティキュレーションボイス(SAボイス)

「アーティキュレーション」とは、奏法の違いによって演奏にさまざまな表情を付けることを表します。

たとえば、ギターのSAボイスでは、ドとレの音をレガートで続けて弾くと、レの音はハンマリング(右手で弦をはじくのではなく、左手で弦をたたく弾き方)の音になります。

ほかにもギターのフレットノイズなどが鳴らせるなど、弾き方だけで演奏をよりリアルなものにできます。

ペダルを使ってSAボイスに表情を付けることもできます(42ページ)。

各ボイスについての詳しい演奏方法は、ボイス選択画面で[7▲] (情報)ボタンを押して確認できます。

### NOTE

SAボイスは、他のモデルとの互換性がありません。したがって、これらのボイスを使ったスタイル/ソングデータを、SAボイスを搭載していない楽器で再生した場合は、この楽器で鳴っていたサウンドを再現できません。

### NOTE

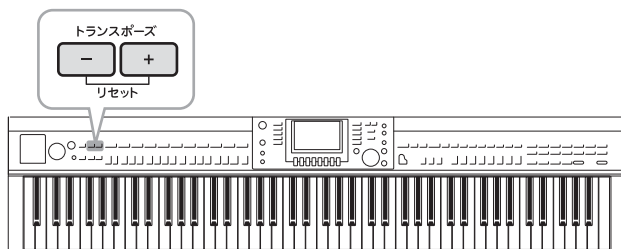
SAボイスは、演奏する鍵域や鍵盤を強く強さ(ペロシティー)などによって鳴り方が変わります。したがって、HARMONY/ECHOのエフェクトをかけたり、移調したり、ボイスセットの設定を変えたりすると、意図しない鳴り方になることがあります。

2

いろいろな楽器音で演奏する(ボイス)

## 移調(トランスポーズ)する

トランスポーズ[-]/[+]ボタンで、楽器の音全体(鍵盤演奏、ソング再生、スタイル再生など)を半音単位で移調できます。[-]と[+]を同時に押すと、初期状態に戻ります。



### チューニング

この製品のチューニングは、初期設定でA3=440.0Hz、平均律に設定されています。これらの設定は、ファンクション → [A] MASTER TUNE/SCALE TUNE で変更できます。パートごとにチューニングの設定を変えたい場合は、ミキサー画面のTUNEタブで設定できます。詳細は、「機能詳細編 もっと楽しむCVP」をご覧ください。

## スーパーアーティキュレーションボイス(SAボイス)に表情を付ける

左と真ん中のペダルを使って、SAボイスにアーティキュレーション効果をかけ、楽器の特徴的な奏法を表現できます。右手1パートにSAボイスを選ぶと、左とまん中のペダルが自動的にアーティキュレーション用の設定に切り替わります。

どのような効果がかかるかはボイスによって異なりますので、詳しくは、ボイス選択画面で [7▲] (情報) ボタンを押してご確認ください。

### NOTE

ドラム/SFXキットボイスは移調できません。

### NOTE

ミキサー画面からも移調できます。この場合、鍵盤演奏音(KBD)、ソング再生音(SONG)、本体が発音するすべてのサウンド(MASTER)を別々に移調できます。  
[ミキサー] → タブ切替[◀][▶]  
TUNE → [1▲▼] ~ [3▲▼]  
TRANPOSE

### Hz (ヘルツ)とは

音の高さ(1秒間に音波が何回振動するか)を示す単位です。ピアノでは通常440.0Hzで調律することが多いので、この楽器では440.0Hzを基本設定としています。

### NOTE

実際の楽器の鳴り方を再現するため、効果のかけ具合は演奏鍵域によって異なります。

### NOTE

2つ以上の鍵盤パートにSAボイスが選ばれている場合、ペダルを踏むことでそれぞれのボイスの効果が同時にかけられます。

### NOTE

音色によってペダルの設定が切り替わるのをオフにすることもできます。  
[ファンクション] → [D]  
CONTROLLER → [H] DEPENDS ON R1 VOICE

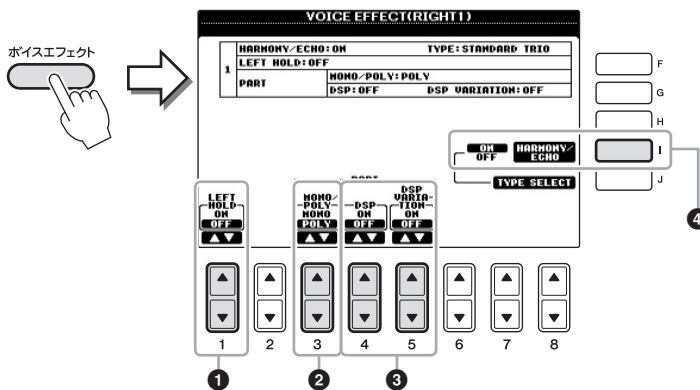
## ボイスにエフェクト(効果)をかける

本体には、鍵盤での演奏音に深さや広がりをつけ表現の幅を広げる、いろいろな種類のエフェクトが用意されています。

- 1 メイン画面を表示させます:  
[ダイレクトアクセス] → [戻る]
- 2 ボイス画面上で、エフェクトをかける鍵盤パートを選びます。



- 3 [ボイスエフェクト]ボタンを押して、設定画面を表示させます。



4 画面下の[1▲▼]、[3▲▼]~[5▲▼]、[I] (HARMONY/ECHO)ボタンで、かけたいエフェクトONにします。

①	[1▲▼]	LEFT HOLD (レフトホールド)	鍵盤から指を離しても、左手パートのボイスを鳴らしたままにできます。ストリングスのように減衰しないボイスを鳴り続けるようにしたり、ピアノのように減衰するボイスをより遅く減衰するように(ダンパーペダルを踏んだように)できます。 レフトホールドをONにすると、メイン画面の左手パート表示部にHマークが表示されます。
②	[3▲▼]	MONO/POLY (モノ/ポリ)	ボイスを、モノフォニック(単音)で発音させるかポリフォニック(複音)で発音させるか、切り替えます。 MONO (モノ)に設定すると、管楽器などの単音発音楽器をよりリアルに演奏できます。 また(選んだボイスにもよりますが)、レガートに演奏したときにポルタメント効果が付きます。
③	[4▲▼]	DSP (ディーエスピー)	内蔵のデジタルエフェクトにより、音に臨場感や広がり感を付けることができます。たとえば、コーラスやディレイなど、さまざまなエフェクトタイプが用意されています。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「DSP」では、現在選ばれている鍵盤/パートのボイスに対してDSPをかけるかどうかを設定します。</li> <li>• 「DSP VARIATION」では、DSPのバリエーションを切り替えます。バリエーションとは、たとえばロータリースピーカーエフェクトの回転スピード(速い/遅い)などのことです。</li> </ul>
	[5▲▼]	DSP VARIATION (ディーエスピーバリエーション)	
④	[I]	HARMONY/ ECHO (ハーモニー/ エコー)	ONに設定して両手で鍵盤を弾くと、左手で弾いたコードに応じて、右手鍵域で弾いた演奏にハーモニーやエコーの効果を付けます。詳しくは「機能詳細編 もっと楽しむCVP」をご覧ください。

**ポルタメントとは**

ポルタメントとは、高さの異なる複数の音をなめらかにピッチ変化させることです。

**DSPとは**

デジタルシグナルプロセッサー(Digital Signal Processor)の略で、デジタル信号を加工してさまざまなエフェクトを作り出す専用マイクプロセッサーのことです。

**NOTE**

DSPエフェクトのかかり具合を細かく設定することもできます。ボイス選択画面から[6▲] (ボイスセット) → タブ切替[◀][▶] EFFECT/EQ → [A]/[B] DSPを選ぶと設定画面が開きます。

**NOTE**

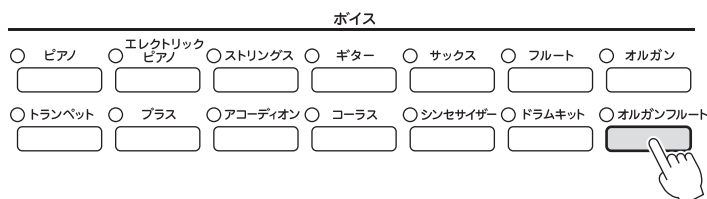
HARMONY/ECHOのタイプによっては、左手で弾くコードに関係なく効果が付きます。

## オルガン音色を作る

[オルガンフルート]ボタンで、オリジナルのオルガンサウンドを作り自由に演奏できます。伝統的なオルガンのように、複数のフルートフッテージ(音栓に相当するボリューム)のレベルを上げ下げして音を作ります。

### 1 [オルガンフルート]ボタンを押します。

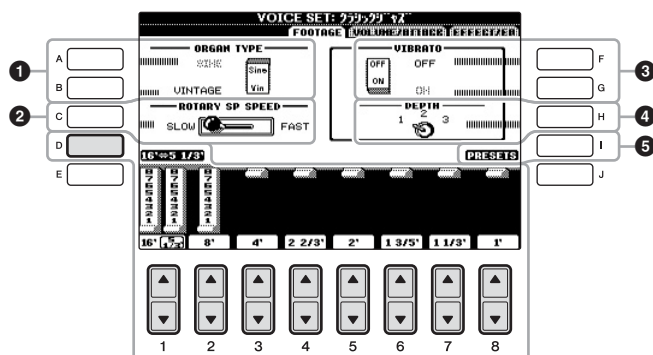
オルガンフルートのフッテージ画面が表示されます。



### 2 [1▲▼]~[8▲▼]ボタンで、フルートフッテージを調節します。

フッテージの設定により、オルガンフルートの基本音色が決まります。パイプが長い(数字が大きい)ほどピッチが低くなります。

[1▲▼]ボタンでは、フッテージ16'と5 1/3'の両方を調節できます。[D]ボタンで、どちらのフッテージを調節するかを切り替えます。



また、必要に応じて、オルガンタイプを変えたり、ロータリースピーカーやビブラートの設定を変えたりもできます。

①	[A]/[B]	ORGAN TYPE (オルガンタイプ)	オルガン音色作成のもとになる音色のタイプを、SINE (サイン波)かVINTAGE (ビンテージ)の中から選びます。
②	[C]	ROTARY SP SPEED (ロータリースピーカースピード)	ロータリースピーカーの速度を切り替えます。「EFFECT/EQ」画面で、DSPタイプに「Rotary SP (ロータリースピーカー)」が選択され、ボイスエフェクト「DSP」(44ページ)がオンになっている場合のみ有効です。
③	[F]	VIBRATO OFF (ビブラートオフ)	オルガンフルートボイスに対するビブラート効果をオン/オフします。
	[G]	VIBRATO ON (ビブラートオン)	

#### フッテージとは

フッテージとは、異なる長さのパイプによって音作りが行なわれる伝統的なパイプオルガンの音作りを参考に付けられた用語です。

④	[H]	VIBRATO DEPTH (ビブラートデプス)	ビブラートの深さを調節します。ボタンを押すたびに、1、2、3の順番で深さが切り替わります。
⑤	[I]	PRESETS (プリセット)	プリセットのオルガンフルート音色を選ぶことのできる選択画面が開きます。ここで選んだオルガンフルート音色を編集して、オリジナルの音色を作ることもできます。

**NOTE**

VOLUME/ATTACK画面や EFFECT EQ画面については、「機能詳細編 もっと楽しむCVP」をご覧ください。

3 [I] (PRESETS)ボタンを押して、オルガンフルートの選択画面に入ります。

4 タブ切替[◀][▶]ボタンで、作った音色を保存する場所(ユーザーまたはUSB)を選びます。

5 67ページの保存操作に従って、作ったオルガン音色を保存します。

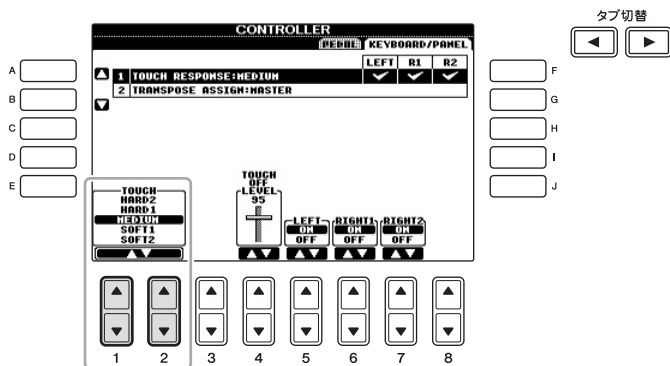
## 鍵盤のタッチ感度を変える

鍵盤を弾く強さを変えたときの、音の強弱の付き方(タッチ感度)を変えられます(鍵盤自体の重さが変わるわけではありません)。選んだ設定は、ピアノ以外の音色を選んだ場合にも共通で有効となります。

1 設定画面を表示させます:

[ファンクション] → [D] CONTROLLER → タブ切替[◀][▶] KEYBOARD/PANEL → [A] 1 TOUCH RESPONSE

2 [1▲▼]/[2▲▼]ボタンで、鍵盤のタッチ感度を選びます。



- HARD 2 ..... 重いタッチです。強く弾かないと大きな音が出ません。
- HARD 1 ..... HARD 2とMEDIUMの中間のタッチです。
- MEDIUM ..... 標準的なタッチです。
- SOFT 1 ..... SOFT 2とMEDIUMの中間のタッチです。
- SOFT 2 ..... 軽いタッチです。弱く弾いても大きな音が出ます。

**NOTE**

音に強弱を付けたくないときは、[5▼]～[7▼]ボタンを押して、鍵盤パート(40ページ)ごとにタッチをオフにし、音量を[4▲▼]ボタンで調節します。

**NOTE**

楽器音(ボイス)によっては、音に強弱が付かないものもあります。

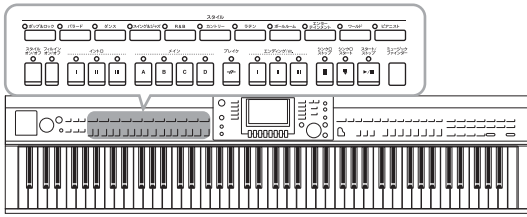
もっと進んだ使いかた

詳しくはインターネット上の「機能詳細編 もっと楽しむCVP」  
2章をご覧ください。



GM/XGボイスを選ぶ	ボイス選択画面 → [8▲] (上へ) → [2▲] (P2)
ハーモニー / エコーの設定	[ボイスエフェクト] → [J] TYPE SELECT
ピッチに関する設定	
• 鍵盤全体のピッチを微調整する	[ファンクション] → [A] MASTER TUNE/SCALE TUNE → タブ切替[◀][▶] MASTER TUNE
• 音律(調律法)を選ぶ	[ファンクション] → [A] MASTER TUNE/SCALE TUNE → タブ切替[◀][▶] SCALE TUNE
• トランスポーズボタンを効かせる パートを選ぶ	[ファンクション] → [D] CONTROLLER → タブ切替 [◀][▶] KEYBOARD/PANEL → [A]/[B] 2 TRANSPOSE ASSIGN
ボイスを編集する(ボイスセット)	ボイス選択画面 → [6▲] ボイスセット
ボイスに含まれる設定を呼び出さないようにする	[ファンクション] → [E] REGIST SEQUENCE/ FREEZE/VOICE SET → タブ切替[◀][▶] VOICE SET
オルガンフルートの設定を編集する	[オルガンフルート] → タブ切替[◀][▶] VOLUME/ ATTACKまたはEFFECT/EQ

# リズムや自動伴奏を鳴らす(スタイル)



スタイルを使えば、リズムのパターンに合わせて左手でコードを押さえるだけでコードに合った伴奏を自動で鳴らすことができます。スタイルを使えば、一人で演奏しても、バンドやオーケストラの伴奏付きの演奏を楽しめます。スタイルには、ポップス、ジャズなどいろいろな種類があります。

## リズムだけを鳴らす

リズムは、スタイルの一部です。リズムに合わせてメロディーを弾いてみましょう。スタイルごとに違うリズムを鳴らすことができます。

### 1 スタイルボタンの1つを押して、スタイルカテゴリーを選びます。



### 2 [A]~[J]ボタンで、スタイルを選びます。

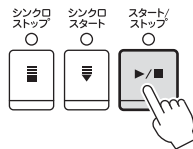
[1▲]~[4▲]ボタンを押すか、手順1で選んだスタイルボタンをもう一度押すことで、画面のページを切り替えられます。



### 3 [スタイル オン/オフ]ボタンがオフになっていることを確認します。



### 4 スタイル[スタート/ストップ]ボタンを押して、リズムを鳴らします。



リズムに合わせて鍵盤を弾いてみましょう。もう一度スタイル[スタート/ストップ]ボタンを押すと、リズムがストップします。

#### NOTE

内蔵のスタイルにはリズムパートが入っていないものもあります。このようなスタイルは、[スタイル オン/オフ]をオンにしてお楽しみください(49ページ)。

3

リズムや自動伴奏を鳴らす(スタイル)

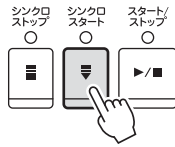
## 自動伴奏を鳴らす

- 1 スタイルを選びます(48ページ手順1~2)。
- 2 [スタイル オン/オフ]ボタンを押して、自動伴奏をオンにします。



鍵盤の左手側(40ページ)が、スタイル再生用のコードを押さえるための鍵域(コード鍵域)になります。

- 3 [シンクロスタート]ボタンを押して、シンクロスタートをオンにします。



- 4 左手でコードを押さえると、スタイル(リズムと自動伴奏)がスタートします。  
左手でコードを押さえながら、右手でメロディーを弾きます。
- 5 スタイル[スタート/ストップ]ボタンを押して、スタイル再生をストップします。

### NOTE

コードについては、51ページをご覧ください。

### NOTE

スタイル(自動伴奏)は移調できます。42ページをご覧ください。

## スタイルの特徴

内蔵のスタイルには、スタイルの特徴を表すアイコンが表示されます。



- **Pro (プロ)**

あなたが指定したとおりのコードが鳴るスタイルです。テンションノートを含む複雑なコードを曲中で指定しても音楽的なハーモニーをくずすことなくスタイルが鳴りますので、幅広いアレンジをお楽しみいただけます。

- **Session (セッション)**

メインセクションに、スタイル独特のテンションノートやコード変化を伴う伴奏リフなどが加えられ、よりリアルで派手な伴奏となっています。

ただし、メジャーコードを弾いただけでセブンスの音が伴奏に混ざる、オンベースコードに正確に反応しない場合があるなど、曲によっては適切な伴奏が鳴らないことがあります。特定カテゴリーの曲で、パンチのある演奏を楽しむことができます。

- **Pianist (ピアニスト)**

ピアノ音色のみによるスタイルです。左手でコードを押さえるだけでアルペジオパターンやストライドピアノの左手パターンなどが演奏できます。




































## スタイルの互換性

この楽器のスタイルは、SFF GEフォーマット(7ページ)で作成されています。一般的なSFFファイルを読み込むこともできますが、読み込んだSFFファイルがこの楽器上で保存すると、SFF GEフォーマットに変換されます。SFF GEフォーマットに変換されたスタイルファイルは、SFF GE対応の楽器上でしか再生できなくなります。

## コード表

ここでは、初めてコードを弾く方のために、基本的なコードをご紹介します。  
このほかにもたくさんのコードがありますので、もっと詳しく知りたい場合は、市販のコード表などをご参照ください。

★がルート(根音)です。

メジャー	マイナー	セブンス	マイナーセブンス	メジャーセブンス
<b>C</b> 	<b>Cm</b> 	<b>C7</b> 	<b>Cm7</b> 	<b>CM7</b> 
<b>D</b> 	<b>Dm</b> 	<b>D7</b> 	<b>Dm7</b> 	<b>DM7</b> 
<b>E</b> 	<b>Em</b> 	<b>E7</b> 	<b>Em7</b> 	<b>EM7</b> 
<b>F</b> 	<b>Fm</b> 	<b>F7</b> 	<b>Fm7</b> 	<b>FM7</b> 
<b>G</b> 	<b>Gm</b> 	<b>G7</b> 	<b>Gm7</b> 	<b>GM7</b> 
<b>A</b> 	<b>Am</b> 	<b>A7</b> 	<b>Am7</b> 	<b>AM7</b> 
<b>B</b> 	<b>Bm</b> 	<b>B7</b> 	<b>Bm7</b> 	<b>BM7</b> 





### コードの認識方法(フィンガリングタイプ)を変える

フィンガリングタイプを変更すれば、コードの構成音すべてを左手で押さえなくても、適切な自動伴奏が再生できます。  
フィンガリングタイプは、[ファンクション] → [C] STYLE SETTING/SPLIT POINT/CHORD FINGERING → タブ切替 [◀|▶] CHORD FINGERINGで変更できます。

たとえば、以下のようなフィンガリングタイプがあります。

#### ● シングルフィンガー (Single Finger)

簡単なルールに従って鍵盤を1~3つ押さえただけで、メジャー、マイナー、セブンス、マイナーセブンスのコードを認識します。コードの構成音が覚えられない場合に便利です。

<b>C</b> 	<b>Cm</b> 	<b>C7</b> 	<b>Cm7</b> 
メジャー ルートだけ押さえる	マイナー ルートと、左の黒鍵を押さえる	セブンス ルートと、左の白鍵を押さえる	マイナーセブンス ルートと、左の黒鍵と白鍵を押さえる

#### ● AIフルキーボード(AI Full Keyboard)

全鍵域で通常のピアノ両手演奏をするだけで、コードを押さえなくても自動伴奏が再生されます。特定のコードの弾き方にとらわれず、鍵盤のどこで演奏してもリズム、ベース、コードやフレーズによる自動伴奏がつかめます。(曲のアレンジによっては、AIフルキーボードでの演奏に合わない場合もあります。)

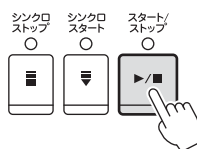
このほかにも、さまざまなフィンガリングタイプが用意されています。  
詳しくは「機能詳細編もっと楽しむCVP」をご覧ください。

## スタイル再生を操作する

### 再生スタート/ストップ

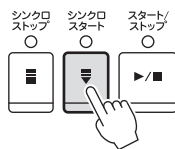
#### ■ スタイル[スタート/ストップ]ボタン

スタイルのうち、リズムパートだけをスタートします。もう一度押すとストップします。



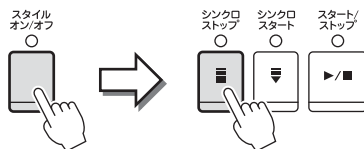
#### ■ [シンクロスタート]ボタン

このボタンを押すと、スタイル再生が待機状態になり、鍵盤を弾くと同時にスタイル再生がスタートします。[スタイルオン/オフ]ボタンがオンのときは、コード鍵域を押さえるとスタイル再生がスタートします。[スタイルオン/オフ]ボタンがオフのときは、どの鍵盤を弾いてもスタイル再生(リズムのみ)がスタートします。スタイル再生中に[シンクロスタート]ボタンを押すと、スタイル再生はストップし、待機状態に戻ります。



#### ■ [シンクロストップ]ボタン

コード鍵域で鍵盤を押さえている間はスタイルを再生させ、鍵盤から指を離すとスタイル再生をストップします。スタイル停止中に[スタイルオン/オフ]ボタンをオンにしてから、[シンクロストップ]ボタンを押します。

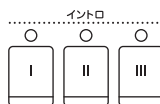


#### NOTE

コードの指定方法(51ページ)でFull KeyboardまたはAI Full Keyboardを選んだ場合は、シンクロストップをオンにできません。

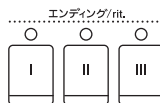
#### ■ イントロ[I]~[III]ボタン

演奏にイントロを付けることができます。各内蔵スタイルに、3つのイントロがあります。スタイル再生をスタートする前にイントロ[I]~[III]ボタンのいずれかを押し、スタイル[スタート/ストップ]ボタンを押して、スタイルをスタートします。イントロの演奏が終わるとメイン(53ページ「演奏中のセクション切り替え」参照)に移ります。



#### ■ エンディング/rit. [I]~[III]ボタン

演奏にエンディングを付けることができます。各内蔵スタイルに、3つのエンディングがあります。スタイル再生中に、エンディング/rit. [I]~[III]ボタンのいずれかを押し、エンディングが鳴ったあと、スタイルは自動的にストップします。エンディング演奏中にもう一度同じボタンを押すと、リタルダンド(徐々にテンポを遅くすること)をかけることができます。



#### イントロ、メイン、ブレイク、エンディングボタンのランプについて

- 赤点灯: データが入っていて、現在選ばれています。
- 赤点滅: 次に再生されるセクションです。  
\*メイン[A]~[D]ボタンは、フィルイン演奏中にも赤点滅します。
- 緑点灯: データが入っていて、現在選ばれていません。
- 消灯: データが入っていません。

#### NOTE

メインセクション再生中にエンディング[I]ボタンを押すと、エンディング1のパターンの前に、自動的にフィルインが1小節入ります。

## 演奏中のセクション切り替え

演奏を盛り上げるために、同じスタイルの中で伴奏パターンを切り替えたりフィルインを入れたりできます。

### ■ メイン[A]～[D]ボタン

曲のメイン部分の伴奏パターンです。数小節の伴奏パターンが繰り返し演奏されます。各内蔵スタイルに、4つのパターンがあります。スタイル再生中に、メイン[A]～[D]ボタンのいずれかを押します。再生中のメインのボタンを押すと、フィルインが入ります。



再生中のメインセクションボタン(赤点灯)を押すと...

フィルインが再生(赤点滅)

### セクション切り替え時に自動的にフィルインを入れる

[フィルイン オン/オフ]ボタンをオンにしておくと、メインを切り替えたときに自動的にフィルインが演奏されます。



### ■ [ブレイク]ボタン

曲の流れを一時中断することで区切りを付けることができます。スタイル再生中に[ブレイク]ボタンを押すと、1小節のブレイクが入ります。



## テンポを変える

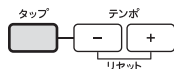
### ■ テンポ[-]/[+]ボタン

テンポ[-]/[+]ボタンでテンポを変えられます。テンポ画面が表示されている間に、[データダイアル]を回してテンポを調節することもできます。テンポ[-]/[+]ボタンを同時に押すと、初期テンポに戻ります。



### ■ [タップ]ボタン

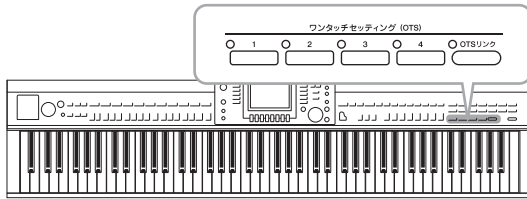
スタイル再生中に[タップ]ボタンを2回たたくと、たたいたテンポに切り替わります。再生が停止しているときにタイミングを取りながらボタンをたたくと(4分の4拍子の場合)は4回、そのテンポで再生がスタートします。



## 選んだスタイルに最適なボイスなどを呼び出す (ワンタッチセッティング=OTS)

選んだスタイルに合ったボイス、エフェクト、およびペダル設定をワンタッチで簡単に呼び出せます。使いたいスタイルが決まっているときは、ボイス選択をワンタッチセッティングに任せましょう。

- 1 スタイルを選びます(48ページ手順1~2)。
- 2 ワンタッチセッティング(OTS) [1]~[4]ボタンのいずれかを押します。  
ボイス、エフェクト、およびペダル設定など、選択中のスタイルに最適な設定が呼び出されます。また、自動伴奏とシンクロスタートは、自動的にオンになります。



- 3 左手でコードを押さえると同時にスタイルがスタートします。  
1つのスタイルには、4つのワンタッチセッティングが用意されています。  
ワンタッチセッティング(OTS) [1]~[4]ボタンを切り替えて、ほかの設定も試してみてください。

### スタイルのメイン切り替えとワンタッチセッティングの切り替えを連動させる (OTSリンク)

[OTSリンク]ボタンをオンにしておくと、スタイルのメイン[A]~[D]を切り替えたときに自動的にワンタッチセッティングが切り替わります。メインのA~Dとワンタッチセッティングの1~4が連動します。



#### NOTE

自分で作った設定をワンタッチセッティングとして登録することもできます。「機能詳細編 もっと楽しむCVP」をご覧ください。

#### NOTE

ワンタッチセッティングが実際に呼び出されるタイミング(OTSリンクタイミング)を変更できます。「機能詳細編 もっと楽しむCVP」をご覧ください。

## 演奏に合うスタイルを呼び出す(スタイルレコメンダー)

演奏したい曲に合うおすすめのスタイルを呼び出す機能です。演奏したい曲の伴奏パートのパターンやドラム(リズム)を弾いてみてください。

### 1 スタイル選択画面(48ページ)で、[8▼](スタイルレコメンド)ボタンを押して、スタイルレコメンダー画面を表示させます。

鍵盤がB0を境に分割され、左側にドラム音(キック、スネア、ハイハット)、右側にピアノ音が割り当てられます。



### 2 スタイルレコメンダー機能を使ってスタイルを呼び出します。

2-1 [J](START)ボタンを押すと演奏の待機状態になり、メトロノームが鳴り出します。

必要に応じてテンポ[+]/[-]ボタンや[タップ]ボタンでテンポを調節したり、[E](METRONOME)ボタンで3拍子か4拍子に設定します。

2-2 メトロノームの音に合わせて、演奏したい曲のリズムをドラム鍵域またはピアノ鍵域で1~2小節弾きます。

鍵盤を押したタイミングが数秒で解析され、最もおすすめのスタイルがスタートします。また、おすすめスタイルの候補が一覧で表示されます。

例1

ピアノ鍵域で下記のリズムを弾いてみましょう。



ボサノバかそれに近いスタイルが一覧表示されます。

例2

ドラム鍵域で下記のリズムを弾いてみましょう。



8ビートかそれに近いスタイルが一覧表示されます。

### 3 [1▲▼]~[6▲▼]ボタンを使って、一覧の中からスタイルを選びます。

セクションを切り替えたり(53ページ)、テンポを変えたり、コードを変えてスタイルを聞いてみてください。

演奏したい曲に合うスタイルが呼び出されていない場合は、[J](RETRY)ボタンを押して手順2-2へ戻り、手順2-2~3を繰り返します。

#### NOTE

楽器が解析するのは、鍵盤を押したタイミングのみです。テンポや音の高さ、音の長さは解析されません。

- 4 気に入ったスタイルが見つかったら、[7▲▼]/[8▲▼](OK)を押してスタイルレコメンダー画面を抜けます。
- 5 選んだスタイルを使って演奏してみましょう。

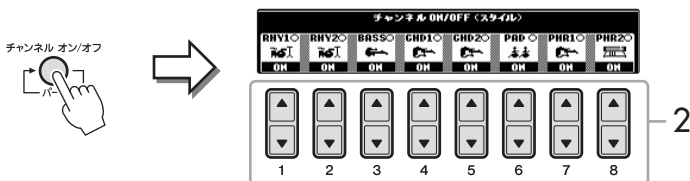
## スタイルをチャンネルごとにオン/オフする

スタイルは、RHY1 (リズム1)~PHR2 (フレーズ2)の8つのチャンネルで構成されています。スタイルを再生させながら各チャンネルをオン/オフして、スタイルの雰囲気を変えてみましょう。

### スタイルチャンネル

- RHY1/2 (リズム1、2)  
スタイルの中心となるリズムパートです。通常、ドラムやパーカッションのパターンが入っています。
- BASS (ベース)  
ベースパートです。
- CHD1/2 (コード1、2)  
ピアノやギターなどの音で作られる、コード伴奏のパートです。
- PAD (パッド)  
ストリングス、オルガンなどの音を使った、長く伸びるコードの響きを付けるパートです。
- PHR1/2 (フレーズ1、2)  
パンチの効いたブラスセクションやコードアルペジオなど、スタイルを装飾するパートです。

- 1 [チャンネル オン/オフ]ボタンを押して、チャンネル ON/OFF (スタイル)画面を表示させます。  
チャンネル ON/OFF (スタイル)画面が選ばれていないときは、もう一度[チャンネル オン/オフ]ボタンを押します。



- 2 [1▼]~[8▼]ボタンで、各チャンネルをオン/オフします。  
1チャンネルだけ再生するときは、再生したいチャンネルのボタンを押し続けて「SOLO(ソロ)」にします。ソロを解除するには、もう一度ソロチャンネルのボタンを押します。

### 各チャンネルのボイスを変更する

必要に応じて、[1▲]~[8▲]ボタンで各チャンネルのボイスを変更します。  
[1▲]~[8▲]ボタンを押すと、ボイス選択画面が表示されるので、ボイスを選びます。  
ボイスの選び方は37ページをご覧ください。

### NOTE

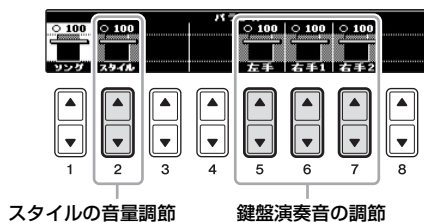
ここでの設定を、レジストレーションメモリーに保存できます。  
83ページをご覧ください。

- 3 [戻る]ボタンを押してチャンネル ON/OFF画面を閉じます。

## スタイル再生音と手弾き音の音量バランスを調節する

スタイルの再生音と鍵盤演奏音の音量バランスを調節できます。

- 1 メイン画面で[C](バランス)ボタンを押します。  
画面下に音量バランスを調節する表示が現れます。
- 2 [2▲▼]ボタンでスタイルの音量を、[5▲▼]～[7▲▼]ボタンで鍵盤演奏音の音量を調節します。  
ソングの再生音も、この画面で調節できます。



### NOTE

ミキサー画面では、各スタイルパートのボリュームを調整することもできます(86ページ)。

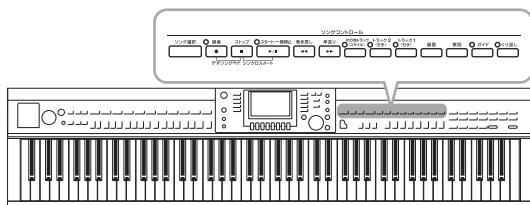
もっと進んだ使いかた

詳しくはインターネット上の「機能詳細編 もっと楽しむCVP」3章をご覧ください。



コードの押さえ方(フィンガリング)を選ぶ	[ファンクション] → [C] STYLE SETTING/SPLIT POINT/CHORD FINGERING → タブ切替[◀][▶] CHORD FINGERING
スタイルに関する設定	[ファンクション] → [C] STYLE SETTING/SPLIT POINT/CHORD FINGERING → タブ切替[◀][▶] STYLE SETTING
スプリットポイントの設定	[ファンクション] → [C] STYLE SETTING/SPLIT POINT/CHORD FINGERING → タブ切替[◀][▶] SPLIT POINT
選んだスタイルに合ったパネル設定を呼び出す(レパートリー)	スタイル選択画面 → [A]～[J] → [5▲] (レパートリー)
ワンタッチセッティングにパネル設定を登録する	[メモリー] + ワンタッチセッティング(OTS) [1]～[4]
ワンタッチセッティングの内容を確認する	スタイル選択画面 → [7▲] (OTS情報)
スタイルを制作する(スタイルクリエイター)	[ファンクション] → [F] DIGITAL REC MENU → [B] STYLE CREATOR
<ul style="list-style-type: none"> <li>リアルタイム録音</li> <li>ステップ録音</li> <li>スタイル組み立て</li> <li>リズムのノリを変える</li> <li>チャンネル単位で編集する</li> <li>スタイルファイルフォーマットの項目を設定する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→ タブ切替[◀][▶] BASIC</li> <li>→ タブ切替[◀][▶] EDIT → [G] STEP REC</li> <li>→ タブ切替[◀][▶] ASSEMBLY</li> <li>→ タブ切替[◀][▶] GROOVE</li> <li>→ タブ切替[◀][▶] CHANNEL</li> <li>→ タブ切替[◀][▶] PARAMETER</li> </ul>

# 曲を再生、練習する(ソング)



クラビノーバでは、内蔵曲や、インターネットショップで購入できるMIDI形式の曲データなどを総称して「ソング」と呼んでいます。単に再生して楽しむだけでなく、ソングを再生しながら演奏の練習をすることもできます。

## ソングを再生する

以下のソングが再生できます。

- 楽器に内蔵されているソング(ソング選択画面の「プリセット」タブ内)
- この楽器での演奏を録音して作成したソング(録音方法については65ページ参照)
- 市販のSMF (Standard MIDI File)形式

1 [ソング選択]ボタンを押して、ソング選択画面を表示させます。



2 タブ切替[◀][▶]ボタンで、再生したいソングが入っている場所を選びます。

内蔵曲は「プリセット」に入っています。USBフラッシュメモリーに入っている曲を再生したい場合は、USBフラッシュメモリーをUSB TO DEVICE端子に差して「USB1」などを選びます。

3 手順2でプリセットを選んだ場合は、[A]～[C]ボタンで、ソングの選択方法を選んだあと、[A]～[J]ボタンでソングの 카테고리 を選びます。手順2でユーザーまたはUSBを選んだ場合は、手順4へ進みます。

4 [A]～[J]ボタンで、ソングを選びます。

ソングは、[データダイヤル]で選んで[エンター]ボタンを押して確定することもできます。

### NOTE

この楽器で再生できるソングのフォーマットについては、7ページをご覧ください。

### NOTE

USBフラッシュメモリーは2台まで接続でき、接続した順番に「USB1」、「USB2」などと表示されます。

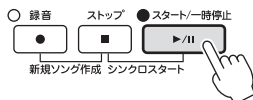
### NOTE

[A]～[J]ボタンをダブルクリックする(すばやく2回続けて押す)と、ソングを選んでメイン画面に戻ります。

4

曲を再生、練習する(ソング)

## 5 ソングコントロール[スタート/一時停止]ボタンを押して、ソングをスタートします。



### 次に再生するソングを予約する

ソング再生中に、次に再生させるソングを1曲だけ予約できます。ステージ演奏などでスムーズに次の曲を再生させたいときに便利です。ソングを予約するには、ソング選択画面で次に再生させるソングを選びます。

次に再生させるソングは、ソング名右上に「NEXT (ネクスト)」と表示されます。ソングの予約を解除するには、[8▼] (ネクストキャンセル)ボタンを押します。

## 6 ソングコントロール[ストップ]ボタンを押すと、ソングがストップします。



## ソング再生中の操作

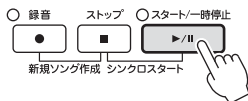
### ■ 演奏と同時にソングをスタートする(シンクロスタート)



ソングコントロール[ストップ]ボタンを押しながら[スタート/一時停止]ボタンを押してから鍵盤を弾くと、鍵盤を弾くと同時にソング再生がスタートします。

シンクロスタートを解除するときは、もう一度ソングコントロール[ストップ]ボタンを押しながら[スタート/一時停止]ボタンを押します。

### ■ ソングを一時停止する



ソング再生中に[スタート/一時停止]ボタンを押します。一時停止した位置からソングを再生するには、もう一度[スタート/一時停止]ボタンを押します。

## ■ ソングを巻き戻し/早送りする



[巻き戻し]/[早送り]ボタンを1度押すと、1小節だけソングを巻き戻し/早送りします。ボタンを押し続けると、ボタンから手を離すまで巻き戻し/早送りし続けます。

[巻き戻し]/[早送り]ボタンを押すと、ソング再生位置(またはフレーズマーク番号)を示す画面が表示されるので、データダイアルで再生位置を変更することもできます。

### フレーズマークがないソングの場合



### フレーズマークがあるソングの場合



フレーズマークで巻き戻し/早送りしたくない場合は、[E]ボタンを押して、「BAR」を選ぶと、小節単位で巻き戻し/早送りできます。

## NOTE

フレーズマークとは、ソングデータに設定されている、ソング中のある箇所を指定するデータです。

## ■ テンポを変える

スタイルのテンポ調節と同じ方法です。53ページをご覧ください。

### プロテクトがかかったソングの制限

市販のミュージックデータ(ソング)の中には、コピー防止や誤消去防止のためにプロテクトがかかっているものがあります。プロテクトがかかったソングは、ソング名の左上に下記のような表示が出ます。

- **Prot. 1**  
内蔵のソングを「ユーザー」画面に保存したものや、ピアノプレーヤ用のミュージックデータです。USBフラッシュメモリーにコピー/移動/保存できません。
- **Prot. 2 Orig**  
ヤマハのプロテクトフォーマットがかかったソングです。コピーができません。「ユーザー」画面とUSBフラッシュメモリーに移動/保存できます。
- **Prot. 2 Edit**  
上記「Prot. 2 Orig」を編集し、保存したソングです。編集元のファイルと同じフォルダーに保存します。コピーができません。「ユーザー」画面とUSBフラッシュメモリーに移動/保存できます。

### Prot.2 OrigとProt.2 Editの扱い

Prot.2 OrigとProt.2 Editのソングは、同じフォルダーに保存してください。  
Prot.2 Editのソングは、同じフォルダーにProt.2 Origのソングがないと再生できません。  
Prot.2 Editのソングを移動するときは、必ずProt.2 Origのソングと一緒に移動してください。  
プロテクトソングの保存には、動作確認済みのUSBフラッシュメモリーをお使いください。動作確認済みのUSBフラッシュメモリーは、ヤマハのウェブサイトでご確認いただけます。

## NOTE

ソング再生音と手弾き音の音量バランスを調整できます。57ページをご覧ください。

## NOTE

ミキサー画面では、各ソングチャンネルのボリュームを調整することもできます(87ページ)。

## NOTE

ソングの特定チャンネルをオン/オフすることができます。62ページをご覧ください。

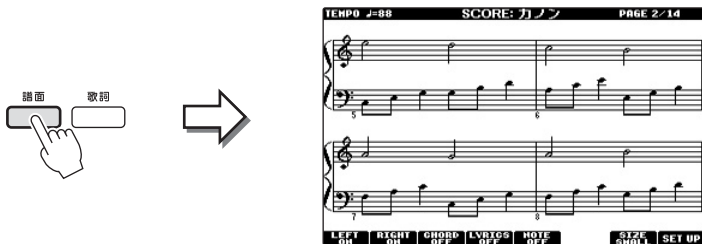
## NOTE

ソングの再生音は移調できます。詳しくは、42ページをご覧ください。

## 譜面を表示する

選んだソングの譜面(楽譜)を表示させます。譜面を見ながら演奏の練習をする場合に便利です。

- 1 ソングを選びます(58ページ手順1~4)。
- 2 [譜面]ボタンを押して、譜面を表示させます。  
ソングの停止中は、タブ切替[◀][▶]ボタンで譜面をめくれます。  
ソングを再生すると、ソングの再生に合わせて、譜面上のボールが再生位置を移動します。



[1▲▼]~[8▲▼]ボタンで、表示サイズを変えたり、音名を表示させたりなど、譜面の表示方法を変えられます。詳しくは、「機能詳細編 もっと楽しむCVP」をご覧ください。

## 歌詞を表示する

ソングに歌詞データが入っている場合、画面上に歌詞を表示できます。弾き語りやカラオケをするときに便利です。

- 1 ソングを選びます(58ページ手順1~4)。
- 2 [歌詞]ボタンを押して、歌詞画面を表示させます。  
ソングに歌詞データが入っていれば、歌詞が画面上に表示されます。ソングの停止中は、タブ切替[◀][▶]ボタンで歌詞のページをめくれます。  
ソング再生を始めると、再生にあわせて歌詞の色が変わります。



### NOTE

譜面は、ご自分で録音したソングや市販のソングでも表示させることができます。

### NOTE

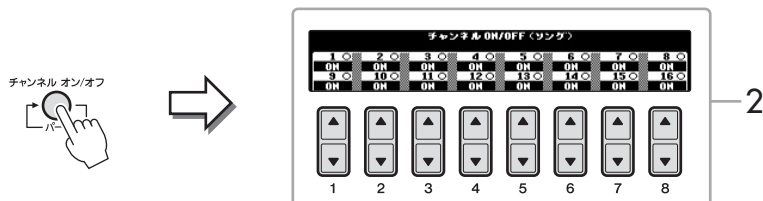
表示される譜面はソングデータ(演奏データ)をもとに作成されます。そのため、細かい音符が多い曲や複雑な曲を表示するときは、市販の楽譜とは異なる場合があります。

## ソングをチャンネルごとにオン/オフする

ソングは、16のチャンネルで構成されています。ソングを再生させながら、各チャンネルをオン/オフしてみましょう。

- 1 [チャンネル オン/オフ]ボタンを押して、チャンネル ON/OFF (ソング)画面を表示させます。

チャンネル ON/OFF (ソング)画面が選ばれていないときは、もう一度[チャンネル オン/オフ]ボタンを押します。



- 2 [1▲▼]～[8▲▼]ボタンで、各チャンネルをオン/オフします。

1チャンネルだけ再生するときは、再生したいチャンネルのボタンを押し続けて「SOLO (ソロ)」にします。ソロを解除するには、もう一度ソロチャンネルのボタンを押します。

## ガイドランプを使って片手ずつ練習する

鍵盤ガイドランプは、鍵盤を弾くタイミングや押さえる鍵盤位置などを教えてくれます。弾きたいソングを選んでガイド機能をオンにすると、正しい鍵盤を弾くまで伴奏が待ってくれるので、自分のペースで練習できます。ここでは右手パートを消音して、ガイドランプに合わせて右手の練習をしてみましょう。

- 1 弾きたい曲(ソング)を選び、譜面を表示させます(61ページ)。

- 2 [ガイド]ボタンを押して、ガイド機能をオンにします。



- 3 [トラック1(右手)]ボタンを押します。

[トラック1(右手)]ボタンのランプが消え、右手(メロディー)パートが鳴らない状態になったことを示します。



### NOTE

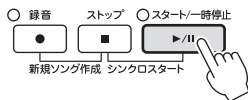
白鍵のガイドランプは赤、黒鍵のガイドランプは緑に光ります。

### NOTE

通常、[トラック1(右手)]ボタンにチャンネル1、[トラック2(左手)]ボタンにチャンネル2、[その他トラック(スタイル)]ボタンにチャンネル3～16が割り当てられています。

#### 4 ソングコントロール[スタート/一時停止]ボタンを押して、ソングをスタートさせます。

右手(メロディー)パート以外が再生されます。ガイドランプを見ながら、右手の練習をしましょう。



練習が終わったら、[ガイド]ボタンを押して、ガイド機能をオフにしておきましょう。

#### その他のガイド機能

ガイドには、上記で説明したFollow Lightsのほかにも、鍵盤を弾くタイミングだけを練習するAny Keyや、カラオケ練習用のKarao-key、自分の弾くペースにあわせてソングのテンポが変化するYour Tempoがあります。

[ファンクション] → [B] SONG SETTING → [A]/[B] GUIDE MODE

詳しくは、「機能詳細編 もっと楽しむCVP」をご覧ください。

### 繰り返し再生を使って練習する

難しいフレーズを繰り返して練習するときには、繰り返し再生を使うと便利です。

[くり返し]ボタンをオンにしてからソングを再生すると、1曲を繰り返して再生します。繰り返し再生をやめるには、もう一度[くり返し]ボタンを押します。

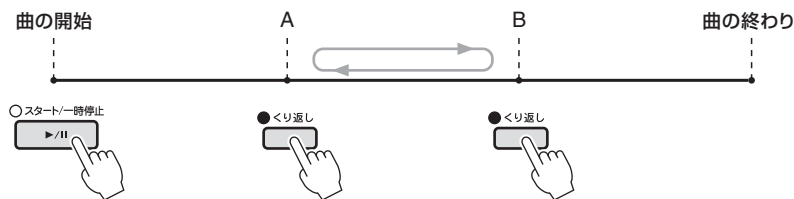


### 指定した範囲を繰り返し再生する(ABリピート)

ソング内の特定の範囲だけを繰り返し再生できます。

- 1 ソングを選びます(58ページ手順1~4)。
- 2 ソングコントロール[スタート/一時停止]ボタンを押して、ソングをスタートします。
- 3 繰り返し位置を指定します。

繰り返し再生の開始位置(A点)にしたい所で[くり返し]ボタンを押します。繰り返し再生の終了位置(B点)にしたい所で、もう一度[くり返し]ボタンを押します。ソングは、曲に合わせたカウントが入ったあと、A点からB点までが繰り返し再生されます。



#### NOTE

複数のソングを続けて繰り返し再生することもできます。

[ファンクション] → [B] SONG SETTING → [H] REPEAT MODE

#### NOTE

A点を曲の開始位置、B点を曲の途中に設定したい場合は、下記の操作をしてください。

- 1 [くり返し]ボタンを押してから、ソング再生をスタート
- 2 繰り返し再生の終了位置(B点)にしたいところでもう一度[くり返し]ボタンを押す

#### NOTE

A点だけを指定して、B点を指定せずにいると、A点からソングの最後までが繰り返し再生されます。

- 4 **ソングコントロール[ストップ]ボタンを押して、ソングをストップします。**  
再生位置がA点に戻ります。次にソング再生をスタートすると、A点から再生が始まります。

- 5 **【くり返し】ボタンを押して、繰り返し再生をオフにします。**

**ソングの停止中にA点とB点を指定する**

- 1 [早送り]ボタンを押して、A点にしたい所までソングを進めます。
- 2 A点にしたい所で【くり返し】ボタンを押します。
- 3 [早送り]ボタンを押して、B点にしたい所までソングを進めます。
- 4 B点にしたい所で、もう一度【くり返し】ボタンを押します。

もっと進んだ使いかた

詳しくはインターネット上の「機能詳細編 もっと楽しむCVP」  
4章をご覧ください。



譜面の表示を変える

[譜面] → [1▲▼]~[8▲▼]

ソングとスタイルを同時に再生する

[スタイルオン/オフ] → スタイル[シンクロス  
スタート] → ソングコントロール [ストップ] +  
[スタート/一時停止] → スタイル[スタート/  
ストップ]

ソングに関する設定

[ファンクション] → [B] SONG SETTING

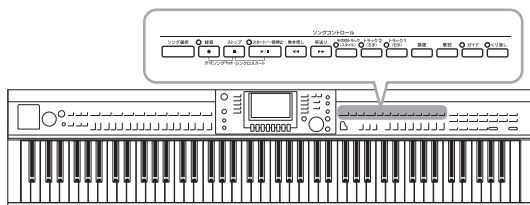
• ガイド機能の種類を選ぶ

→ [A]/[B] GUIDE MODE

• パフォーマンスアシスタント機能を使う

→ [8▲▼] P.A.T.

# 演奏を録音する(MIDI)



自分の演奏を録音したい場合、2種類の方法があります。この章では、MIDI録音について説明します。

## • MIDI録音(この章で説明)

録音した演奏をSMF(フォーマット0)のMIDIソングとして保存します。あとで部分的に録音し直したり、音色を変えるなどの編集がしたい場合は、この方法がよいでしょう。音色別に重ねて録音する「多重録音(マルチ録音)」がしたい場合も、MIDI録音を行なってください。

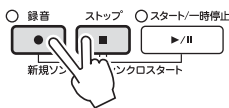
## • オーディオ録音(→73ページ)

録音した演奏をオーディオファイルとして、USBフラッシュメモリーに保存します。一般的なCD音質のステレオWAV形式で保存されるので、コンピューターを使って携帯音楽プレーヤーなどに転送して再生ができます。

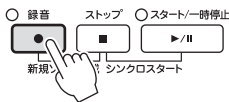
## クイック録音

パートを指定する必要がないので、比較的簡単に録音できます。

- 1 [録音]ボタンと[ストップ]ボタンを同時に押します。  
録音のための空のソングが用意されます。



- 2 [録音]ボタンを押します。



### 特定のパートだけを録音する

手順2の代わりに、[録音]ボタンを押しながら[トラック1(右手)](または[トラック2(左手)])ボタンを押すと、右手パート(または左手パート)の鍵盤演奏だけを録音できます。[録音]ボタンを押しながら[その他トラック(スタイル)]ボタンを押すと、スタイル再生だけを録音できます。

### NOTE

クイック録音では、1~3チャンネルに鍵盤パート、9~16チャンネルにスタイルパート(56ページ)が録音されます。

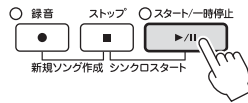
- 3 演奏しましょう。  
演奏を始めると自動的に録音がスタートします。

- 4 [ストップ]ボタンを押して、録音を終わります。



録音が終わると保存を促すメッセージが表示されます。メッセージを閉じるには、[戻る]ボタンを押します。

- 5 録音した演奏を試聴します。ソングコントロール[スタート/一時停止]ボタンを押して、今録音した演奏を再生します。



- 6 録音した演奏を保存します。  
[ソング選択]ボタンを押してソング選択画面を表示させます。録音したデータの保存は、ソング選択画面で行ないます。詳細は、次の「データを保存する」をご覧ください。

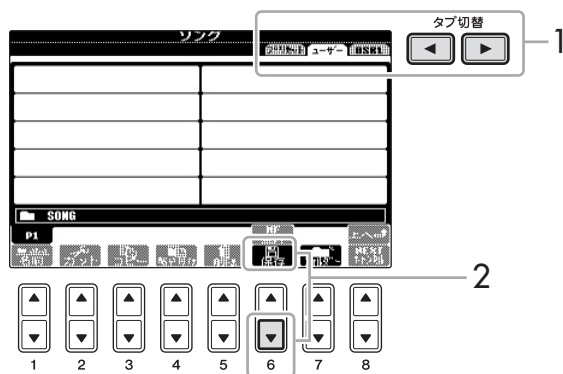
**注記**

録音したソングを保存せずにソングを切り替えたり電源を切ったりすると、録音したデータは失われます。ご注意ください。

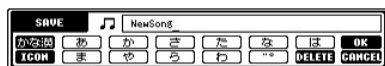
## データを保存する

あなたが作ったデータ(録音したソング、編集したボイスなど)をファイルとして保存します。ここでは、録音した演奏をソングとして保存する手順を例に、データの保存方法を説明します。

- 1 ファイル選択画面でタブ切替[◀][▶]ボタンを押して、ソングを保存したい場所(ユーザーまたはUSB)を選びます。



- 2 [6▼](保存)ボタンを押します。  
ファイル名を付ける画面が表示されます。



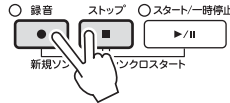
- 3 必要に応じて、ファイル名を入力します(28ページ)。  
ファイル名はあとから付け直すこともできます(70ページ)ので、そのまま手順4に進んでも構いません。
- 4 [8▲](OK)ボタンを押して、ファイルを保存します。  
保存されたファイルは、アルファベット/50音順に並べ替えられて表示されます。

## チャンネルごとに録音する(多重録音)

ソングは、通常16チャンネルで構成されています。1チャンネルずつ重ねて録音することで、本格的な曲作りが楽しめます。多重録音では、各チャンネルに割り当てるパートを変更できます。

### 1 [録音]ボタンと[ストップ]ボタンを同時に押します。

録音のための空のソングが用意されます。



### 2 [録音]ボタンを押しながら[1▲▼]～[8▲▼]ボタンを押して、録音したいチャンネルを「REC」にし、[C]/[D]ボタンでそのチャンネルに割り当てるパートを選びます。

たとえば、チャンネル1に右手1パートを録音したい場合は、[録音]ボタンを押しながら[1▲]ボタンを押して、チャンネル1を「REC」にします。そのあとで、[C]/[D]ボタンで「RIGHT1」を選びます。

#### NOTE

録音をキャンセルしたい場合は、[ストップ]ボタンを押します。



### 3 演奏しましょう。

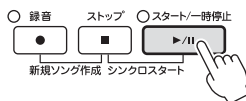
演奏を始めると自動的に録音がスタートします。

### 4 [ストップ]ボタンを押して、録音を終わります。



録音が終わると保存を促すメッセージが表示されます。メッセージを閉じるには、[戻る]ボタンを押します。

### 5 録音した演奏を試聴します。ソングコントロール[スタート/一時停止]ボタンを押して、今録音した演奏を再生します。



6 必要に応じて、手順2~5をくり返します。

7 録音した演奏を保存します。

[ソング選択]ボタンを押してソング選択画面を表示させます。録音したデータの保存は、ソング選択画面で行ないます。以降の操作は、67ページの「データを保存する」をご覧ください。

#### 注記

録音したソングを保存せずにソングを切り替えたり電源を切ったりすると、録音したデータは失われます。ご注意ください。

## ファイルを管理する

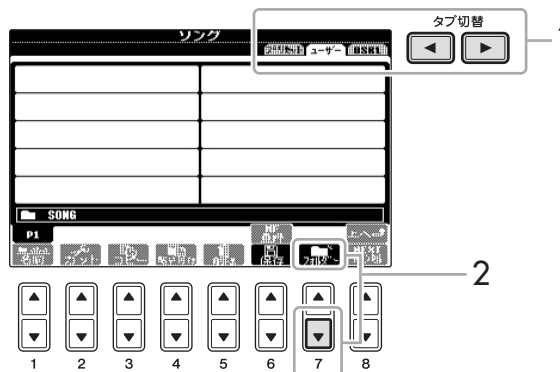
USBフラッシュメモリーやユーザーメモリー内に保存したファイルが増えると、目的のファイルを探すのが大変になります。フォルダーを作ってファイルを整理したり、ファイルにわかりやすい名前を付けたり、不要なファイルを削除したりすることで、ファイルが探しやすくなります。ファイルの管理は、ファイル選択画面で行ないます。

## フォルダーを作る

新しいフォルダーを作ります。フォルダーには、ファイルを種類別に分けて入れることができます。ファイル整理に活用しましょう。

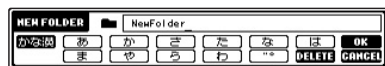
1 ファイル選択画面でタブ切替[◀][▶]ボタンを押して、フォルダーを作成したい場所(ユーザーまたはUSB)を選びます。

すでにあるフォルダーの中に作成したい場合は、フォルダーも選びます。



2 [F▼] (フォルダー)ボタンを押します。

新しいフォルダーの名前を入力する画面が表示されます。



3 フォルダーの名前を入力します(28ページ)。

#### NOTE

「プリセット」画面には、フォルダーを作れません。

#### NOTE

ひとつのフォルダーに保存できるファイル/フォルダーの数は500までです。

#### NOTE

「ユーザー」画面のフォルダー階層は4階層までです。保存できるファイルとフォルダーの数は、ファイルサイズやファイル名の長さによって異なります。

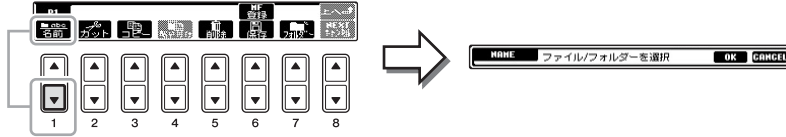
#### NOTE

次の半角記号はファイル名/フォルダー名として入力できません。  
¥ / : \* ? " < > |

## ファイル/フォルダーの名前を変える

ファイル/フォルダーの名前を書き換えます。

- 1 ファイル選択画面で、名前を変えたいファイル/フォルダーがある画面を表示させます。
- 2 [1▼] (名前)ボタンを押します。  
画面下部に、名前に関する画面が表示されます。

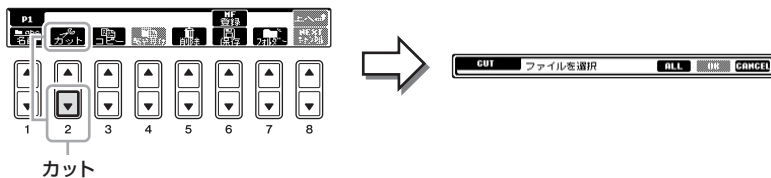
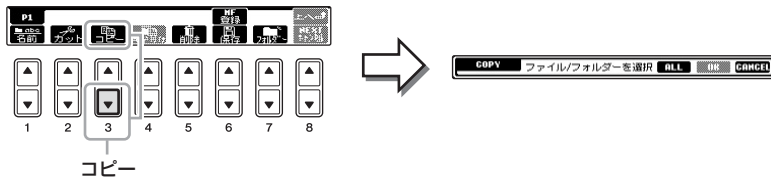


- 3 [A]~[J]ボタンで、名前を変えたいファイル/フォルダーを選びます。
- 4 [7▼] (OK)ボタンを押して、ファイル/フォルダーの選択を確定します。
- 5 ファイル/フォルダーの名前(文字)を入力します(28ページ)。  
名前を変えたファイル/フォルダーは、アルファベット/50音順に並べ替えられて表示されます。

## ファイルをコピーまたは移動する

ファイルを別の保存場所にコピーまたは移動します。元の場所に残したまま別の場所にコピーしたり、元の場所からは削除して別の場所に移動したりします。  
フォルダー単位でもコピーできます(移動はできません)。

- 1 ファイル選択画面で、コピーまたは移動したいファイルがある画面を表示させます。
- 2 コピーしたい場合は[3▼] (コピー)ボタン、移動したい場合は[2▼] (カット)ボタンを押して、ファイル/フォルダーをコピーまたはカットします。  
画面下部に、コピー/カットに関する画面が表示されます。



### NOTE

「プリセット」画面のファイル名は変更できません。

### NOTE

名前変更を中止するときは、[8▼] (CANCEL)ボタンを押します。

### NOTE

「プリセット」画面のファイルは移動できません。

### NOTE

市販のミュージックデータは著作権で保護されていますので、コピー機能は個人で楽しむ範囲でご利用ください。市販のミュージックデータの中には、コピーできないものもあります。

- 3 [A]～[J]ボタンで、コピーまたは移動したいファイル/フォルダーを選びます。  
ファイル/フォルダーの選択を解除するときは、もう一度同じ[A]～[J]ボタンを押します。  
表示されているファイル/フォルダーをすべて選ぶには、[6▼] (ALL)ボタンを押します。  
画面に表示されているすべてのファイル/フォルダー (画面に現れていない別ページも含む)が選択されます。もう一度[6▼] (ALL OFF)ボタンを押すと、すべての選択が解除されます。
- 4 [7▼] (OK)ボタンを押して、ファイル/フォルダーの選択を確定します。
- 5 タブ切替[◀][▶]ボタンを押して、ファイル/フォルダーのコピー先/移動先(ユーザーまたはUSB)を選びます。  
コピー/移動先として特定のフォルダーを指定したい場合は、[A]～[J]ボタンでフォルダーも選びます。
- 6 [4▼](貼り付け)ボタンを押して、手順3で選んだファイル/フォルダーを貼り付けます。  
コピー/移動されたファイル/フォルダーは、アルファベット/50音順に並べ替えられて表示されます。

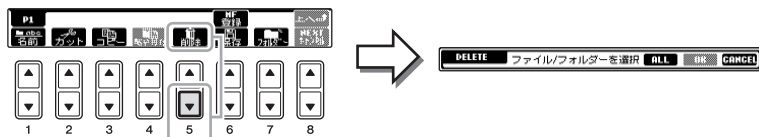
**NOTE**

中止するときは、[8▼] (CANCEL)ボタンを押します。

## ファイル/フォルダーを削除する

ファイル/フォルダーを削除します。

- 1 ファイル選択画面で、削除したいファイル/フォルダーがある画面を表示させます。
- 2 [5▼] (削除)ボタンを押します。  
画面下部に、削除に関する画面が表示されます。



- 3 [A]～[J]ボタンで、削除したいファイル/フォルダーを選びます。  
ファイル/フォルダーの選択を解除するときは、もう一度同じ[A]～[J]ボタンを押します。  
表示されているファイル/フォルダーをすべて選ぶには、[6▼] (ALL)ボタンを押します。  
画面に表示されているすべてのファイル/フォルダー (画面に現れていない別ページも含む)が選択されます。もう一度[6▼] (ALL OFF)ボタンを押すと、すべての選択が解除されます。
- 4 [7▼] (OK)ボタンを押して、ファイル/フォルダーの選択を確定します。
- 5 画面メッセージに従って、操作を進めます。
  - YES ..... 選んだファイル/フォルダーを削除します。
  - YES ALL ..... 選んだファイル/フォルダーすべてを一度に削除します。
  - NO ..... 選んだファイル/フォルダーを削除せず、残します。
  - CANCEL ..... 削除を中止します。

**NOTE**

「プリセット」画面のファイルは削除できません。

**NOTE**

削除を中止するときは、[8▼] (CANCEL)ボタンを押します。

もっと進んだ使いかた

詳しくはインターネット上の「機能詳細編 もっと楽しむCVP」  
5章をご覧ください。



ソングを作成/編集する  
(ソングクリエイター)

- メロディーをステップ録音する
- コードをステップ録音する
- 部分的に再録音する  
(パンチイン/アウト録音)
- チャンネル単位で編集する
- データ単位で編集する

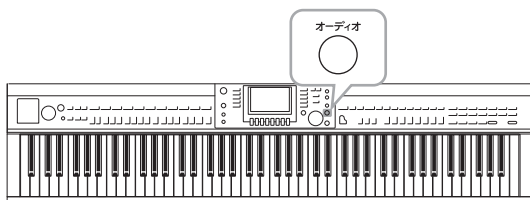
[ファンクション] → [F] DIGITAL REC MENU →  
[A] SONG CREATOR

- タブ切替[◀][▶] 1~16
- タブ切替[◀][▶] CHORD
- タブ切替[◀][▶] REC MODE
- タブ切替[◀][▶] CHANNEL
- タブ切替[◀][▶] CHORD、1~16、SYS/EXま  
たはLYRICS

5

演奏を録音する(MIDI)

# 演奏を再生/録音する(オーディオ)



USBオーディオ機能を使えば、USBフラッシュメモリに入っているオーディオファイル(.WAV)を楽器で再生できます。また、ご自分の演奏をオーディオファイル(.WAV)としてUSBフラッシュメモリに録音することができますので、コンピューターで再生したり、知り合いとお互いの演奏データをやりとりしたり、オリジナルのCDを制作したりするなど、さまざまな用途で楽しめます。

USBオーディオ機能を使った録音では、あとで別パートを追加で録音したり(多重録音)、編集したりすることはできません。そのような録音をしたい場合は、65ページ「演奏を録音する(MIDI)」の方法で録音してください。

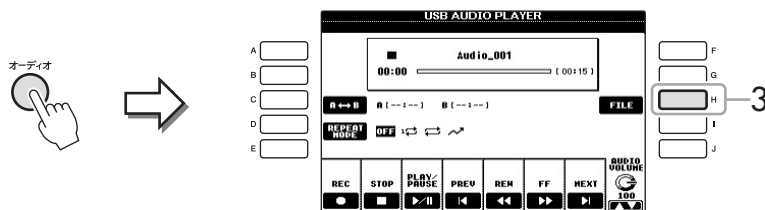
## 再生する

USBフラッシュメモリに入っているオーディオファイルをこの楽器で再生してみましょう。

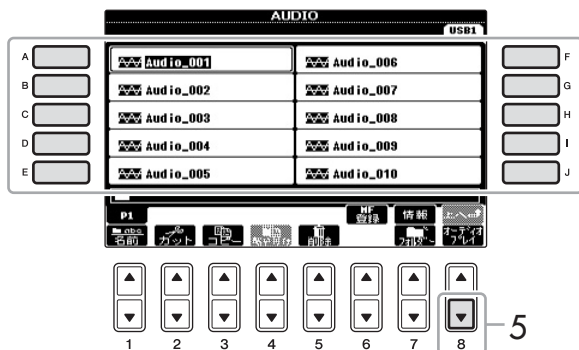
再生できるファイル形式

.wav	サンプリング周波数44.1kHz、量子化ビット数16bit、stereo
------	--------------------------------------

- 再生したいオーディオファイルの入っているUSBフラッシュメモリを[USB TO DEVICE]端子に接続します。
- [オーディオ]ボタンを押して、USB AUDIO PLAYER画面を表示させます。



- [H](FILE SELECT)ボタンを押して、接続中のUSBフラッシュメモリに保存されているオーディオファイルを表示します。
- [A]~[J]ボタンで、再生したいファイルを選びます。



## NOTE

DRM (デジタル著作権管理)付きファイルには非対応です。

## NOTE

USBフラッシュメモリの取り扱いについては、はじめに「USBフラッシュメモリを接続する」(91ページ)をお読みください。

## NOTE

[USB]ボタンを押して、[B](AUDIO)ボタンを押すことでも、手順3と同じオーディオファイルを選択する画面に入れます。

## NOTE

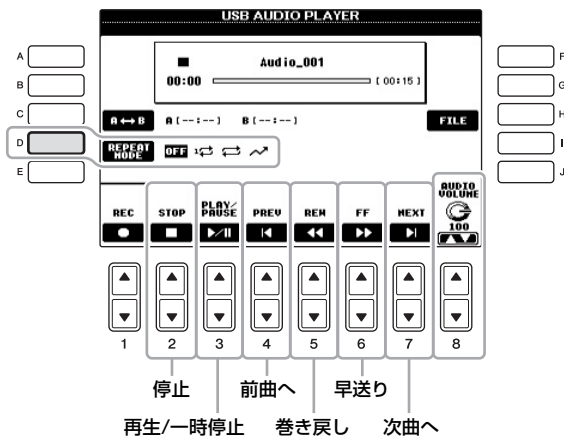
現在選ばれているファイルの情報を確認したい場合は、[7▲]ボタンを押すとインフォメーション画面が表示されます。インフォメーション画面を閉じるには、[F](OK)ボタンを押します。

5 [8▼] (PLAY)ボタンを押して再生します。  
USB AUDIO PLAYER画面が表示されます。

6 再生をストップするには、[2▲▼] (STOP)ボタンを押します。

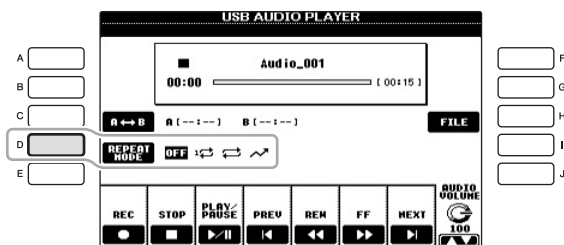
## 再生中の操作

[2▲▼]~[7▲▼]ボタンで、停止、一時停止、選曲、巻き戻し、早送りができます。また、[D] (REPEAT MODE)ボタンで連続再生の設定を、[8▲▼]で音量調節を行ないます。



### ■ 連続再生する

[D] (REPEAT MODE)ボタンを押したあと、[D]ボタンでオーディオファイルのリピートモードを設定します。



- OFF OFF..... 現在選ばれているファイルを1回だけ再生し、繰り返し再生はしません。
- 1 SINGLE ..... 現在選ばれているファイル1曲を繰り返し再生します。
- ALL..... 指定のフォルダー (現在選ばれているファイルがあるフォルダー) にあるファイル全曲の連続再生を繰り返します。
- RANDOM ..... 指定のフォルダー (現在選ばれているファイルがあるフォルダー) にあるファイル全曲のランダム (順不同)再生を繰り返します。

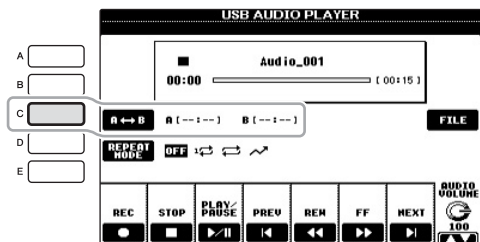
### 注記

再生中はUSBフラッシュメモリーの抜き差しをしたり、楽器の電源を切ったりしないでください。データが壊れるおそれがあります。

### ■ 指定した範囲を繰り返し再生する(ABリピート)

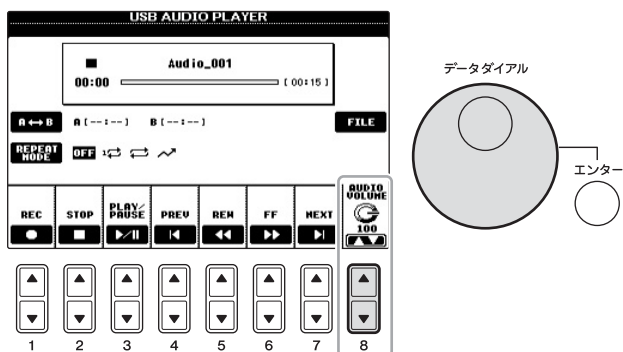
オーディオファイル再生中、繰り返し再生の開始位置(A点)にしたい所で[C](A-B)ボタンを押し、繰り返し再生の終了位置(B点)にしたい所で、もう一度[C](A-B)ボタンを押すと、A点からB点が繰り返し再生されます。

繰り返し再生を無効にしたい場合は、もう一度[C](A-B)ボタンを押します。



### ■ 再生音量(ボリューム)を調整する

[8▲▼](AUDIO VOLUME)ボタンを押したあと、[データダイアル]でオーディオファイルの再生音量を設定します。



## 録音する

ご自分の演奏をオーディオファイル(WAVファイル)としてUSBフラッシュメモリーに録音してみましょう。

#### ● 録音できるファイル形式

.wav	サンプリング周波数44.1kHz、量子化ビット数16bit、stereo
------	--------------------------------------

#### ● 録音できる音

鍵盤や自動演奏など楽器で演奏されたすべての音と、AUX IN端子から入力された音がミックスされ、USBフラッシュメモリーに録音

#### ● 録音可能時間

1回の録音につき80分まで  
(USBフラッシュメモリーの容量によって異なります)

1 USBフラッシュメモリーを[USB TO DEVICE]端子に接続します。

2 演奏で使いたいボイスなどの設定をします(ボイスの設定: 37ページ、スタイル: 48ページ、AUX IN端子: 90ページ)

### NOTE

A点だけを指定して、B点を指定せずにいると、A点からオーディオファイルの最後までが繰り返し再生されます。

### NOTE

USBオーディオ機能での録音には、動作確認済みのUSBフラッシュメモリーをお使いください。USBフラッシュメモリーの取り扱いについては、はじめに「USBフラッシュメモリーを接続する」(91ページ)をお読みください。

### NOTE

プリセットソングなど著作権で保護されているソング(曲)や、メトロノーム音は録音できません。

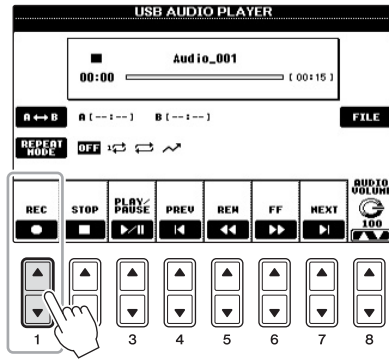
### NOTE

録音方法には、ここで説明するオーディオ録音のほかMIDI録音(ソング録音)もあります(65ページ)。

- 3 [オーディオ]ボタンを押して、USB AUDIO PLAYER画面を表示させます。

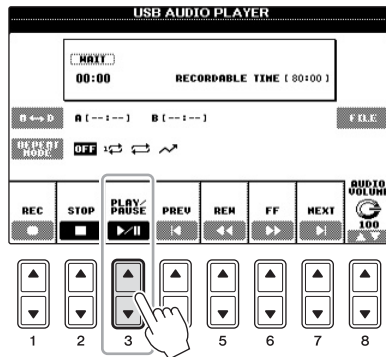


- 4 [1▲▼] (REC)ボタンを押して、録音待機状態にします。



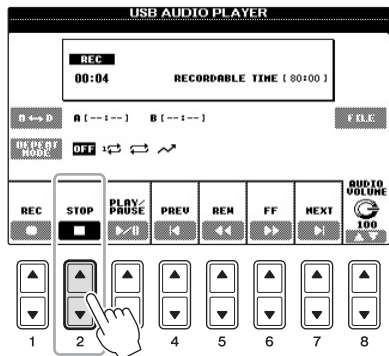
- 5 [3▲▼] (PLAY/PAUSE)ボタンを押して、録音を開始します。演奏を始めましょう。

録音が始まると、画面に録音経過時間が表示されます。



- 6 [2▲▼] (STOP)ボタンを押して、録音を終了します。

ファイル名が自動的に付けられ、ファイル名を知らせるメッセージが表示されます。



#### NOTE

複数のUSBフラッシュメモリーが接続されている場合、「USB1」のUSBフラッシュメモリーが録音先に選ばれます。AUDIO PLAYER画面で[H](FILE SELECT)ボタンを押すと、「USB1」の内容が確認できます。

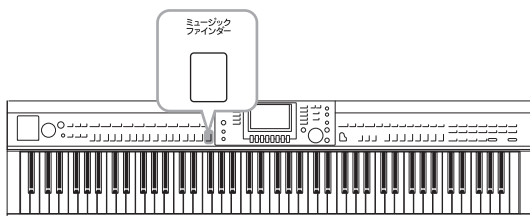
#### 注記

録音中はUSBフラッシュメモリーの抜き差しをしたり、楽器の電源を切ったりしないでください。データが壊れるおそれがあります。

#### NOTE

演奏を失敗した場合でも、上書き録音はできません。ファイル選択画面(27ページ)で失敗したファイルを削除し、新たに録音し直してください。

# 弾きたい曲に合ったボイスや自動伴奏(スタイル)などを呼び出す(ミュージックファインダー)



弾きたい曲に合ったパネル設定(ボイスやスタイルなど)がわからない場合、ミュージックファインダー機能を使うと便利です。ミュージックファインダーに登録されているさまざまな「レコード」を選ぶことにより、弾きたい曲に合ったパネル設定を呼び出すことができます。

## インターネット上のウェブサイトからレコード(パネル設定)をダウンロードする

工場出荷時にミュージックファインダーに入っているのはサンプルのレコードです。ミュージックファインダー機能を便利に使うために、ヤマハのウェブサイトで提供されている、ミュージックファインダーのレコードを本体に読み込んでおくことをおすすめします。

### 1 ウェブサイトから、ミュージックファインダーのレコードが入ったファイル(.mfd)をUSBフラッシュメモリーにダウンロードします。

ファイルは、下記ウェブサイトからダウンロードできます。

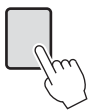
ヤマハ ダウンロード

<http://download.yamaha.com/jp/>

### 2 ファイルが入ったUSBフラッシュメモリーを、楽器本体の[USB TO DEVICE]端子に接続します。

### 3 [ミュージックファインダー]ボタンを押して、ミュージックファインダー画面を表示させます。

ミュージック  
ファインダー



MUSIC FINDER			
MUSIC	STYLE	BEAT/TEMPO	
Obide With Me	クラシックピアノ	4/4 72	100
Aida Triumph March	クラシックピアノ	4/4 112	
Air On The G String	クラシックピアノ	4/4 68	
Air On The G String	クラシックピアノ	4/4 68	
Air On The G String	クラシックピアノ	4/4 68	
Aloha Oe	ハワイアン	4/4 102	
Anapola	60s ヒップホップ	4/4 138	
Anapola	クラシック	4/4 112	
Rebosa Polka	クラシック	4/4 116	
American Patrol	クラシック	4/4 186	
An Der Schonen Blauen	クラシック	3/4 174	
An Der Schonen Blauen	クラシック	3/4 174	
Any Old Iron	クラシック	4/4 116	
Any Old Iron	クラシック	4/4 120	

### 4 [7▲▼](FILES)ボタンを押して、ファイル選択画面を表示させます。

## NOTE

USBフラッシュメモリーを使う前に、必ず「USBフラッシュメモリーを接続する」(91ページ)をお読みください。

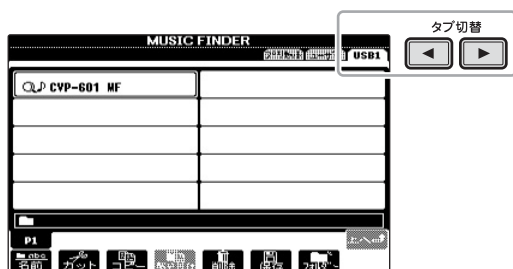
## 注記

置き換えを行なうと、全レコード(ミュージックファインダー「MUSIC FINDER」画面)に表示されるパネル設定/曲データが上書きされます。失いたくないレコードがある場合は、ファイル選択画面(左記手順4)で、ユーザーまたはUSBに保存しておいてください。

7

弾きたい曲に合ったボイスや自動伴奏(スタイル)などを呼び出す(ミュージックファインダー)

- 5 タブ切替[◀][▶]ボタンを押して、ウェブサイトからダウンロードしたファイルが入っている「USB」画面を表示させます。

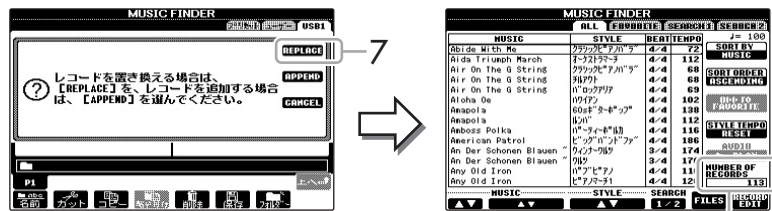


- 6 ファイルに該当するボタンを押すと、レコードの置き換え/追加を選ぶメッセージが表示されます。
- 7 [F] (REPLACE) ボタンを押して、全レコードをUSBフラッシュメモリー内のレコードに置き換えます。

確認を求めるメッセージが表示されたら、[G] (YES) ボタンを押します。

- 8 置き換え完了を知らせるメッセージ画面で[F] (YES) ボタンを押して、ミュージックファインダー画面を開きます。

ミュージックファインダー画面に表示されるレコード数で、レコードが置き換わったことを確認できます。



レコード数

**NOTE**

プリセットのレコードについては、置き換えたあとでも、手順4で表示させる画面で「プリセット」画面から「MusicFinderPreset」ファイルを選ぶと、工場出荷時の状態に戻せます。

7

弾きたい曲に合ったボイスや自動伴奏(スタイル)などを呼び出す(ミュージックファインダー)

## ミュージックファインダーのレコードについて

MUSIC	STYLE	BEAT/TEMPO	SORT BY
Obide With Me	カクカクカカカ	4/4 72	MUSIC
Aida Triumph March	カクカクカカ	4/4 112	ASCENDING
Air On The G String	カクカクカカ	4/4 68	RESET
Air On The G String	カクカク	4/4 68	PLAY
Air On The G String	カクカクカ	4/4 69	NUMBER OF RECORDS 113
Aloha Oe	カクカク	4/4 102	
Anapola	カクカクカカ	4/4 138	
Anapola	カクカ	4/4 112	
Amboss Polka	カクカカカカ	4/4 116	
American Patrol	カクカカカカ	4/4 186	
An Der Schonen Blauen	カクカカカ	3/4 174	
An Der Schonen Blauen	カクカ	3/4 176	
Any Old Iron	カクカカ	4/4 116	
Any Old Iron	カクカカカ	4/4 120	

ミュージックファインダーの画面から呼び出せるデータの1つ1つを「レコード」といいます。レコードには、下記の3種類があります。

- **パネル設定**  
ボイスやスタイルなどの設定データ
- **ソング(SONG)**  
ソング選択画面(58ページ)からミュージックファインダーに登録した曲データ
- **オーディオ(AUDIO)**  
USBオーディオ選択画面(73ページ)からミュージックファインダーに登録した曲データ

## 曲に合ったパネル設定を選ぶ

- 1 [ミュージックファインダー]ボタンを押して、ミュージックファインダー画面を表示させます。  
ALLページに全レコードが表示されます。

各レコードの曲名や  
スタイル名など

MUSIC	STYLE	BEAT	TEMPO
Abide With Me	クラシック"アカ"ガ	4/4	72
Aida Triumph March	クラシック"アカ"ガ	4/4	112
Air On The G String	クラシック"アカ"ガ	4/4	68
Air On The G String	クラシック"アカ"ガ	4/4	68
Air On The G String	クラシック"アカ"ガ	4/4	69
Aloha Oe	クラシック"アカ"ガ	4/4	102
Anapola	クラシック"アカ"ガ	4/4	138
Anapola	クラシック"アカ"ガ	4/4	112
Arabesque Polka	クラシック"アカ"ガ	4/4	116
American Patrol	クラシック"アカ"ガ	4/4	166
An Der Schonen Blauen	クラシック"アカ"ガ	3/4	174
An Der Schonen Blauen	クラシック"アカ"ガ	3/4	176
Any Old Iron	クラシック"アカ"ガ	4/4	116
Any Old Iron	クラシック"アカ"ガ	4/4	120

- 2 [2▲▼]/[3▲▼]ボタンで、弾きたい曲に合ったレコード(=パネル設定)を選びます。

[データダイアル]で選んで[エンター]ボタンで確定することもできます。

### レコードを表示する順番を切り替える

[F] (SORT BY)ボタンを押して、レコードを表示させる順番を切り替えます。曲名順(MUSIC)、スタイル名順(STYLE)、拍子順(BEAT)、テンポ順(TEMPO)が選べます。また、[G] (SORT ORDER)ボタンを押して、昇順(ASCENDING)か降順(DDESCENDING)かを切り替えられます。

曲名順にレコードを表示させているときに[1▲▼]ボタンを押すと、同じ文字で始まる曲をスキップします(たとえば、Aで始まる曲名のレコードが選ばれているときに[1▼]を押すと、Bで始まる曲名のレコードに移動します)。

スタイル名順にレコードを表示させているときに[4▲▼]/[5▲▼]ボタンを押すと、次のスタイルに移動します。[▲]と[▼]ボタンを同時に押すと、一番上のレコードに移動します。

- 3 コード鍵域(40ページ)でコードを押さえながら、右手でメロディーを弾いて演奏してみましょう。

### NOTE

SONGやAUDIOの選択については、82ページをご覧ください。

### NOTE

スタイル再生中に別のレコードを選んだときに、スタイルのテンポが変わらないようにしたい場合は、[ ] (STYLE TEMPO)ボタンを押してHOLDまたはLOCKにします。LOCKにすると、再生中だけでなく停止中もスタイルのテンポは切り替わりません。

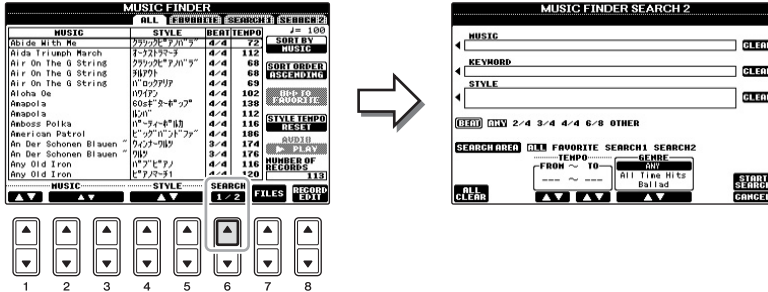
7

弾きたい曲に合ったボイスや自動伴奏(スタイル)などを呼び出す(ミュージックファインダー)

## パネル設定を検索する

ミュージックファインダーの検索機能を使って、曲名やスタイル名からレコードを検索できます。

- 1 ミュージックファインダー画面のALLページで[6▲] (SEARCH 1)ボタンを押して、検索画面を表示させます。



- 2 検索の条件を入力します。

[A]	MUSIC (ミュージック: 曲名)	曲名で検索します。[A]ボタンを押して文字入力画面を表示させ、曲名を入力します。入力した内容を消去するには、[F] (CLEAR)ボタンを押します。
[B]	KEYWORD (キーワード)	キーワードで検索します。[B]ボタンを押して文字入力画面を表示させ、キーワードを入力します。入力した内容を消去するには、[G] (CLEAR)ボタンを押します。
[C]	STYLE (スタイル)	スタイル名で検索します。[C]ボタンを押すとスタイル選択画面が開きます。スタイルを選んだあと、[戻る]ボタンを押して検索画面に戻ります。選んだスタイルを消去するには、[H] (CLEAR)ボタンを押します。
[D]	BEAT (ビート)	拍子を指定します。ANY (エニー)を選ぶと、すべての拍子が検索の対象になります。
[E]	SEARCH AREA (サーチエリア)	検索対象となるページ(ミュージックファインダー画面上部のタブ)を指定します。
[1▲▼]	ALL CLEAR (オールクリア)	入力したすべての検索条件を消去します。
[3▲▼]	TEMPO FROM (テンポ フロム)	テンポの範囲を指定します。
[4▲▼]	TEMPO TO (テンポ トゥー)	
[5▲▼]/ [6▲▼]	GENRE (ジャンル)	音楽ジャンルを指定します。

検索を中止するときは、[8▼] (CANCEL)ボタンを押します。

- 3 [8▲] (START SEARCH)ボタンを押して、検索をスタートします。  
検索をスタートすると自動的にSEARCH 1画面に切り替わり、検索結果が表示されます。

### NOTE

複数のキーワードを入力するには、カンマ(,)で区切って入力します。

### NOTE

BEATで2/4や6/8を選ぶと、2/4拍子や6/8拍子の曲を演奏するのに適したスタイルが検索できますが、実際のスタイルは4/4拍子で制作されています。

### NOTE

ソング/オーディオファイル(79ページ)を検索するときには、下記のようにしておく必要があります。

スタイル: 空白  
ビート: ANY  
テンポ: 「--」 ~ 「--」

### NOTE

別の条件で検索したい場合は、ミュージックファインダー画面で[6▼] (SEARCH 2)ボタンを押して検索します。検索した結果は「SEARCH 2」画面に表示されます。

もっと進んだ使いかた

詳しくはインターネット上の「機能詳細編 もっと楽しむCVP」  
7章をご覧ください。

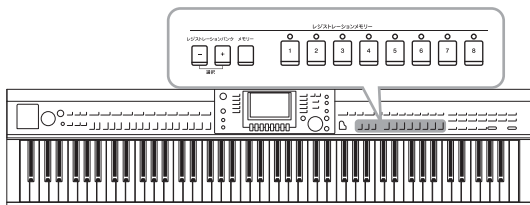


曲データ(ソング/オーディオ)や スタイルを登録する	ファイル選択画面 → [A]~[J] → [6▲] (MF登録) → [8▲](OK)  [USB] → [A](ソング)/[B](オーディオ)/[C](スタイル) → [A]~[J] → [6▲] (MF登録) → [8▲](OK)
登録した曲データやスタイルを ミュージックファインダーから 呼び出す	[ミュージックファインダー] → [2▲▼]/[3▲▼]  [ミュージックファインダー] → [2▲▼]/[3▲▼] → ソングコントロール[スタート/一時停止]  [ミュージックファインダー] → [2▲▼]/[3▲▼] → [AUDIO] → [3▲▼] (PLAY/PAUSE)  [MUSIC FINDER] → [2▲▼]/[3▲▼] → [J](AUDIO)
• 呼び出したソングデータを再生 する	
• 呼び出したオーディオデータを 再生する	
お気に入りのレコードを簡単に 呼び出す	[ミュージックファインダー] → タブ切替[◀][▶] ALL → [H] (ADD TO FAVORITE)
レコードを編集する	[ミュージックファインダー] → [8▲▼] (RECORD EDIT)
レコードを保存する	[ミュージックファインダー] → [7▲▼] (FILES)

7

弾きたい曲に合ったボイスや自動伴奏(スタイル)などを呼び出す(ミュージックファインダー)

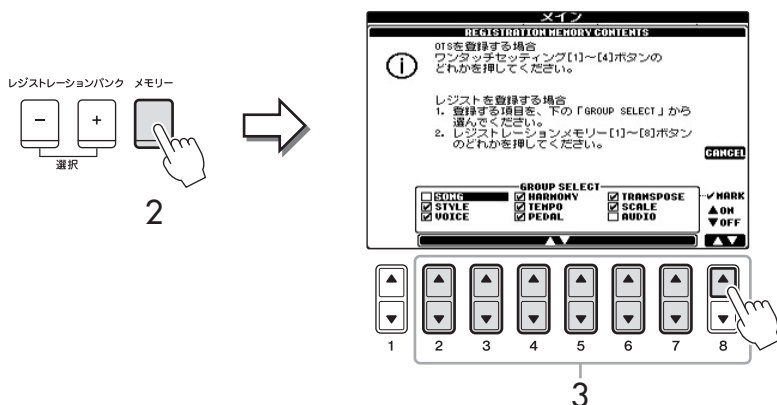
# パネル設定を登録する (レジストレーションメモリー)



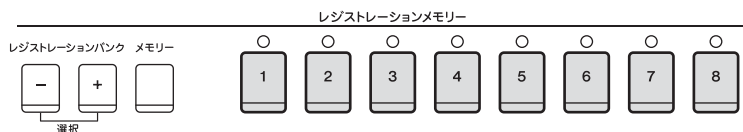
レジストレーションメモリーは、ボイスやスタイルなどに関するパネル設定をボタンに登録し、演奏中でもワンタッチで呼び出せる機能です。ボタンに登録したパネル設定は、まとめて1つのバンク(ファイル)として保存します。

## パネル設定を登録する

- 1 ボイスやスタイルなどのパネル設定を、登録したい状態にします。  
レジストレーションメモリーで登録できる内容は、別冊「データリスト(パラメーターチャート)」を参照してください。
- 2 レジストレーションメモリー [メモリー] ボタンを押して、登録する項目を選ぶ画面を表示させます。



- 3 登録する項目を選びます。  
[2▲▼]~[7▲▼]ボタンで登録したい項目を選び、[8▲] (MARK ON)ボタンを押してチェックマークを入れます。チェックマークを削除するには、[8▼] (MARK OFF)ボタンを押します。  
登録を中止するときは、[ ] (CANCEL)ボタンを押します。
- 4 レジストレーションメモリー [1]~[8]ボタンのうち、パネル設定を登録したいボタンを押します。  
パネル設定が登録されると、ランプが赤に点灯します。



### 注記

ランプが消灯しているボタンに登録することをおすすめします。ランプが点灯しているボタンは、すでにパネル設定が登録されているボタンです。ランプが点灯しているボタンにパネル設定を登録すると、そのボタンに登録されていたデータは消え、新しい設定に書き換わります。

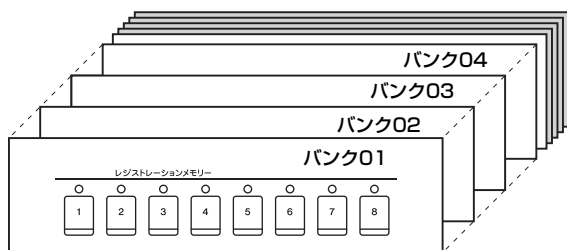
### ランプの色について

- ランプ(赤)点灯: パネル設定を登録済みで、現在選ばれています。
- ランプ(緑)点灯: パネル設定を登録済みで、現在選ばれていません。
- ランプ消灯: パネル設定が未登録です。

- 5 ほかのボタンに別のパネル設定を登録するときは、手順1~4を繰り返します。  
保存したパネル設定は、レジストレーションメモリー [1]~[8]ボタンを押すことで呼び出せます。

## 登録したパネル設定をファイルとして保存する

レジストレーションメモリーでは、ボタンに登録した8個のパネル設定をまとめて1つのバンク(ファイル)として扱います。



- 1 レジストレーションバンク[-]/[+]ボタンを同時に押して、バンク選択画面を表示させます。

レジストレーションバンク



1



2

- 2 [6▼]ボタンを押して、バンクを保存します。  
保存の手順については、67ページをご覧ください。

### NOTE

登録したパネル設定は、電源を切っても保持されます。登録したパネル設定を一度に消去する場合は、いちばん右のB鍵盤(B6)を押しながら電源をオンにします。

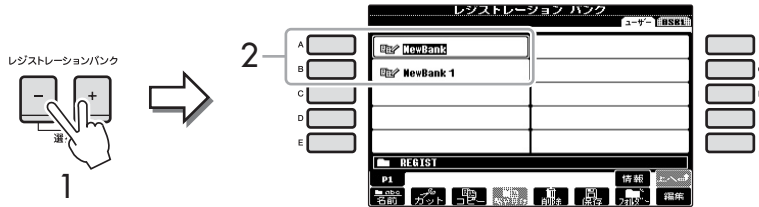
### NOTE

レジストレーションメモリーのバンクは、CVP-609/605/601で互換性があります。ただし、それぞれの機器の仕様などにより、完全な互換性が実現できない場合があります。

## 登録したパネル設定を呼び出す

ファイルとして保存したレジストレーションメモリーは、レジストレーションバンク[-]/[+]ボタンで順に呼び出したり、以下の方法で呼び出したりできます。

- 1 レジストレーションバンク[-]/[+]ボタンを同時に押して、バンク選択画面を表示させます。



- 2 [A]～[J]ボタンで、バンクを選びます。  
[データダイアル]と[エンター]ボタンで選ぶこともできます。
- 3 レジストレーションメモリー [1]～[8]ボタンのうち、緑色に点灯しているボタンの中から1つを選んで押します。

### NOTE

現在選ばれているバンクの内容を確認したいときは、[ダイレクトアクセス]ボタンを押したあと、レジストレーションメモリー [1]～[8]ボタンのいずれかを押しすと、すぐにレジストインフォメーション画面が表示されます。

### NOTE

USBフラッシュメモリーのソング/スタイル/オーディオを登録してある場合は、登録したデータが入っているUSBフラッシュメモリーを[USB TO DEVICE]端子に差してから呼び出してください。

もっと進んだ使いかた

詳しくはインターネット上の「機能詳細編 もっと楽しむCVP」8章をご覧ください。



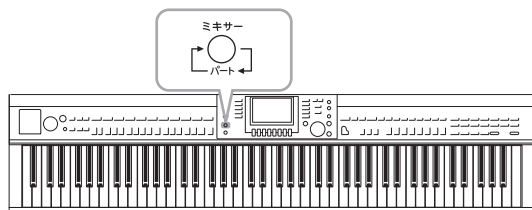
レジストレーションを削除したり、名前を変更する      バンク選択画面 → [A]～[J] → [8▼](EDIT)

レジストレーションメモリーに登録された内容を確認する      バンク選択画面 → [A]～[J] → [7▲](情報)

特定の項目を呼び出さないようにする      [ファンクション] → [E] REGIST SEQUENCE/FREEZE/VOICE SET → タブ切替[◀][▶] FREEZE

レジストレーションメモリーを呼び出す順番を指定する      [ファンクション] → [E] REGIST SEQUENCE/FREEZE/VOICE SET → タブ切替[◀][▶] REGISTRATION SEQUENCE

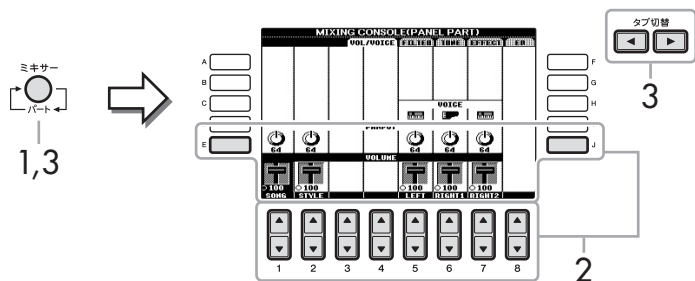
# 音量バランスや音色などを調節する(ミキサー)



ミキサーとは、複数の音声信号をまとめて、音声バランスやステレオ定位、エフェクトのかかり具合などを調節する装置です。クラブノヴァにはミキサーの機能が内蔵されているので、鍵盤パート間やソング/スタイルチャンネルごとの音量バランスや音色調節ができます。

## ミキサーの基本操作

- 1 [ミキサー]ボタンを押して、ミキサー画面を表示させます。  
パートごとの音量や音色の設定値が、スライダやつまみで表示されます。



- 2 [A]~[J]ボタンで設定したい項目の列を選び、[1▲▼]~[8▲▼]ボタンで設定値を変更します。

スライダやつまみ形状の項目は、[1▲▼]~[8▲▼]のボタン操作だけで数値を変更できますが、それ以外の項目の操作方法については、「機能詳細編 もっと楽しむCVP」をご覧ください。

- 3 [ミキサー]ボタンで対象パートを、タブ切替[◀][▶]ボタンで設定画面を切り替えて、好みの音色になるまで調節をくり返します。

設定値の変更方法は、手順2と同じです。

### ■ パートを切り替える

ミキサー画面はパート別に分かれています。パート名は、画面上部に表示されます。[ミキサー]ボタンを押すたびに切り替わりますので、以下を参考に選びます。

#### ● PANEL PART

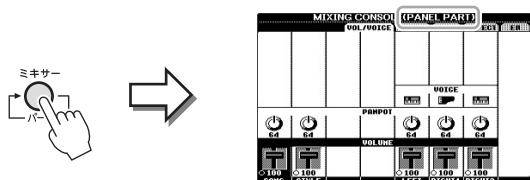
全パート(ソング、スタイル、右手1、右手2、左手)を調節したいとき。

#### ● STYLE PART

スタイルパートを調節したいとき。

#### ● SONG CH 1-8もしくはSONG CH 9-16

ソングチャンネルを調節したいとき。SONG CH 1-8とSONG CH 9-16は、どちらかが選ばれているとき、[A](PART)ボタンを押すことで切り替わります。



### NOTE

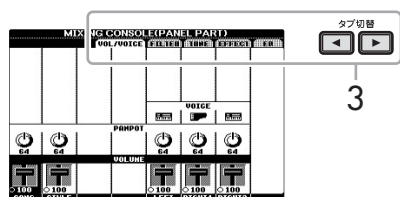
ミキサーには、さまざまな画面(次ページ)が用意されていますが、電源オン後、最初に[ミキサー]ボタンを押したときは、「VOL/VOICE」設定画面が呼び出されます。2回目以降に[ミキサー]ボタンを押したときは、最後に表示されていた設定画面が呼び出されます。

### NOTE

スタイルパートとソングチャンネルは、「チャンネル オン/オフ」ボタン(56、62ページ)を押して「スタイル」または「ソング」を表示させたときのチャンネルと同じです。

## ■ 設定画面を切り替える

タブ切替[◀][▶]ボタンで、設定画面を選びます。各設定画面の設定項目については、「機能詳細編 もっと楽しむCVP」をご覧ください。



### **VOL/VOICE (ボリューム/ボイス)**

各パートのボイスを変更したり、パン(ステレオ定位)や音量バランスを調節したりします。

### **FILTER (フィルター)**

音のハーモニックコンテンツ(レゾナンス効果)や明るさを調節します。

### **TUNE (チューン)**

チューニングやトランスポーズ(移調)など、音の高さに関する設定をします。

### **EFFECT (エフェクト)**

各パートにかけるエフェクトの種類を選び、エフェクトをかける深さを設定します(88ページ)。

### **EQ (イコライザー)**

イコライザーの設定値を編集して、音質や音色を補正します。

## 4 設定を保存します。

### ■ PANEL PART (パネルパート)の保存

レジストレーションメモリーに登録します(83ページ)。

### ■ STYLE PART (スタイルパート)の保存

スタイルデータとして保存します。

1 設定画面を表示させます:

[ファンクション] → [F] DIGITAL REC MENU → [B] STYLE CREATOR

2 [戻る]ボタンを押して、「RECORD」画面を閉じます。

3 [I] (SAVE)ボタンを押して、保存の作業をする画面(スタイル選択画面)を表示させます。スタイル選択画面で保存します(67ページ)。

### ■ SONG CH 1-8 / 9-16 (ソングチャンネル1~8 / 9~16)の保存

ソングデータの一部として記憶(セットアップ)させてから、ソングを保存します。

1 設定画面を表示させます:

[ファンクション] → [F] DIGITAL REC MENU → [A] SONG CREATOR

2 タブ切替[◀][▶]ボタンで「CHANNEL」を選びます。

3 [A]/[B]ボタンで「SETUP」を選びます。

4 [D] (EXECUTE)ボタンを押して、セットアップを実行します。

5 [I] (SAVE)ボタンを押して、保存の作業をする画面(ソング選択画面)を表示させます。ソング選択画面で保存します(67ページ)。

### **NOTE**

設定したい項目に対応する[A]~[J]ボタンを押しながら[1▲▼]~[8▲▼]ボタンを押す(または[データダイアル]を回すと、すべてのパートの設定値が同じ値になります)。

もっと進んだ使いかた

詳しくはインターネット上の「機能詳細編 もっと楽しむCVP」  
9章をご覧ください。

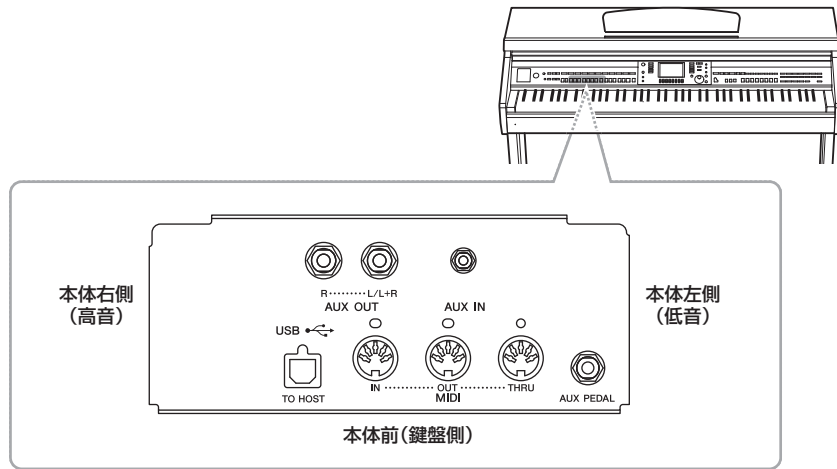


パン/ボリュームを調整する	[ミキサー] → タブ切替[◀][▶] VOL/VOICE
ボイスを変更する	[ミキサー] → タブ切替[◀][▶] VOL/VOICE → [C]/[H] → [1▲▼]~[8▲▼] → ボイスボタン → [A]~[J]
音のひずみや明るさを変える	[ミキサー] → タブ切替[◀][▶] FILTER
移調やチューニングに関する設定を変える	[ミキサー] → タブ切替[◀][▶] TUNE
エフェクトを設定する	[ミキサー] → タブ切替[◀][▶] EFFECT
イコライザーを設定する	[ミキサー] → タブ切替[◀][▶] EQ

9

音量バランスや音色などを調節する（ミキサー）

# 他の機器と接続して演奏する



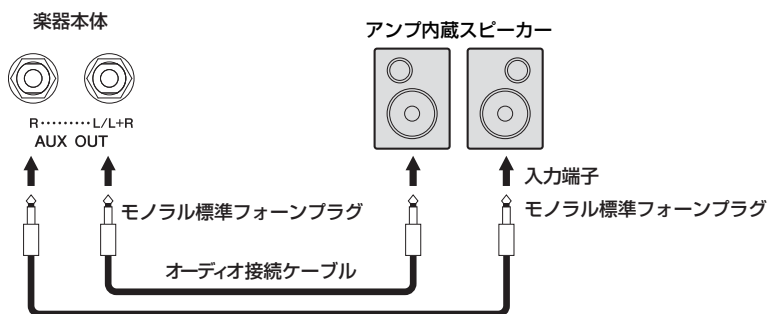
## ⚠ 注意

外部機器と接続するときは、すべての機器の電源を切ったうえで行なってください。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小(0)にしてください。感電、聴力障害または機器の損傷のおそれがあります。

## 外部オーディオ機器と接続する

### 楽器の音を外部スピーカーから鳴らす

[AUX OUT]端子を使って楽器をアンプ内蔵スピーカーと接続すると、より大きな音で迫力ある演奏を楽しめます。



## NOTE

オーディオ接続ケーブルおよび変換プラグは、抵抗のないものをお使いください。

## NOTE

モノ出力の場合(スピーカーを1台だけ使う場合には、[L/L+R]端子をご使用ください。

## 注記

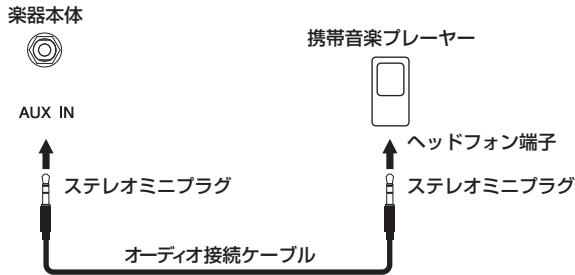
外部機器の損傷を防ぐため、最初に楽器本体、次に外部機器の順に電源を入れてください。電源を切るときは、最初に外部機器、次に楽器本体の順に行なってください。オートパワーオフ機能(16ページ)により、自動的に電源が切れることがあります。外部機器を接続した状態で、一定時間本体を操作しない場合は、この手順に従って手で電源を切るか、オートパワーオフを解除してください。オートパワーオフ機能により自動的に電源が切れた場合は、外部機器の電源をオフしてから、改めて楽器 → 外部機器の順に電源を入れてください。

## 注記

[AUX OUT] 端子から出力した音を、[AUX IN]に戻さないでください([AUX OUT]から外部オーディオ機器に接続した場合、その機器からふたたび楽器本体の[AUX IN]に接続しないでください)。楽器本体の[AUX IN]から入力された音はそのまま[AUX OUT]から出力されますので、オーディオ系の発振が起こり、正常な再生がなされないばかりでなく、両機器の故障の原因になります。

## 楽器本体のスピーカーから外部機器の音を出す

外部機器を楽器本体に接続して、外部機器の音を楽器本体のスピーカーから出すことができます。携帯音楽プレーヤーなどの音声出力端子([LINE OUT]端子など)を、オーディオ接続ケーブル(ステレオミニプラグ)で、楽器の[AUX IN]端子に接続します。



### 注記

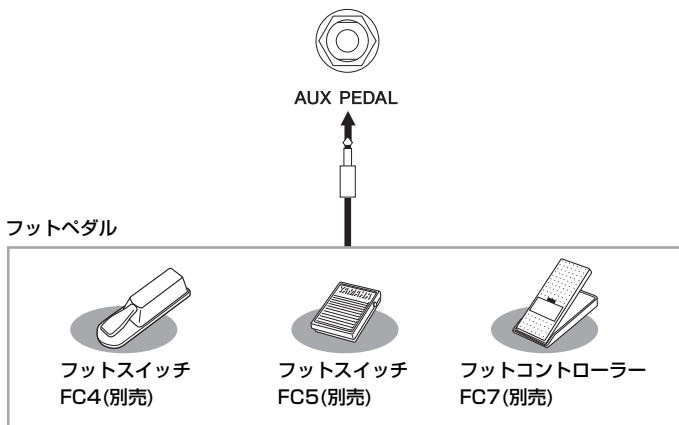
外部機器の損傷を防ぐため、最初に外部機器、次に楽器本体の順に電源を入れてください。電源を切るときは、最初に楽器本体、次に外部機器の順に行なってください。

### NOTE

[AUX IN]からの入力音は、楽器の[音量]ダイヤルで音量調節できます。

## フットスイッチやフットコントローラーを接続する

[AUX PEDAL]端子に別売のフットスイッチ(FC4またはFC5)やフットコントローラー FC7を接続すると、足を使ってさまざまな機能をコントロールできます。機能のオン/オフを切り替えるときにはフットスイッチを、ボリュームなどの連続した値をコントロールするときにはフットコントローラーをお使いください。



### NOTE

フットスイッチやフットコントローラーの抜き差しは、電源を切った状態で行ってください。

- <例1> フットコントローラーで手弾き音のボリュームをコントロールする  
フットコントローラー FC7を[AUX PEDAL]端子に接続します。工場出荷状態では、特別な設定は必要ありません。
- <例2> フットスイッチでソング再生をコントロールする  
フットスイッチFC4またはFC5を[AUX PEDAL]端子に接続します。  
[ファンクション] → [D] CONTROLLER → タブ切替[◀][▶] PEDAL画面で[SONG PLAY/PAUSE]を選んで、AUXペダルにソング再生スタート/ストップの機能を割り当てます。

もっと進んだ使いかた

詳しくはインターネット上の「機能詳細編 もっと楽しむCVP」10章をご覧ください。



フットスイッチに割り当てる機能を設定する

[ファンクション] → [D] CONTROLLER → タブ切替 [◀][▶] PEDAL

## USBフラッシュメモリーを接続する

[USB TO DEVICE]端子にUSBフラッシュメモリーを接続すると、楽器上で設定した内容や制作したデータをUSBフラッシュメモリーに保存できます。

### USB TO DEVICE端子で使用上の注意

本機にはUSB TO DEVICE端子があります。USB TO DEVICE端子にUSB機器を接続する場合は、以下のことをお守りください。

#### NOTE

USB機器の取り扱いについては、お使いのUSB機器の取扱説明書もご参照ください。

#### ■ 使用できるUSB機器

- USBフラッシュメモリー
- USBハブ

動作確認済みUSB機器については、ご購入の前にインターネット上の下記URLをご確認ください。

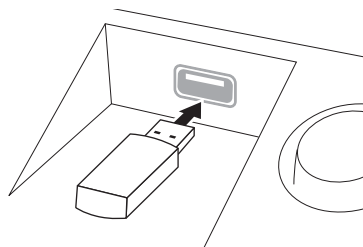
<http://jp.yamaha.com/products/musical-instruments/keyboards/support/>

#### NOTE

上記以外のUSB機器(マウス、コンピューターのキーボードなど)は、接続しても使えません。

#### ■ USB機器の接続

- USB TO DEVICE端子の形状に合うプラグを上下の向きに注意して差し込んでください。



#### 注記

- トップパネルのUSB TO DEVICE端子にUSB機器を接続している場合は、キーカバーを閉める前に外してください。USB機器を接続したままキーカバーを閉じると、USB機器がキーカバーに当たって破損するおそれがあります。
- USB機器の抜き差しは、本体の動作(再生/録音/保存など)を停止した状態で行ってください。またUSB機器へのデータのアクセス中でないことを確認してから行ってください。楽器本体の機能が停止したり、USB機器やデータが壊れたりするおそれがあります。
- USB機器の抜き差しは、数秒間隔を空けて行ってください。

#### NOTE

- 1つのUSB TO DEVICE端子に2台以上のUSB機器を同時に接続したい場合は、USBハブを使います。電源付き(セルフパワー)のUSBハブを、電源を入れてご使用ください。USBハブは1台のみ使用可能です。USBハブの使用中にエラーメッセージが出た場合は、本機からUSBハブを抜き、本機の電源を入れ直した上で、再度USBハブを接続してください。
- USBケーブルで接続する場合、3メートル未満のケーブルをご使用ください。
- 本機はUSB1.1に対応していますが、USB2.0の機器でも使用できます。ただし転送スピードはUSB1.1相当になりますので、ご了承ください。

### USBフラッシュメモリーの取り扱いについて

本機にUSBフラッシュメモリーを接続すると、楽器本体で制作したデータをUSBフラッシュメモリーに保存したり、USBフラッシュメモリーのデータを楽器本体で再生したりできます。

#### ■ 接続できるUSBフラッシュメモリーの数

同時に使用できるUSBフラッシュメモリーは、2台までです。(USBハブを使用した場合でも、同時に使用できるUSBフラッシュメモリーは2台までです。)

#### ■ USBフラッシュメモリーのフォーマット

USBフラッシュメモリーは本機でフォーマット(92ページ)することをおすすめします。他の機器でフォーマットしたUSBフラッシュメモリーは、本機では正しく動作しない場合があります。

#### 注記

フォーマットを実行すると、そのUSBフラッシュメモリーの中身は消去されます。必要なデータが入っていないのを確認してからフォーマットしてください。特に複数のUSBフラッシュメモリーを接続しているときは、ご注意ください。

#### ■ 誤消去防止

USBフラッシュメモリーには、誤ってデータを消してしまわないようライトプロテクト機能のついたものがあります。大切なデータが入っている場合は、ライトプロテクトで書き込みができないようにしましょう。逆にデータを保存する場合は、ご使用前にお使いのUSBフラッシュメモリーのライトプロテクトが解除されていることをご確認ください。

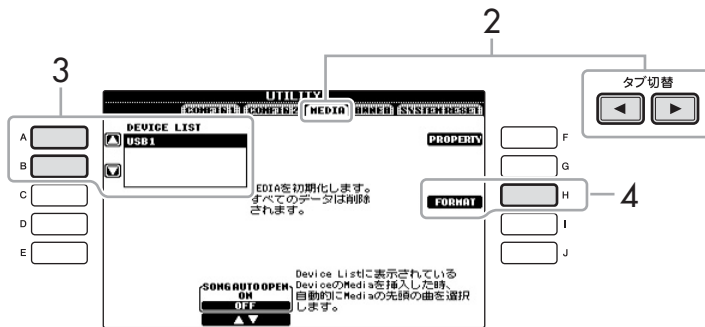
#### ■ USBフラッシュメモリー接続時に電源を切るには

電源を切る場合は、本体の動作(再生/録音/保存/マウントなど)によるUSBフラッシュメモリーへのアクセス中でないことを確認してください。USBフラッシュメモリーやデータが壊れたりするおそれがあります。

## USBフラッシュメモリのフォーマット(初期化)

[USB TO DEVICE]端子にUSBフラッシュメモリーを差したときに、USBフラッシュメモリーをフォーマット(初期化)するように促すメッセージが表示されることがあります。その場合は、フォーマットを実行してください。

- 1 フォーマットするUSBフラッシュメモリーを楽器の[USB TO DEVICE]端子に差し込みます。
- 2 設定画面を表示させます:  
[ファンクション] → [J] UTILITY → タブ切替[◀][▶] MEDIA



- 3 [A]または[B]ボタンを押して、手順1で差し込んだUSBフラッシュメモリーに対応したデバイスを選びます。  
接続しているUSBフラッシュメモリーの数によって、接続した順にUSB1、USB2などと表示されます。
- 4 [H](FORMAT)ボタンを押して、フォーマットします。

### USBフラッシュメモリーの容量を確認する

手順4で[F](PROPERTY)ボタンを押すと、USBフラッシュメモリーの空き容量が確認できます。

### 注記

フォーマットを実行すると、そのUSBフラッシュメモリーの中身は消去されます。必要なデータが入っていないのを確認してからフォーマットしてください。特に複数のUSBフラッシュメモリーを接続しているときは、ご注意ください。

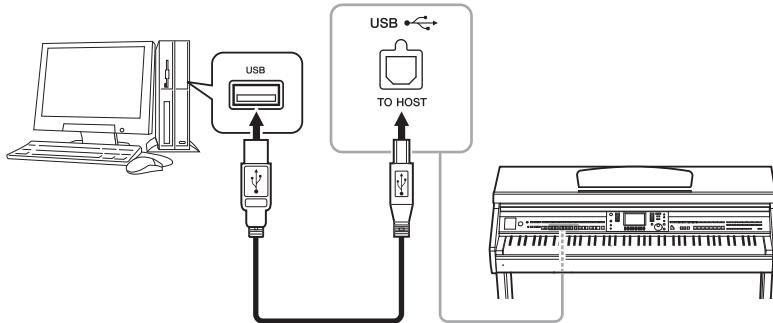
## コンピューターと接続する

USBケーブルを使って楽器の[USB TO HOST]端子とコンピューターを接続すると、コンピューターとデータをやり取りしたり、コンピューター用の音楽ソフトを楽しんだりできます。

コンピューターとの接続方法など、詳しくはマニュアルライブラリー上の「コンピューターとつなぐ」をご覧ください。インターネットに接続して以下のウェブサイトを開き、「モデル名から検索」テキストボックスにモデル名(「コンピューターとつなぐ」など)を入力して「検索」をクリックします。

ヤマハマニュアルライブラリー

<http://www.yamaha.co.jp/manual/>



### 注記

USBケーブルは、ABタイプのものでご使用ください。また、3メートル以下のケーブルをご使用ください。USB3.0ケーブルは、ご使用できません。

### NOTE

楽器本体は、USB接続後しばらくしてから通信を開始します。

楽器とコンピューターをUSBケーブルで接続する場合は、ハブを経由せず直接接続してください。

使用するコンピューターやシーケンソフトウェアでの必要なMIDI設定については、それぞれの取扱説明書をお読みください。

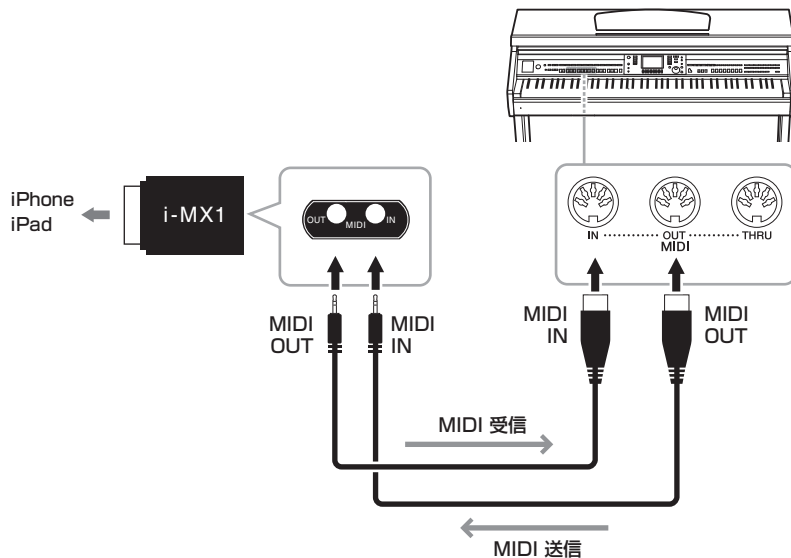
## iPhone/iPadと接続する

i-MX1(別売)を使って、楽器のMIDI端子とiPhoneやiPadなどのスマートデバイスを接続すると、iPhoneやiPadとMIDIデータの通信ができます。CVP-601に対応のアプリケーションを使って、楽器をもっと便利に使うことができます。

接続のしかたについては、マニュアルライブラリー上の「iPhone/iPad接続マニュアル」をご覧ください。

対応のスマートデバイスやアプリケーションについては、ウェブサイト上の下記ページでご確認ください。

<http://jp.yamaha.com/kbdapps/>



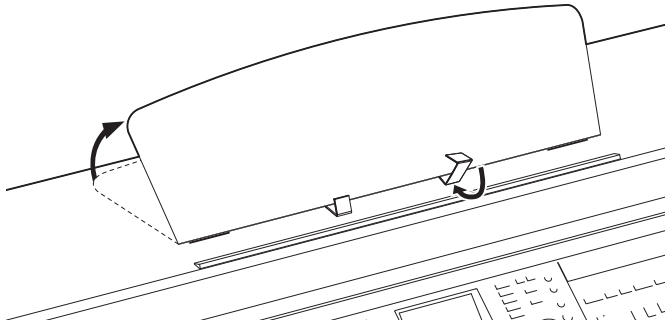
### 注記

iPhone/iPadのアプリケーションと一緒に使用する場合は、通信によるノイズを避けるためiPhone/iPadの機内モードをオンにしてお使いいただくことをおすすめします。

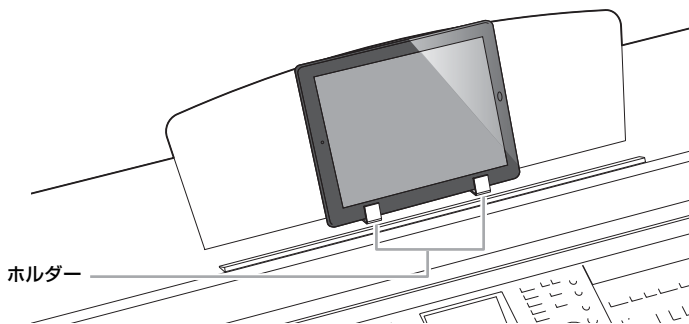
## iPadを譜面立てに取り付ける

iPadは付属のホルダー (98ページ)を使って譜面立てに取り付けられます。

- 1 譜面立てを倒した状態から少し手前に起こして、ホルダー2つを下から差し入れます。



- 2 譜面立ての裏にある左右2つの金具を下ろしたあと、譜面立てを戻します(17ページ参照)。
- 3 iPadを譜面立てに置きます。



### 注記

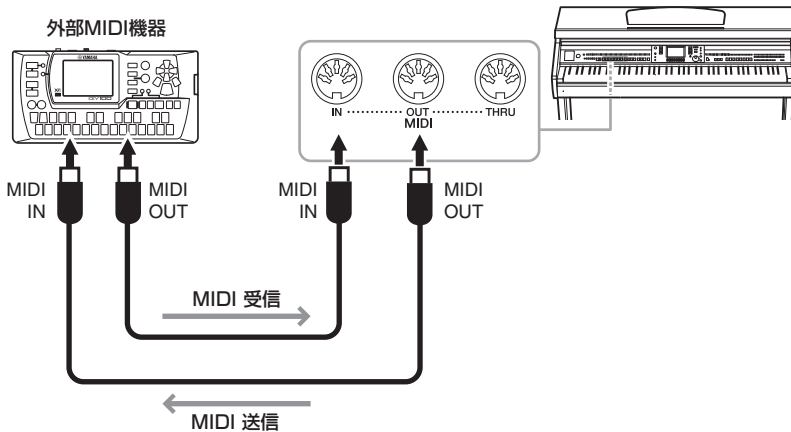
iPadの落下を防ぐために、以下のことにご注意ください。

- ホルダー使用中でも、楽器やiPadなどに強い衝撃を加えたり、傾けたりすると、iPadが落下するおそれがありますので、ご注意ください。
- 譜面立てがしっかり固定されていることを確認してください。
- 楽器を移動したり傾けたりする場合は、譜面立てからiPadを下ろしてから行ってください。
- 譜面立てに置いたiPadを横滑りさせたり、強く押す/強く連打するなど強い衝撃を加えないでください。
- iPadと他のもの(楽譜や2台目のiPadなど)を、一緒に譜面立てに置かないでください。iPadが落下するおそれがあります。
- iPadを不安定な場所に置かないでください。

## 外部MIDI機器と接続する

MIDI端子を使用して、外部MIDI機器(キーボード、シンセサイザー、シーケンサーなど)と接続できます。MIDIケーブルをご使用ください。

- **MIDI IN**..... MIDIデータを受信する端子です。
- **MIDI OUT** ..... MIDIデータを送信する端子です。
- **MIDI THRU** ..... MIDI INで受信したデータをそのまま出力する端子です。複数の機器にMIDIデータを供給する場合などに使います。



MIDIに関する楽器本体の設定(送信/受信チャンネルや、送受信するデータの内容など)については、「機能詳細編 もっと楽しむCVP」をご覧ください。

### MIDI入門

MIDIについての基礎知識を説明しています。ヤマハマニュアルライブラリーのウェブサイトからご覧いただけます。インターネットに接続して以下のウェブサイトを開き、「モデル名から検索」テキストボックスにモデル名(「MIDI入門」など)を入力して「検索」をクリックします。  
ヤマハマニュアルライブラリー  
<http://www.yamaha.co.jp/manual/>

もっと進んだ使いかた

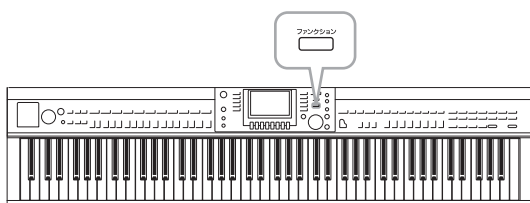
詳しくはインターネット上の「機能詳細編 もっと楽しむCVP」10章をご覧ください。



MIDIに関する設定

[ファンクション] → [MIDI] → [8▼] (編集)

# 楽器全体に関する設定(ユーティリティ)

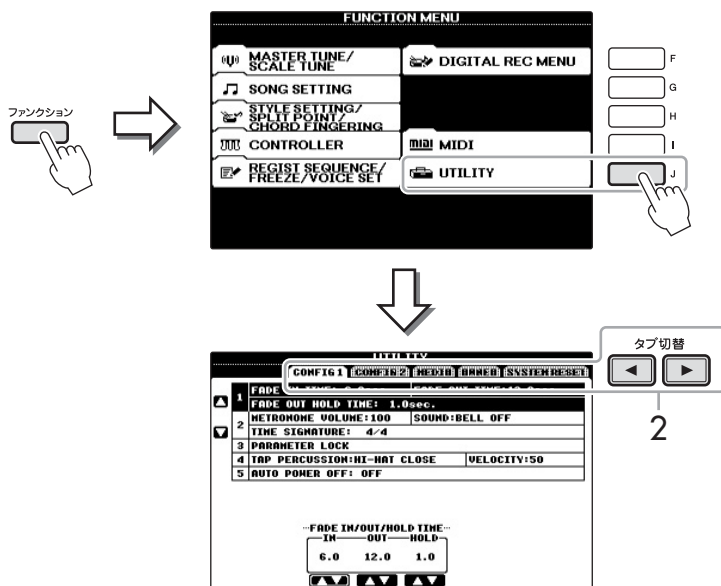


[ファンクション]ボタンの中には、さまざまな設定ができるUTILITY (ユーティリティ)メニューがあります。ここでは、楽器全体にかかわる設定や、特定の機能に関する詳細の設定など、いくつかの項目が含まれています。また、楽器の中にあるデータのバックアップや、USBフラッシュメモリーの容量確認も行なえます。

## 基本操作

### 1 設定画面を表示させます：

[ファンクション] → [J] UTILITY



### 2 タブ切替[◀][▶]ボタンで、設定したい項目のある画面を開きます。

ユーティリティメニューには、下記の6つの画面があります。

#### ■ CONFIG1

フェードイン/アウトの時間設定、メトロノーム音、タップテンポのタップ音の設定などがあります。

#### ■ CONFIG2

ヘッドフォン使用時のスピーカーオン/オフ、インテリジェント・アコースティック・コントロール、ポップアップ画面の表示時間などを設定します。

#### ■ MEDIA

USBフラッシュメモリーのフォーマット(92ページ)や、容量確認を行ないます。

#### ■ OWNER

所有者名を登録したり(19ページ)、画面に表示させる言語を選んだりします(18ページ)。また、データのバックアップもこの画面で行なえます(30ページ)。

#### ■ SYSTEM RESET

楽器を初期化します。

3 必要に応じて、[A]/[B]ボタンで、設定したい項目を選びます。

4 [1▲▼]～[8▲▼]ボタンで設定内容を変更したり、[A]～[J]ボタンで操作を実行したりします。

ユーティリティーの詳細い内容や操作方法については、「機能詳細編 もっと楽しむCVP」11章をご覧ください。

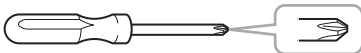
# 組み立て方

## 組み立て前の準備

### ⚠ 注意

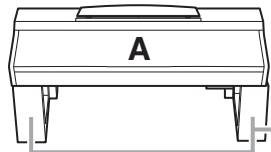
- 組み立ては、硬くて平らな場所で行なってください。
- 部品をまちがえたり、向きをまちがえないように注意して、手順どおりに組み立ててください。
- 組み立ては、必ず2人以上で行なってください。
- ネジは付属の指定サイズ以外のものは使用しないでください。サイズの違うネジを使用すると、製品の破損や故障の原因になることがあります。
- ネジは各ユニット固定後、ゆるみがないようきつく締め直してください。
- 解体するときは、組み立てと逆の手順で行なってください。

ネジのサイズに合ったプラス(+ )のドライバーを用意してください。



スチロールパッドを取り出し、その上にAを置きます。スチロールパッドは、A底面のコネクタを避けて配置します。すべての部品を取り出し、部品がそろっているかを確認してください。

### 本体



スチロールパッド

### 背面板

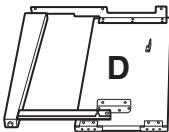


### ペダルボックス

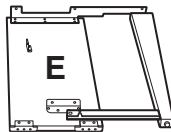
裏側にペダルコードが束ねてあります。



### 左側板



### 右側板



### ネジセット



長いネジ(6×20mm):4本



先のとがったネジ(4×20mm):4本



短いネジ(6×16mm):6本



細いネジ(4×12mm):2本



コードホルダー:2個



電源コード

### ヘッドフォンハンガーセット



ヘッドフォンハンガー



細いネジ(4×10mm):2本

### ホルダーセット

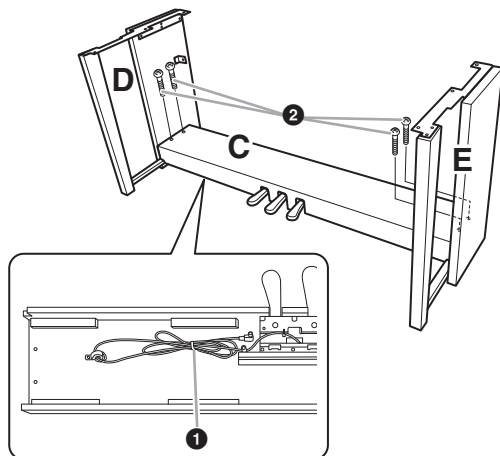
ホルダーセットの使用方法については、94ページをご覧ください。



## 組み立て方

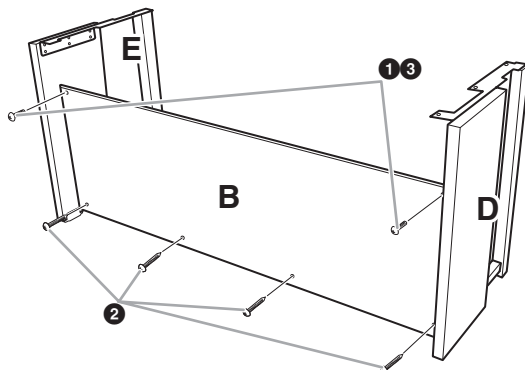
### 1 DとEをCに固定する。

- ① ペダルコードをほどく。  
外したビニールひもは、手順5で使用する。
- ② 長いネジ(6×20mm)4本できつく締め固定する。



### 2 Bを固定する。

- ① Bのネジ穴とD、Eのネジ穴の位置を合わせ、上側を細いネジ(4×12mm)2本で仮留めする。
- ② 下側を先のとがったネジ(4×20mm)4本で締め固定する。
- ③ 仮留めした上側のネジ(手順2-①)をきつく締め直す。



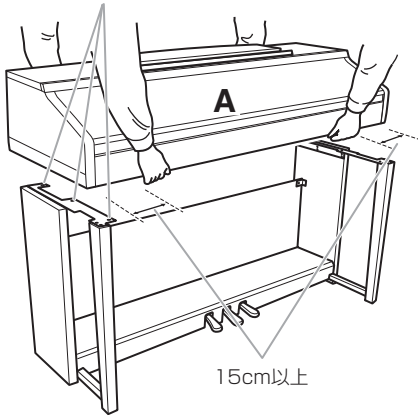
### 3 Aを載せる。

#### ⚠ 注意

- 指をはさんだり、本体を落としたりしないよう十分ご注意ください。
- 指定した位置以外を持たないでください。

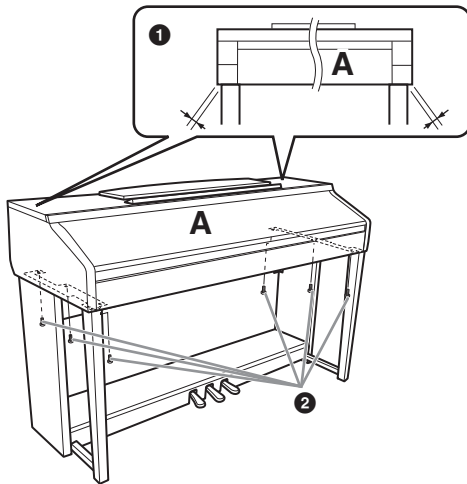
必ず本体底面の端から15cm以上内側を持って載せる。

ネジ穴の位置を合わせる



### 4 Aを固定する。

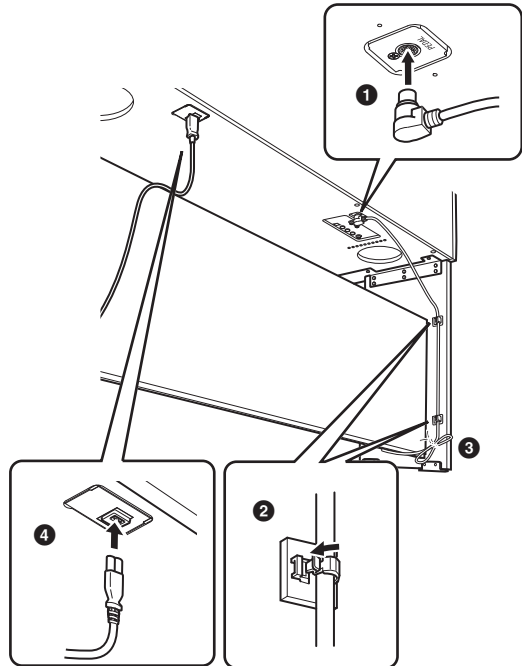
- 1 前面から見て、Aの張り出し部分が左右均等になるように調整する。
- 2 前面から、短いネジ(6×16mm)6本で固定する。



### 5 ペダルコードと電源コードを接続する。

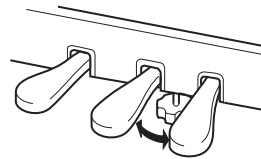
- 1 ペダルコードのプラグをペダル端子に差し込む。
- 2 コードホルダーを貼り付け、ペダルコードを固定する。
- 3 ペダルコードを、ビニールひもでも束ねる。
- 4 電源コードのプラグを差し込む。

プラグの金具部分が見えなくなるまでしっかり差し込んでください。しっかり差し込まれていない場合、ペダルが機能しない原因になります。



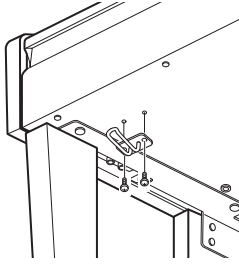
### 6 アジャスターを回して調節する。

アジャスターを回して、床にぴったりつける。



## 7 ヘッドフォンハンガーを固定する。

付属のネジ(4×10mm)2本で、図のように取り付ける。



組み立て後、必ず以下の点をチェックしてください。

- 部品が余っていませんか？  
→ 組み立て手順を再確認してください。
- 部屋のドアなどがクラビノーバにあたりませんか？  
→ クラビノーバを移動してください。
- クラビノーバがぐらぐらしませんか？  
→ ネジを確実に締めてください。
- ペダルを踏むと、ペダルボックスがガタガタしませんか？  
→ アジャスターを回して床にぴったりつけてください。
- ペダルコード、電源コードのプラグが、確実に本体に差し込まれていますか？

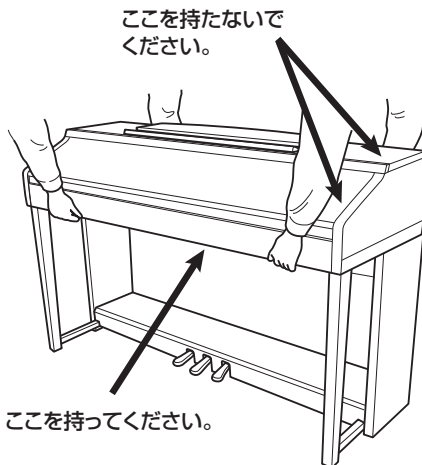
使用中に本体がきしむ、横ゆれする、ぐらぐらするなどの症状がでたら、組み立て図に従って各部のネジを締め直してください。

12

付録

組み立て後、楽器を移動するときは、必ず本体(A)の底面を持ってください。

**⚠ 注意**  
天板やキーカバーを持たないでください。本体が破損したり、お客様がけがをしったりする原因になります。



# 困ったときは

全般	
電源スイッチをオンまたはオフにしたとき、「カチッ」と音がする。	電気が流れたためです。異常ではありません。
電源が勝手に切れる。	故障ではありません。オートパワーオフ機能が働いたためです。オートパワーオフの設定を変更してください(16ページ)。
クラビノーバから雑音が出る。	クラビノーバの近くで携帯電話を使ったり、呼び出し音が鳴ったりすると、雑音が出る場合があります。クラビノーバの近くでは携帯電話の電源を切ってください。
iPhone/iPad のアプリケーションと楽器を一緒に使っているとき、本体スピーカーやヘッドフォンから雑音(ノイズ)が出る。	iPhone/iPadのアプリケーションと一緒に使用する場合は、通信によるノイズを避けるため、iPhone/iPadの機内モードをオンしてお使いいただくことをおすすめします。
鍵盤を弾くと、機構音がカタカタ鳴る。	クラビノーバの鍵盤機構が、ピアノの鍵盤機構をシミュレートして設計されているためです。ピアノの場合でも機構音は実際に出ています。異常ではありません。
鍵盤で弾く音にわずかな音質の違いがある。	楽器のサンプリングシステムによります。異常ではありません。
ループして(繰り返し)鳴る音がある。	
ボイスによっては、高音になるほど雑音やビブラートが付いてしまう。	
全体的に音が小さい。まったく音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体ボリュームが下がっています。[音量]ダイヤルでボリュームを上げてください。</li> <li>鍵盤パートが全パートオフになっています。鍵盤パート オン/オフ [右手1]/[右手2]/[左手]ボタンを押して、鍵盤パートをオンにします。</li> <li>各パートの音量が下がっています。音量バランス画面で各パートの音量を上げてください(57ページ)。</li> <li>鳴らしたいチャンネルがOFFになっています。OFFになっているチャンネルをONにしてください(56、62ページ)。</li> <li>ヘッドフォンが接続されています。ヘッドフォンのプラグを抜いてください。</li> <li>スピーカーがOFFになっています。スピーカーをONにしてください(96ページ)。詳しくはインターネット上の「機能詳細編もっと楽しむCVP」をご覧ください。</li> </ul>
音がひずんだり、雑音が混じっている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボリュームが上がり過ぎています。ボリュームを下げてください。</li> <li>エフェクトやフィルターの設定に起因して音がひずんだり雑音が混じったりすることがあります。エフェクトやフィルターの設定を確認してください。詳しくはインターネット上の「機能詳細編 もっと楽しむCVP」をご覧ください。</li> </ul>
押さえた鍵盤の数だけ音が出ない。	最大同時発音数(107ページ)を超えています。最大同時発音数を超えた場合は、前の音を消してあとの音を優先的に鳴らすしくみになっています。
鍵盤で弾く音が、ソングやスタイルの再生音に比べて小さい。	鍵盤パートの音量が下がっています。音量バランス画面で鍵盤パート「右手1」「右手2」「左手」の音量を上げたり、「スタイル」「ソング」の音量を下げたりして調節してください(57ページ)。
電源を入れてからメイン画面が表示されるまでに時間がかかる。	USBフラッシュメモリーが接続されていると、装置によっては、電源を入れてからメイン画面が表示されるまでに時間がかかることがあります。USBフラッシュメモリーを外してから電源を入れてください。
ファイル/フォルダー名が文字化けする。	言語設定を切り替えたためです。ファイル/フォルダー名に適した言語に切り替えてください(18ページ)。
ファイルが楽器本体に表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ファイルの拡張子(MIDなど)が変更/削除されています。コンピューターで、ファイルの拡張子を付け直してください。</li> <li>ファイル名が半角で50文字(拡張子を含む)を超えるデータは、この楽器で扱えません。ファイル名を半角50文字以下にしてください。</li> </ul>

ボイス	
ボイスを選んでから鍵盤を弾いても、ボイスが変わらない。	ボイスを選んだパートと弾いている鍵盤パートが違っていません。選んだパートがオンになっているか、鍵盤パート オン/オフ[右手1]~[左手]ボタンで確認してください。鍵盤パートについては、40ページをご覧ください。
変に音が重なって聞こえる。鍵盤を押すたびに、わずかに音が異なって聞こえる。	右手1と右手2パートがオンで、両パートに同じボイスが選ばれています。右手2パートをオフにするか、ボイスを変更してください。
高音域や低音域で演奏すると、ピッチがオクターブ単位でジャンプしてしまうボイスがある。	ピッチの限界に達するとピッチがシフトするボイスもあります。異常ではありません。

スタイル	
スタイル [スタート/ストップ] ボタンを押してもスタイルが始まらない。	リズムパートが入っていないスタイルです。[スタイル オン/オフ]ボタンをオンにして左手鍵盤を弾くと、スタイル(自動伴奏)が再生します。
スタイルがリズムしか再生されない(自動で伴奏が鳴らない)。	<ul style="list-style-type: none"> <li>スタイルがオンになっていません。[スタイル オン/オフ]ボタンを押して、スタイルをオンにしてください。</li> <li>スプリットポイントの右側の鍵盤を弾いています。スプリットポイントの左側のコード鍵盤を弾いてください。</li> </ul>
USB フラッシュメモリ内のスタイルを選択できない。	スタイルデータの容量が大きい(約120KB以上)と、楽器本体に読み込めず、選択できないことがあります。

ソング	
ソングを選択できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>言語設定を切り替えたためです。ファイル名に適した言語に切り替えてください(18ページ)</li> <li>ソングデータの容量が大きい(約300KB以上)と、楽器本体に読み込めず、選曲できないことがあります。</li> </ul>
ソングを再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ソングが終わった位置で停止しています。ソングコントロール[ストップ]ボタンを押してソングの再生位置を先頭に戻してから、再生してください。</li> <li>プロテクトがかかったソング(ソング名の左上に「Prot. 2 Edit」と表示)の場合、編集元のファイルが同じフォルダーにありません。編集元のファイル(ソング名の左上に「Prot. 2 Orig」と表示)が同じフォルダーにないと再生できません。</li> <li>プロテクトがかかったソング(ソング名の左上に「Prot. 2 Edit」と表示)の場合、編集元のファイルの名前が変わっています。編集元のファイル(ソング名の左上に「Prot. 2 Orig」と表示)を元の名前に戻してください。</li> <li>プロテクトがかかったソング(ソング名の左上に「Prot. 2 Edit」と表示)の場合、編集元のファイルのアイコンが変更されています。プロテクトがかかったソングの場合、編集元のファイルのアイコンが変更されると再生できなくなります。</li> </ul>
ソングの再生が途中で止まる。	ガイド機能がオンになっています(正しい鍵盤が弾かれるのを待っている状態です)。[ガイド]ボタンを押して、ガイド機能をオフにしてください。
[巻き戻し]/[早送り] ボタンを押して表示させる「ソングポジション」画面で、小節番号が楽譜と異なる。	(ソングのテンポに関係なく)一定のテンポが設定されているミュージックデータを再生しているためです。
ソングの再生時、再生されないチャンネルがある。	そのチャンネルが再生OFFになっています。OFFになっているチャンネルを再生ONにしてください(62ページ)。
[ガイド] ボタンを押してソングを再生しても、ガイドランプが光らない。	クラビノーバの鍵盤(88鍵)より高い/低い音は、ガイドランプが光りません。
ガイドランプが、1~2オクターブ異なる鍵盤で光る。	選ばれているボイスによって、ガイドランプが、1~2オクターブ異なる鍵盤で光ることがあります。
テンポ、ビート、小節数、譜面が正しく表示されない。	ソングのテンポに関係なく一定のテンポが設定されているミュージックデータを再生した場合は、テンポ、ビート、小節数、譜面が正しく表示されません。

USB オーディオ機能	
「ドライブはビジー状態です」というメッセージが表示され、録音が中断された。	<ul style="list-style-type: none"> <li>動作確認済みのUSBフラッシュメモリーをお使いください(91ページ)。</li> <li>USBフラッシュメモリーの空き容量が十分かどうかご確認ください(92ページ)。</li> <li>録音や削除を繰り返し行なったUSBフラッシュメモリーをお使いの場合は、必要なデータが入っていないのを確認してからフォーマットし(92ページ)、録音し直してください。</li> </ul>
オーディオファイルが選択できない。	楽器が対応していないファイル形式です。この楽器ではWAVファイルが再生できます。(DRMファイルは再生できません。)
録音したファイルが、録音時の異なる音量で再生される。	オーディオ再生のボリュームが変更されています。ボリュームを100に設定すると、録音時と同じ音量で再生できます(75ページ)。

ミキサー	
ミキサーでスタイルやソングのリズムボイス(ドラムキットなど)を変更したら、サウンドがおかしくなった。	スタイルやソングのリズムボイス(ドラムキットなど)を変更すると、ドラムボイスに関する細かい設定がリセットされてしまい、もう一度元のリズムボイスに戻しても元どおりのサウンドに戻らない場合があります。ソングの場合は、ソングを先頭に戻す、スタイルの場合はスタイルを選び直すと元の音に戻ります。

ペダル / AUX PEDAL	
ペダルのダンパー機能、ソステヌート機能、ソフト機能が効かない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペダルコードのプラグが本体に差し込まれていません。ペダルコードのプラグを本体に確実に差し込んでください(99ページ)。</li> <li>ペダルに別の機能が割り当てられています。それぞれのペダルに「SUSTAIN」「SOSTENUTO」「SOFT」を割り当ててください(34ページ)。</li> </ul>
AUX PEDAL 端子に接続したフットスイッチの、オンとオフが逆になる	電源を切り、フットスイッチから足を離れた状態で電源を入れ直してください。

AUX IN 端子	
AUX IN 端子から入力した音が途切れる。	AUX IN端子に接続した外部機器の音量(出力レベル)が小さいためです。AUX INに接続した機器側の音量(出力レベル)を上げてください。楽器本体から出す音量の調節は、[音量]ダイヤルで行なってください。

# パネルボタンチャート

No..... 12ページ「各部の名称」の番号と一致しています。ボタンの位置を知りたい場合にご活用ください。

操作子..... パネル上の、ボタン、ダイヤル、端子などのことです。

画面..... ボタンを押したときに表示される画面を表します。

機能詳細編 もっと楽しむCVP..... この欄に「●」が付いている画面については、インターネット上の「機能詳細編 もっと楽しむCVP」で詳しく説明しています。

No.	操作子	画面	ページ	機能詳細編 もっと楽しむ CVP	
①	[USB TO DEVICE]端子	—	91	—	
②	[音量]ダイヤル	—	15	—	
③	電源	オープニング画面	14	—	
④	[デモ]	デモ画面	20	—	
⑤	[メトロノーム オン/オフ]	—	35	—	
⑥	トランスポーズ [-]/[+]	トランスポーズ (ポップアップ)	42	—	
⑦	タップ	—	53	—	
	テンポ[-]/[+]	テンポ (ポップアップ)	53	—	
⑧	スタイル	[ポップ&ロック]~[ピアニスト]	スタイル選択画面	48	—
		[スタイル オン/オフ]	—	49	—
		[フィルイン オン/オフ]	—	53	—
		イントロ [I]~[III]	—	52	—
		メイン[A]~[D]	—	53	—
		[ブレイク]	—	53	—
		エンディング/rit. [I]~[III]	—	52	—
		[シンクロストップ]	—	52	—
		[シンクロスタート]	—	52	—
		[スタート/ストップ]	—	52	—
⑨	[ミュージックファインダー]	MUSIC FINDER 画面	ALL	80	—
			FAVORITE	82	●
			SEARCH 1	81	—
			SEARCH 2	81	—
⑩	[画面コントラスト]つまみ	—	18	—	
⑪	[ミキサー]	MIXING CONSOLE画面	VOL/VOICE	87	●
			FILTER	87	●
			TUNE	87	●
			EFFECT	87	●
			EQ	87	●
⑫	[チャンネル オン/オフ]	チャンネル ON/OFF (ポップアップ)	ソング	62	—
			スタイル	57	—

No.	操作子	画面	ページ	機能詳細編 もっと楽しむ CVP	
13	タブ切替[◀][▶]	—	22	—	
	[A]~[J]	—	21	—	
	[ダイレクトアクセス]	(メッセージ)	24	—	
	[戻る]	—	23	—	
	[1▲▼]~[8▲▼]	—	22	—	
	[データダイアル]	—	23	—	
	[エンター]	—	23	—	
14	[USB]	USB画面	27	—	
15	[ファンクション]	MASTER TUNE/ SCALE TUNE	MASTER TUNE	47	●
			SCALE TUNE	47	●
		SONG SETTING		64	●
		STYLE SETTING/ SPLIT POINT/ CHORD	STYLE SETTING	57	●
			SPLIT POINT	57	●
		FINGERING	CHORD FINGERING	51、57	●
		CONTROLLER	PEDAL	90	●
			KEYBOARD/PANEL	46、47	●
		REGIST SEQUENCE/ FREEZE/VOICE SET	REGISTRATION SEQUENCE	85	●
			FREEZE	47	●
			VOICE SET	85	●
		DIGITAL REC MENU	SONG CREATOR	64、 87	●
			STYLE CREATOR	57、87	●
MIDI	MIDIテンプレート選択 画面	95	●		
UTILITY	CONFIG 1	96	●		
	CONFIG 2	96	●		
	MEDIA	96	●		
	OWNER	18、 30、96	●		
	SYSTEM RESET	96	●		
16	鍵盤パート オン/オフ	[右手1]/[右手2]/[左手]	—	40	—
17	[オーディオ]	USB AUDIO PLAYER画面	73	—	

No.	操作子	画面	ページ	機能詳細編 もっと楽しむ CVP		
18	ソング コントロール	[ソング選択]	ソング選択画面	58	—	
		[録音]	チャンネル ON/OFF (ソング) (ポップアップ)	65	—	
		[ストップ]	—	59	—	
		[スタート/一時停止]	—	59	—	
		[巻き戻し]/[早送り]	ソングポジション(ポップアップ)	60	—	
		[その他トラック(スタイル)]	—	62	—	
		[トラック2(左手)]	—	62	—	
		[トラック1(右手)]	—	62	—	
		[譜面]	SCORE画面	61	●	
		[歌詞]	LYRICS画面	61	●	
		[ガイド]	—	62	●	
		[くり返し]	—	62	—	
19	[ピアノルーム]	PIANO ROOM画面	31	—		
20	レジスト レーション メモリー	レジストレーションバンク [-]/[+]	レジストレーションバンク(ポップアップ)	84	—	
		[メモリー]	REGISTRATION MEMORY CONTENTS画面	83	—	
		[1]~[8]	—	83	—	
21	ボイス	[ピアノ]~[ドラムキット]	ボイス選択画面	37	—	
		[オルガンフルート]	オルガンフルート VOICE SET画面	FOOTAGE	45	—
				VOLUME/ATTACK	46	●
				EFFECT/EQ	46	●
22	ワンタッチ セッティング (OTS)	[1]~[4]	—	54	●	
		[OTSリンク]	—	54	—	
23	[ボイスエフェクト]	VOICE EFFECT画面	43	●		

# 仕様

サイズ/質量	幅		1352mm
	高さ	譜面立てを倒した場合	918mm
		譜面立てを立てた場合	1065mm
	奥行き	譜面立てを倒した場合	595mm
		譜面立てを立てた場合	595mm
質量		58kg	
操作子	鍵盤	鍵盤数	88
		鍵盤種	グレードハンマー 3 (GH3)鍵盤
		タッチ感度	ハード2、ハード1、ミディアム、ソフト1、ソフト2
	ペダル	ペダル数	3
		ハーフペダル	○
		ペダル機能	ボリューム、サステイン、ソステヌート、ソフト、グライド、ソングスタート/一時停止、スタイルスタート/ストップ その他
	ディスプレイ	タイプ	モノクロ QVGA LCD4.6インチ
		サイズ	320×240ドット
		コントラスト	○
		譜面表示	○
		歌詞表示	○
	パネル	言語	6言語 (日・英・独・仏・西・伊)
	本体	鍵盤蓋	
譜面立て		○	
音源/音色	音源	音源方式	リアルグランドエクスプレッション(RGE)
		サステインサンプリング	○
		キーオフサンプリング	○
		ストリングレゾナンス	○
		スムーズリリース	○
		ダンパーレゾナンス	○
	発音数	最大同時発音数	128
	プリセット	音色数	387 + 22ドラム/SFXキット + 480 XGボイス + GM2 + GS (GSソング再生用)
搭載音色名		12スーパーアーティキュレーションボイス、9メガボイス、6ナチュラルボイス、12 スイートボイス、24クールボイス、25ライブボイス、10オルガンフルート	

音源 / 音色	カスタマイズ	ボイス編集	○	
	音源 フォーマット	XG	○	
		GS	○	
		GM	○	
		GM2	○	
		XF	○	
効果	タイプ	リバーブ	44プリセット + 3ユーザー	
		コーラス	71プリセット + 3ユーザー	
		モノ/ポリ	○	
		DSP	DSP 1: 295プリセット + 3ユーザー、 DSP 2~4: 130プリセット + 10ユーザー	
		マスターEQ	5プリセット + 2ユーザー	
		インテリジェント・アコースティック・コントロール (IAC)	○	
		パートEQ	27パート	
	鍵盤パート	デュアル(右手パート1、2)	○	
		スプリット (右手+左手パート)	○	
	伴奏スタイル	プリセット	プリセットスタイル数	257
プリセットスタイル			204プロスタイル、17セッションスタイル、 36ピアニストスタイル	
ファイルフォーマット			スタイルファイルフォーマットGE (ギターエディション)	
フィンガリング			シングルフィンガー、フィンガード、フィンガード オンベース、マルチフィンガー、AIフィンガード、 フルキーボード、AIフルキーボード	
スタイルコントロール			イントロ×3、メイン×4、フィル×4、ブレイク、 エンディング×3	
カスタマイズ		スタイルクリエイター	○	
その他特長		ミュージックファインダー (内蔵を含む最大レコード数)	1200	
		OTS (ワンタッチセッティング)	各スタイルに4種類	
		スタイルレコメンダー	○	
録音 / 再生 (MIDI ソング)		プリセット	内蔵曲数	49
	録音		トラック数	16
			データ容量	約300KB
			録音機能	○
	フォーマット	録音	SMF (Format 0)	
		再生	SMF (Format 0 & 1)、ESEQ、XF	
録音 / 再生 (オーディオソング)	録音時間(最長)		80分/曲	
	フォーマット	録音	.wav	
		再生	.wav	

ファンクション	レジストレーションメモリー	ボタン数	8
		コントロール	レジストシーケンス、フリーズ
	レッスン/ガイド	レッスン/ガイド	フォローライツ、エニーキー、カラオキー、ユアテンポ
		ガイドランプ	○
	レッスン/ガイド	パフォーマンスアシスタント	○
	デモ	デモ	○
	全体設定	メトロノーム	ベルオン/オフ、ヒューマンボイス(5言語)
		テンポ	5~500、タップ
		トランスポーズ	-12~0~+12
		チューニング	414.8~440~466.8 Hz
その他	スケール(音律)	9タイプ	
	ピアノルーム	○	
メモリー / 接続端子	メモリー	内蔵メモリー	約2.8MB
		外付けドライブ	USBフラッシュメモリー (市販)
	接続端子	ヘッドフォン	×2
		MIDI	IN/OUT/THRU
		AUX IN	ステレオミニ端子
		AUX OUT	L/L+R、R
		AUX PEDAL	○
		USB TO DEVICE	×1
USB TO HOST	○		
音響	アンプ出力	25W × 2	
	スピーカー	16cm × 2	
	アコースティック オプティマイザー	○	
定格電源	AC100V 50/60Hz		
消費電力	20W		
付属品	取扱説明書(本書)、データリスト、保証書、ユーザー登録のご案内、電源コード、ヘッドフォン、イス(高さ調節付き)、ホルダーセット		
別売品	ヘッドフォン	HPE-160	
	フットスイッチ	FC4、FC5	
	フットコントローラー	FC7	
	MIDIインターフェース	i-MX1	

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

## 数字

[1▲▼]~[8▲▼] ..... 22

## A

[A]~[J] ..... 21  
 ABリピート ..... 63  
 ABリピート(オーディオ再生) ..... 75  
 ADD TO FAVORITE ..... 82  
 AIフルキーボード ..... 51  
 ASSEMBLY ..... 57  
 AUX IN ..... 90  
 AUX OUT ..... 89  
 AUX PEDAL ..... 90

## B

BASIC ..... 57  
 BASS ..... 56

## C

CHANNEL ..... 57, 72  
 CHD1/2 ..... 56  
 CHORD ..... 72  
 CHORD FINGERING ..... 57  
 CONFIG1 ..... 96  
 CONFIG2 ..... 96  
 CONTROLLER ..... 90

## D

DIGITAL REC MENU ..... 72  
 DSP ..... 44  
 DSP VARIATION ..... 44

## E

EDIT ..... 57  
 EFFECT ..... 87  
 EFFECT/EQ ..... 47  
 EQ ..... 87

## F

FILTER ..... 87  
 FREEZE ..... 85

## G

GM ..... 7  
 GROOVE ..... 57  
 GS ..... 7  
 GUIDE MODE ..... 64

## H

HARMONY/ECHO ..... 44  
 Hz (ヘルツ) ..... 42

## I

i-MX1 ..... 93  
 iPhone/iPad ..... 93

iPhone/iPad接続マニュアル ..... 10

## L

LEFT HOLD ..... 44  
 LYRICS ..... 72

## M

MASTER TUNE ..... 47  
 MEDIA ..... 96  
 MIDI ..... 65, 93  
 MIDI (IN/OUT/THRU) ..... 95  
 MONO/POLY ..... 44

## O

ORGAN TYPE ..... 45  
 OTS ..... 54  
 OTS情報 ..... 57  
 OTSリンク ..... 54  
 OWNER ..... 96

## P

P.A.T. ..... 64  
 PAD ..... 56  
 PANEL PART ..... 86  
 PEDAL ..... 90  
 PHR1/2 ..... 56  
 Pianist ..... 50  
 PIANO ROOM ..... 31  
 Pro ..... 50

## R

REC MODE ..... 72  
 RECORD EDIT ..... 82  
 REGIST SEQUENCE ..... 85  
 REGISTRATION SEQUENCE ..... 85  
 RHY1/2 ..... 56  
 ROTARY SP SPEED ..... 45

## S

SAボイス ..... 41  
 SCALE TUNE ..... 47  
 Session ..... 50  
 SONG CH 1-8 ..... 86  
 SONG CH 9-16 ..... 86  
 SONG CREATOR ..... 72  
 SONG SETTING ..... 64  
 SPLIT POINT ..... 57  
 STEP REC ..... 57  
 STYLE PART ..... 86  
 STYLE SETTING ..... 57  
 SYS/EX ..... 72  
 SYSTEM RESET ..... 96

## T

TRANSPOSE ASSIGN ..... 47

TUNE .....	87
<b>U</b>	
USB TO DEVICE .....	91
USB TO HOST .....	93
USBオーディオ .....	73
USBフラッシュメモリー .....	91
UTILITY .....	96
<b>V</b>	
VIBRATO→オルガンフルート .....	45
VOICE SET .....	47
VOL/VOICE .....	87
VOLUME/ATTACK .....	47
<b>W</b>	
wav .....	73
<b>X</b>	
XF .....	7
XG .....	7
<b>イ</b>	
イコライザー .....	87, 88
一時停止(オーディオ再生) .....	74
一時停止(ソング再生) .....	59
移調→トランスポーズ .....	42
移動 .....	70
インテリジェント・アコースティック・コントロール (IAC) .....	96
イントロ .....	52
<b>エ</b>	
エフェクト .....	43, 87, 88
エンター .....	23
エンディング/rit. ....	52
<b>オ</b>	
オーディオ .....	73
オートパワーオフ .....	16
オーナーネーム .....	19
お手入れ .....	36
オルガン音色→オルガンフルート .....	45
オルガンフルート .....	45
音量→ボリューム .....	15
音量バランス .....	57, 86
音量→ボリューム(オーディオ再生) .....	75
<b>カ</b>	
ガイド .....	62
ガイドランプ .....	62
歌詞 .....	61
画面 .....	21
画面の明るさ(コントラスト) .....	18
<b>キ</b>	
キーカバー .....	14
強制的に電源をオフする .....	15
<b>ク</b>	
組み立て .....	98

繰り返し(オーディオ再生) .....	75
繰り返し(ソング) .....	63
<b>ケ</b>	
言語 .....	18
鍵盤パート .....	40
<b>コ</b>	
コード .....	51
コピー .....	70
コンピューター .....	93
<b>サ</b>	
再生(MIDI) .....	58
再生(オーディオ) .....	73
削除 .....	71
<b>シ</b>	
自動伴奏→スタイル .....	48
初期化(USBフラッシュメモリー)→フォーマット .....	92
初期化(楽器本体) .....	29, 96
シンクロスタート(スタイル) .....	52
シンクロスタート(ソング) .....	59
シンクロストップ(スタイル) .....	52
<b>ス</b>	
スーパーアーティキュレーションボイス .....	42
スケール .....	47
スタート/ストップ(スタイル再生) .....	52
スタイル .....	48
スタイルクリエイター .....	57
スタイルファイルフォーマットGE .....	7
スタイルレコメンダー .....	55
ステップ録音 .....	57, 72
スプリットポイント .....	40, 57
<b>セ</b>	
セクション .....	53
接続 .....	89
設定値 .....	23
選択画面 .....	27
<b>ソ</b>	
ソステヌートペダル .....	34
ソフトペダル .....	34
ソング .....	58
ソングクリエイター .....	72
<b>タ</b>	
ダイレクトアクセス .....	24
多重録音 .....	68
タッチ感度 .....	46
タップ .....	53
タブ .....	22
ダンパーペダル .....	34
<b>チ</b>	
チャンネル(スタイル) .....	56
チャンネル(ソング) .....	62
チューニング .....	42, 88

チューン	87
<b>テ</b>	
データダイアル	23
ディーエスピー	44
ディーエスピーバリエーション	44
デモ	20
電源を入れる	14
テンポ	53
<b>ト</b>	
ドラムキットボイス	41
トランスポーズ	42
<b>ハ</b>	
バージョン	19
ハーフペダル	34
ハーモニー/エコー	44
バックアップ	30
パネル設定	77, 83
パフォーマンスアシスタント	64
早送り(オーディオ再生)	74
早送り(ソング再生)	60
パンチン/アウト録音	72
<b>ヒ</b>	
ピアノ	31
ピアノリセット	31
ピアノルーム	31
ピアノロック	33
左手パート	40
ピッチ	47
ビブラート→オルガンフルート	45
<b>フ</b>	
ファイル	69
ファイル名	70
フィルイン	53
フィルター	87
フィンガリング	57
フィンガリングタイプ	51
フォーマット(USBフラッシュメモリー)→初期化	92
フォルダー	69
付属品	7
フッテージ	45
フットコントローラー	90
フットスイッチ	90
譜面	61
譜面立て	17
フリーズ	85
プリセット(オルガンフルート)	46
フリーズマーク	60
ブレイク	52, 53
プロテクトソング	60
<b>ヘ</b>	
ページ	22
ペダル	34
ヘッドフォン	17
ヘッドフォンハンガー	17

<b>ホ</b>	
ボイス	37
ボイスセット	47
ボイスの種類	41
ボイスの特徴	41
保存	67
ボリューム	15, 57, 86
ボリューム(オーディオ再生)	75
ボリューム/ボイス	87
ホルダー	94
ポルタメント	44
<b>マ</b>	
巻戻し(オーディオ再生)	74
巻戻し(ソング再生)	60
<b>ミ</b>	
ミキサー	86
右手1、2パート	40
ミュージックファインダー	77
<b>メ</b>	
メイン	53
メイン画面	25
メッセージ	24
メトロノーム	35
<b>モ</b>	
文字入力	28
戻る	23
モノ/ポリ	44
<b>ユ</b>	
ユーティリティ	96
<b>リ</b>	
リアルグランドエクスプレッション(RGE)	8
リズム	48
リズム1、2	56
<b>レ</b>	
レコード(ミュージックファインダー)	77
レジストレーションシーケンス	85
レジストレーションバンク	84
レジストレーションメモリー	83
レパートリー	57
レフトホールド	44
練習	58
連続再生(オーディオ再生)	74
<b>ロ</b>	
ロータリースピーカースピード	45
録音(MIDI)	65
録音(オーディオ)	75
<b>ワ</b>	
ワンタッチセッティング	54

メモ

メモ

# 保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

## ● 保証書

本機には保証書がついています。

保証書は販売店がお渡ししますので、必ず「販売店印・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

## ● 保証期間

保証書をご覧ください。

## ● 保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

## ● 保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

有寿命部品については、使用時間や使用環境などにより劣化しやすいため、消耗劣化に応じて部品の交換が必要となります。有寿命部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

有寿命部品の例  
ポリウムコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点など

## ● 補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

## ● 修理のご依頼

まず本書の「困ったときは」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。

それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、またはヤマハ修理ご相談センターへ修理をお申し付けください。

## ● 製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

# ■ 修理に関するお問い合わせ

## ヤマハ修理ご相談センター

ナビダイヤル  
(全国共通番号)  **0570-012-808**  
※全国どこからでも市内通話料金でおかけいただけます。

上記番号でつながらない場合は TEL 053-460-4830

**受付時間** 月曜日～金曜日 9:00～18:00、  
土曜日 9:00～17:00  
(祝日およびセンター指定休日を除く)

**FAX** 東日本 (北海道/東北/関東/甲信越)  
03-5762-2125  
西日本 (沖縄/九州/中国/四国/近畿/東海/北陸)  
06-6465-0367

## ■ 修理品お持込み窓口

**受付時間** 月曜日～金曜日 9:00～17:45  
(祝日および弊社休業日を除く)

\* お電話は、ヤマハ修理ご相談センターでお受けします。

### 東日本サービスセンター

〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1  
京浜トラックターミナル内14号棟A-5F  
FAX 03-5762-2125

### 西日本サービスセンター

〒554-0024 大阪市此花区島屋6丁目2-82  
ユニバーサル・シティ和幸ビル9F  
FAX 06-6465-0374

\* 名称、住所、電話番号などは変更になる場合があります。

● クラビノーバの機能や取り扱いについては、ご購入の特約店または  
下記ヤマハお客様コミュニケーションセンターへお問い合わせください。

## お客様コミュニケーションセンター 電子ピアノ・キーボードご相談窓口

ナビダイヤル  **0570-006-808**

※全国どこからでも市内通話料金でおかけいただけます。

上記番号でつながらない場合はTEL 053-460-5272

営業時間：月曜日～金曜日 10:00～18:00

土曜日 10:00～17:00

(祝日およびセンター指定休日を除く)

<http://jp.yamaha.com/support/>

### ◆ウェブサイトのご案内

ヤマハ株式会社ホームページ

<http://jp.yamaha.com/>

ヤマハピアノ・鍵盤楽器サイト

<http://jp.yamaha.com/piano/>

ヤマハダウンロード

<http://download.yamaha.com/jp>

ヤマハ 音楽データショップ

<http://www.music-eclub.com/musicdata/>

## ヤマハ株式会社

デジタル楽器事業部

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町 10-1

\*都合により、住所、電話番号、名称、営業時間などが変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

U.R.G., Digital Musical Instruments Division  
© 2012 Yamaha Corporation

**ZA83720**

212MWAP\*.\*-01C0  
Printed in Vietnam